



NEARプロジェクト海辺の漂着物調査報告書

2020年度



公益財団法人 環日本海環境協力センター
NPEC Northwest Pacific Region Environmental Cooperation Center

目 次

はじめに

1. 海辺の漂着物調査の概要	1
1.1 海辺の漂着物調査の背景	1
1.2 海辺の漂着物調査の構成	2
1.3 調査主体及び調査海岸	2
1.4 調査方法	6
(1) 漂着物調査	6
(2) マイクロプラスチック調査	7
2. 海辺の漂着物調査の結果	9
2.1 漂着物量の結果	9
(1) 漂着物の重量	9
(2) 漂着物の個数	12
(3) 単位面積あたりの漂着物重量	15
(4) 単位面積あたりの漂着物個数	18
2.2 調査海岸別の漂着物量の結果	21
(1) 海岸別単位面積あたりの漂着物重量	21
(2) 海岸別単位面積あたりの漂着物重量の組成比率	21
(3) 海岸別単位面積あたりの漂着物個数	21
(4) 海岸別単位面積あたりの漂着物個数の組成比率	21
2.3 漂着物量の経年変化	26
(1) 全調査海岸の漂着物量の経年変化	26
(2) 継続調査海岸の漂着物量の経年変化	29
(3) 国内・海外起因別の漂着物量の経年変化	45
(4) 分類別の国内・海外起因別漂着物量	47
2.4 エリア別漂着物量の結果	49
(1) エリア別単位面積あたりの漂着物重量	51
(2) エリア別単位面積あたりの漂着物重量の組成比率	51
(3) エリア別単位面積あたりの漂着物個数	51

(4)	エリア別単位面積あたりの漂着物個数の組成比率	51
(5)	エリア別の漂着物量の経年変化	54
(6)	エリア別の国内・海外起因別の漂着物量の結果	57
(7)	エリア別の国内・海外起因別漂着物量の経年変化	60
2. 5	プラスチック類の小分類別結果	66
(1)	プラスチック類の小分類別個数	66
(2)	プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数	69
(3)	プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数	72
(4)	プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数の組成比率	72
(5)	エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数	75
(6)	エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数の組成比率	75
3.	マイクロプラスチック調査の結果	77
3. 1	マイクロプラスチック量の結果	77
(1)	マイクロプラスチックの個数	77
(2)	単位体積あたりのマイクロプラスチック個数	77
(3)	単位面積あたりのマイクロプラスチック個数	77
3. 2	調査海岸別のマイクロプラスチック量の結果	83
(1)	海岸別単位体積あたりのマイクロプラスチック個数	83
(2)	海岸別単位面積あたりのマイクロプラスチック個数	83
4.	調査結果のまとめ	88
5.	データベース	89
5. 1	データベースの保守	89

はじめに

日本海及び黄海は陸地に囲まれた閉鎖性の高い海域であり、近年、沿岸地域における社会・経済活動による環境負荷が増大し、海洋環境の悪化や海洋生物への影響等が心配されている。

日本海及び黄海沿岸における漂流・漂着物も国際的な環境問題の一つとして注目されており、環日本海地域の「産・学・官」が協力して解決に取り組むべき課題となっている。

このような中、富山県の提案により 1996 年度から開始された海辺の漂着物調査は、北東アジア地域自治体連合（NEAR）環境分科委員会の共同プロジェクトとして、多くの自治体等が参加して継続的に実施されており、地域レベルの国際環境協力のモデルケースの一つになっている。

この調査を通じて、漂流・漂着物対策の基礎資料として有用な情報を得られるだけでなく、参加者の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育むことができるため、漂流・漂着物問題の解決に貢献できるのではないかと期待している。

この報告書は、2020 年度に北東アジア地域の自治体、市民等が共同で実施した海辺の漂着物調査の結果を取りまとめたものであり、こうした情報が関係者の間で共有され、対策の実施や市民等への啓発に活用されることで、漂流・漂着物問題の解決に寄与できれば幸いである。

1. 海辺の漂着物調査の概要

1. 1 海辺の漂着物調査の背景

海辺の漂着物調査は、海洋環境保全対策、廃棄物対策や漁場保全対策の基礎資料を得るとともに、沿岸住民の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育み、さらには、環日本海海域の沿岸自治体とのネットワーク形成を目的として、富山県の主唱により 1996 年度に日本国内 10 自治体の連携・協力により開始したものである。翌 1997 年度から、(公財)環日本海環境協力センターが事務局業務を担い日本海沿岸の国際共同調査として継続してきており、2010 年度からは「NEAR プロジェクト海辺の漂着物調査」として、日本、中国、韓国、ロシアの自治体に参加する国際共同調査を実施している。

また、2018 年度より生態系への悪影響が懸念され、世界的に関心が高まっているマイクロプラスチックについても調査項目へ追加し、調査を実施した。

これまで、北東アジア地域の沿岸4か国の 38 自治体、251 海岸において、延べ 41,386 人の参加者の協力を得て調査を実施している。

延べ参加人数の推移を図1. 1-1に示す。

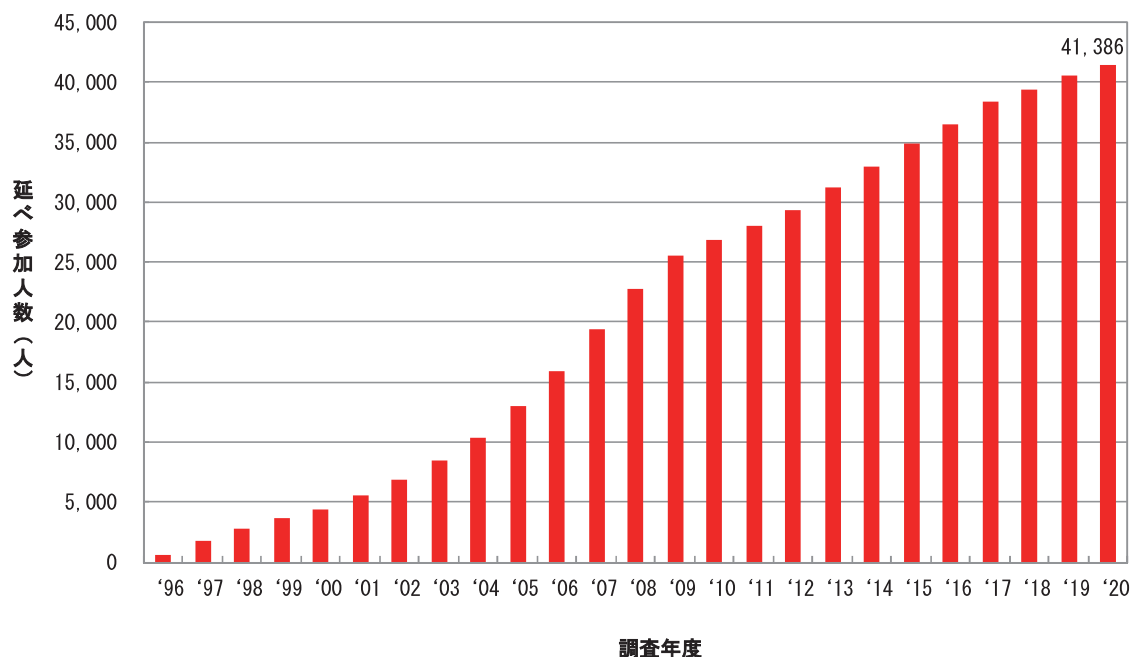


図1. 1-1 延べ参加人数の推移

1. 2 海辺の漂着物調査の構成

調査全体のフローを図1. 2-1に示す。

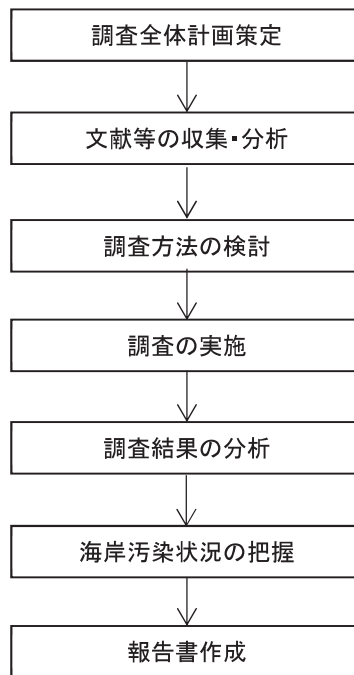


図1. 2-1 調査全体のフロー

1. 3 調査主体及び調査海岸

調査は、各県や市町村が中心となり、地元の市町村、NGO・NPO、小・中学校等と連携・協力して行った。2020年度は、7月24日から11月23日までの期間に、日本、韓国、ロシアの3か国の13自治体、38海岸において、延べ789人が調査に参加した。このうち、マイクロプラスチック調査においては、25海岸27地点で実施した。

調査海岸数、参加者数等は、2019年度(3か国15自治体、41海岸)に比べやや減少しており、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたと考えられる。

調査海岸は、原則として大きな河川の河口から1km以内、あるいは前面に消波ブロック等が設置されている海岸を除く砂浜海岸から選定した。

調査位置を図1. 3-1、調査海岸、調査参加団体を表1. 3-1～2に示す。



図1. 3－1 2020 年度 調査位置

表1. 3-1 調査海岸

番号	エリア	所在地	調査海岸	海岸コード	調査実施日	参加人数	列数 区画数		調査面積 (㎡)	マイクロプラスチック 調査地点数
1	A	長崎県	田尾海 岸	J 42 - 14	9/15	3	1列	3区画	300	1地点
2			蛤浜海 水 浴 場	J 42 - 11	11/10	14	1列	3区画	300	1地点
3			里浜海 水 浴 場	J 42 - 12	10/21	5	1列	2区画	200	1地点
4			白浜海 岸	J 42 - 10	9/10	7	1列	3区画	300	1地点
5		佐賀県	北浜	J 41 - 01	9/29	32	3列	3区画	300	—
6	B	山口県	涌田海 岸	J 35 - 06	11/12	31	4列	4区画	400	—
7		島根県	持石海 岸	A J 32 - 15A	10/16	53	4列	4区画	400	—
8			持石海 岸	B J 32 - 15B	9/17	31	2列	2区画	200	—
9			津田海 岸	J 32 - 16	10/20	45	3列	3区画	300	—
10			小浜海 岸	J 32 - 19	10/1	13	1列	1区画	100	—
11			喜阿弥海 岸	J 32 - 14	10/14	17	1列	1区画	100	—
12			御津漁 港 海 岸	J 32 - 18	9/29	61	4列	4区画	400	—
13			浜田港 海 岸	J 32 - 20	10/15	6	1列	1区画	100	—
14			西浜海 岸	J 32 - 17	11/19	4	—	—	—	1地点
15		鳥取県	弓ヶ浜海 岸	J 31 - 11	10/14	23	3列	3区画	300	1地点
16			浦富海 岸	J 31 - 02	10/7	21	3列	3区画	300	1地点
17		京都府	琴引浜海 岸	J 26 - 01	11/1	30	3列	3区画	300	1地点
18	C	福井県	三 国 サ ン セ ッ ト ビ ー チ	J 18 - 01	10/20	23	3列	3区画	300	1地点
19		石川県	柴垣海 岸	J 17 - 06	10/27	40	—	—	1,265	1地点
20			曾々木海 岸	J 17 - 08	10/13	16	3列	3区画	300	—
21		富山県	島尾・松田江 浜	J 16 - 04	9/11	82	6列	6区画	600	1地点
22			松太枝 浜	J 16 - 03	9/16	32	3列	3区画	300	1地点
23			海老江海 岸	J 16 - 05	10/14	11	2列	2区画	200	1地点
24			岩瀬 浜	J 16 - 02	9/24	31	3列	3区画	300	1地点
25			宮崎・境海 岸	J 16 - 01	10/2	26	3列	3区画	300	1地点
26	D	山形県	浜中あさり海水浴場	J 06 - 03	11/12	4	1列	3区画	300	1地点
27	F	沿海地方	ビョートル大帝湾ファリシヴィイ岬	R 03 - 35	7/24	5	4列	4区画	400	—
28			ビョートル大帝湾セヴェルナヤ入江	R 03 - 36	9/22	2	2列	2区画	200	—
29			ビョートル大帝湾スィヴチヤ入江	R 03 - 38	7/25	4	2列	2区画	155	—
30			プロズラチナヤ入江	R 03 - 37	11/6	12	1列	2区画	200	3地点
31	G	江原道	鏡浦（キョンポ）海水浴場	K 01 - 02	11/12 11/23	42	1列	2区画	220	1地点
32			鏡浦（キョンポ）海水浴場	B K 01 - 2B	10/25	4	1列	3区画	300	1地点
33			安仁（アンイン）海岸	K 01 - 10	11/8	4	1列	3区画	300	1地点
34	H	慶尚南道	亡日峰（マンイルボン）海岸	K 04 - 02	9/27	11	3列	3区画	300	1地点
35			竹林湾（チュンリムマン）海岸	K 04 - 03	11/1	11	3列	3区画	300	1地点
36			道南（トナム）海水浴場	K 04 - 04	8/18	11	3列	3区画	300	1地点
37			トンアム干潟海 辺	K 04 - 05	9/5	11	3列	3区画	300	1地点
38			古県里（コヒョンリ）海岸	K 04 - 06	9/23	11	1列	3区画	300	1地点
7エリア 13自治体 38海岸						789人	85列	102区画	11,440	27地点

注) 佐賀県の調査海岸は、これまで「相賀の浜」と表記していたが、2020年度より正式名称の「北浜」とした。

表1. 3-2 調査参加団体

番号	エリア	所在地		調査海岸	調 査 参 加 団 体
1	A	長 崎 県	五 島 市	田 尾 海 岸	長崎県五島保健所
2			南 松 浦 郡 新 上 五 島 町	蛤 浜 海 水 浴 場	新上五島町環境課、長崎県上五島保健所
3			壱 岐 市	里 浜 海 水 浴 場	長崎県壱岐保健所
4			対 馬 市	白 浜 海 岸	対馬市役所、長崎県対馬保健所
5		佐 賀 県	唐 津 市	北 浜	佐賀県環境課、唐津市役所、唐津市立湊中学校
6	B	山 口 県	下 関 市	涌 田 海 岸	下関市環境政策課、下関市立誠意小学校
7		島 根 県		持 石 海 岸 A	島根県廃棄物対策課、益田市役所、益田市広域市町村圏事務組合、益田保健所、NPO法人アンダンテ21、益田市立安田小学校
8				持 石 海 岸 B	島根県廃棄物対策課、益田市役所、益田市広域市町村圏事務組合、吉賀町役場、吉賀町立蔵木小学校
9				津 田 海 岸	NPO法人アンダンテ21、益田市立安田小学校
10				小 浜 海 岸	島根県廃棄物対策課、益田市広域市町村圏事務組合、益田市役所、益田市立戸田小学校
11			喜 阿 弥 海 岸	島根県廃棄物対策課、益田市広域市町村圏事務組合、津和野町役場、益田市役所、津和野町青原小学校	
12			松 江 市	御 津 漁 港 海 岸	浜田市役所、浜田保健所、島根県廃棄物対策課、浜田市立長浜小学校
13			浜 田 市	浜 田 港 海 岸	島根県廃棄物対策課
14			出 雲 市	西 浜 海 岸	島根県廃棄物対策課、出雲西高等学校
15		鳥 取 県	米 子 市	弓 ケ 浜 海 岸	鳥取県循環型社会推進課及び中部総合事務所生活環境局環境・循環推進課、米子市クリーン推進課、鳥取県立境港総合技術高等学校
16			岩美郡岩美町	浦 富 海 岸	鳥取県循環型社会推進課、鳥取市廃棄物対策課、岩美町環境水道課、岩美町観光協会、浦富観光協会、岩美町立渚交流館
17		京 都 府	京 丹 後 市	琴 引 浜 海 岸	琴引浜の鳴り砂を守る会、網野高等学校ボランティア部、峰山高等学校、京都教育大学
18		C	福 井 県	坂 井 市	三 国 サン セ ッ ト ビ ー チ
19	石 川 県		羽 咋 市	柴 垣 海 岸	石川県資源循環推進課、羽咋市役所、羽咋都市広域圏事務組合、クリーン・ビーチいしかわ実行委員会、金沢星陵大学、(独)国立青少年教育振興機構 国立能登青少年交流の家
20			輪 島 市	曾 々 木 海 岸	輪島市環境対策課、輪島市立町野小学校
21	富 山 県		氷 見 市	島 尾 ・ 松 田 江 浜	氷見市環境・交通防犯課、氷見市立窪小学校、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス(株)
22			高 岡 市	松 太 枝 浜	高岡市立太田小学校、高岡市環境サービス課、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス(株)
23			射 水 市	海 老 江 海 岸	射水市港湾・観光課、射水市環境課、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス(株)
24			富 山 市	岩 瀬 浜	富山市立岩瀬小学校、富山市環境保全課、NPO法人きんたろう倶楽部、富山国際大学付属高等学校、国際ソロプチミスト富山、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス(株)
25		下 新 川 郡 朝 日 町	宮 崎 ・ 境 海 岸	朝日町住民・子ども課、朝日町立あさひ野小学校、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス(株)	
26	D	山 形 県	酒 田 市	浜 中 あ さ り 海 水 浴 場	山形県庄内総合支庁保健福祉環境部環境課
27	F	沿海地方	ハサンスキー地	ピ ョ ー ト ル 大 帝 湾 フ ァ リ シ ヱ イ イ 岬	海洋生物学国立科学センターの極東地方海洋保護地区、ウラジオストク国立経済サービス大学、ウラジオストク国立経済サービス大学付属優秀な子供のための全寮制寄宿学校
28				ピ ョ ー ト ル 大 帝 湾 セ ヱ ー ル ナ ヤ 入 江	海洋生物学国立科学センターの極東地方海洋保護地区
29			ナ ホ ト カ 市	ピ ョ ー ト ル 大 帝 湾 ス イ ヴ チ ヤ 入 江	海洋生物学国立科学センターの極東地方海洋保護地区、ウラジオストク国立経済サービス大学、ウラジオストク国立経済サービス大学付属優秀な子供のための全寮制寄宿学校
30				プ ロ ブ ラ チ ナ ヤ 入 江	ナホトカ市補足教育「青少年のツーリズムと見学のセンター」
31	G	江 原 道	江 陵 市	鏡 浦 (キョンポ) 海 水 浴 場	カンイル女子高等学校
32			鏡 浦 (キョンポ) 海 水 浴 場 B	カンヌムンソン高校	
33			安 仁 (ア ン イ ン) 海 岸	カンヌムンソン高校	
34	H	慶尚南道	統 営 市	亡 日 峰 (マンイルボン) 海 岸	忠武(チュンム)小学校 (Keep Tong-yeong Beautifulサークル)
35				竹 林 湾 (チュンリムマン) 海 岸	忠武(チュンム)小学校 (Keep Tong-yeong Beautifulサークル)
36				道 南 (トナム) 海 水 浴 場	忠武(チュンム)小学校 (Keep Tong-yeong Beautifulサークル)
37				ト ン ア ム 干 潟 海 辺	忠武(チュンム)小学校 (Keep Tong-yeong Beautifulサークル)
38			昌 原 市	古 県 里 (コヒョンリ) 海 岸	牛山(ウサン)小学校
7エリア 13自治体 38海岸					

注) 佐賀県の調査海岸は、これまで「相賀の浜」と表記していたが、2020 年度より正式名称の「北浜」とした。

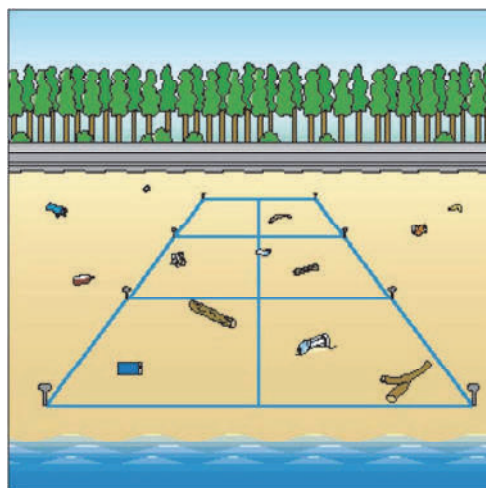
1. 4 調査方法

(1) 漂着物調査

① 採集方法

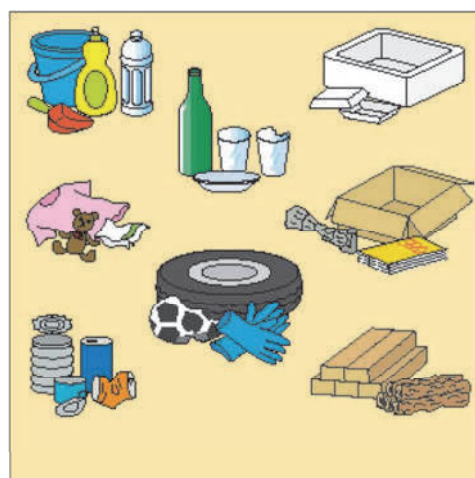
調査範囲は、原則、調査対象の海岸全体の漂着物が概括的に把握できるよう、また、調査範囲が偏らないように選定し、波打ち際から陸地方向へ連続的に縦横10mの区画（以下「調査区画」という。）を砂浜が途切れる地点まで設定した。1列あたり最大10区画を限度とした。なお、調査区画は原則1列3区画とするが、海岸の奥行きが狭く1列あたり3区画を確保できない場合は、複数列とした。

選定した調査範囲について、まず海岸の用途、周辺の状況、直近の清掃状況等の基礎調査を実施し、その後、漂着物調査を実施した。漂着物調査は、調査区画が判るようにビニールひも等で分けした後、区画内の漂着物を全て拾い集めた。集めた漂着物は、区画ごとに種類別に分別し、個数及び重量を測定した。なお、この調査手法は、一般社団法人 JEAN の調査手法を参考に（公財）環日本海環境協力センターが開発したものである。



② 分類方法

漂着物の分類は、①プラスチック類、②ゴム類、③発泡スチロール類、④紙類、⑤布類、⑥ガラス・陶磁器類、⑦金属類、⑧その他の人工物の8種類とし、「大分類」ごとに分別し、重量を測定し、個数の集計をした。また、プラスチック類はさらに9種類に分類した。



漂着物に印字されている文字から、①日本、②中国・台湾、③韓国・北朝鮮、④ロシア、⑤その他に分類し、海外のものと特定される漂着物は、その種類と個数を海外起因欄に記入した。

なお、漂着物に文字等が印字されていない発生起因が不明なものについては、全て国内が発生起因として集計を行った。

調査海岸概況票及び調査票の様式については、付属資料に示す。



(2) マイクロプラスチック調査

① 採取方法

調査範囲は、「海辺の漂着物調査」調査区画近辺の砂地を調査地点として選定し、縦横 20cm の正方形の区画を設定した。表面の大きなごみ(5mm 超)は、出来るだけ除去した。

区画内の砂を約 2.5cm の深さまでバケツ等に採取した。(砂採取量約 1,000cm³) 採取した砂を2～3回に分けて、5mm 目ふるいにかけて、バットの上に残った砂を試料とした。



② 分離方法

マイクロプラスチックの分離は、砂粒の大きさや砂の乾湿の状態に応じて、作業方法を変えた。

砂粒の大きさが1mm より小さく、十分に乾いている場合は、ふるいによる分離を行った。

砂粒の大きさが1mm より大きい又は砂が湿っている場合は、浮上分離を行った。

調査票の様式については、付属資料に示す。



【ふるいによる分離】

試料を2～3回に分けて1mm 目のふるいにかけた。

ふるいに残ったごみをバットに移し、色、形状等からプラスチックと推定されるごみを集め、個数を数え、調査票に記録した。（風が強い場合はビニール袋に入れて数えた。）



【浮上分離】

試料をバケツに入れ、約2Lの水を加えて、よく攪拌した。上澄み液を浮き上がった浮遊物ごと1mm 目ふるいに流し込んだ。同様の操作をもう1回繰り返し、最後にふるい上に残った物を採取した。

ただし、水より比重が大きいプラスチックは沈降するため、採取できない。

採取した物をバットに移し、色、形状等からプラスチックと推定されるごみを集め、個数を数え、調査票に記録した。（風が強い場合はビニール袋に入れて数えた。）



2. 海辺の漂着物調査の結果

2. 1 漂着物量の結果

2020 年度の調査で採集した漂着物の重量とその組成比率を図2. 1-1、表2. 1-1～2に、漂着物の個数とその組成比率を図2. 1-2、表2. 1-3～4に示す。

また、単位面積(1区画の面積に相当する 100m²)あたりの漂着物重量とその組成比率を図2. 1-3、表2. 1-5～6に、漂着物個数とその組成比率を図2. 1-4、表2. 1-7～8に示す。

(1) 漂着物の重量

2020 年度の総重量は 415,018.0gであり分類別では、「プラスチック類」が 274,014.0g(総重量の 66.0%)と最も重く、次いで「その他の人工物」が 88,696.0g(同 21.4%)の順であり、「ゴム類」、「紙類」、「布類」、「金属類」の占める割合は、いずれも総重量の2%未満と低かった。

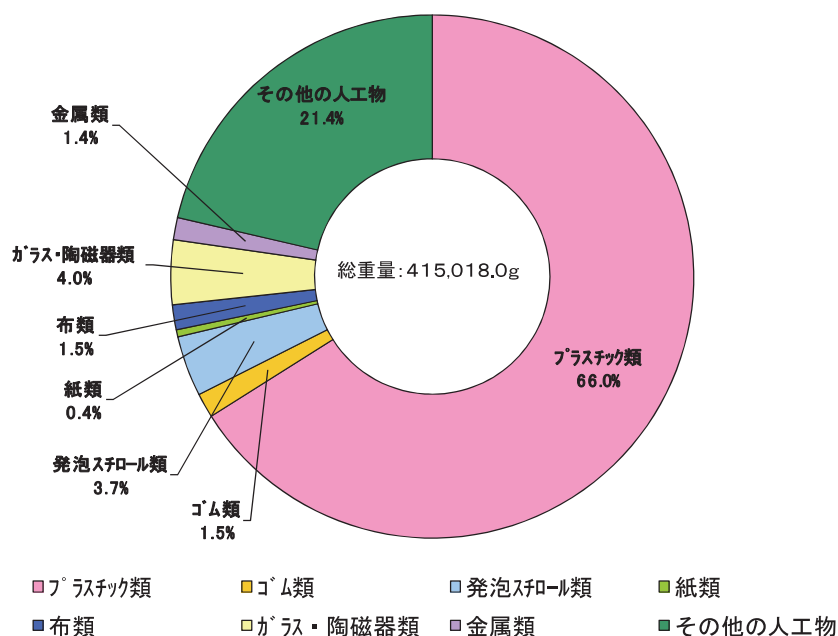


図2. 1-1 漂着物の重量(g)の組成比率

表2. 1-1 漂着物の重量(g)

	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
総重量 (g)	274,014.0	6,336.0	15,537.0	1,861.0	6,334.0	16,565.0	5,675.0	88,696.0	415,018.0
組成率 (%)	66.0%	1.5%	3.7%	0.4%	1.5%	4.0%	1.4%	21.4%	100.0%

表2. 1-2(1) 漂着物の重量 (g)

重量(g)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	里浜海水浴場	白浜海岸	北浜	涌田海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-12	J42-10	J41-01	J35-06	J32-15A
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1	1
	調査面積 (m ²)	300	300	200	300	300	400	400
(1)プラスチック類		31,753.0	23,900.0	1,204.0	90,700.0	12,100.0	11,960.0	5,307.0
(2)ゴム類		34.0	600.0	0.0	500.0	0.0	500.0	1,375.0
(3)発泡スチロール類		0.0	5,200.0	3.0	1,500.0	0.0	300.0	1,180.0
(4)紙類		2.0	0.0	0.0	100.0	110.0	190.0	93.0
(5)布類		57.0	600.0	8.0	1,600.0	0.0	1,020.0	0.0
(6)ガラス・陶磁器類		656.0	300.0	0.0	2,000.0	0.0	1,300.0	141.0
(7)金属類		668.0	200.0	4.0	450.0	360.0	670.0	82.0
(8)その他人工物		0.0	3,700.0	0.0	11,650.0	820.0	2,410.0	324.0
合 計		33,170.0	34,500.0	1,219.0	108,500.0	13,390.0	18,350.0	8,502.0

重量(g)	調査海岸	持石海岸B	津田海岸	小浜海岸	喜阿弥海岸	御津漁港海岸	浜田港海岸	弓ヶ浜海岸
	海岸コード	J32-15B	J32-16	J32-19	J32-14	J32-18	J32-20	J31-11
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1	1
	調査面積 (m ²)	200	300	100	100	400	100	300
(1)プラスチック類		4,457.0	1,895.0	1,810.0	1,861.0	12,476.0	124.0	3,248.0
(2)ゴム類		308.0	11.0	740.0	0.0	0.0	0.0	45.0
(3)発泡スチロール類		996.0	25.0	1,968.0	180.0	143.0	11.0	79.0
(4)紙類		84.0	0.0	1.0	81.0	0.0	0.0	1.0
(5)布類		6.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0
(6)ガラス・陶磁器類		0.0	304.0	258.0	260.0	91.0	0.0	112.0
(7)金属類		46.0	22.0	6.0	93.0	64.0	0.0	0.0
(8)その他人工物		7,180.0	174.0	0.0	0.0	0.0	0.0	254.0
合 計		13,077.0	2,431.0	4,786.0	2,478.0	12,774.0	135.0	3,739.0

重量(g)	調査海岸	浦富海岸	琴引浜海岸	三国 サンセットビーチ	皆々木海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸
	海岸コード	J31-02	J26-01	J18-01	J17-08	J16-04	J16-03	J16-05
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1	1
	調査面積 (m ²)	300	300	300	300	600	300	200
(1)プラスチック類		3,128.0	707.0	5,362.0	6,543.0	15,208.0	4,258.0	227.0
(2)ゴム類		1.0	0.0	40.0	36.0	536.0	28.0	29.0
(3)発泡スチロール類		37.0	41.0	109.0	96.0	1,278.0	198.0	5.0
(4)紙類		32.0	0.0	5.0	2.0	43.0	55.0	1.0
(5)布類		0.0	0.0	1.0	5.0	273.0	55.0	0.0
(6)ガラス・陶磁器類		83.0	156.0	0.0	534.0	970.0	167.0	0.0
(7)金属類		1.0	0.0	45.0	16.0	336.0	460.0	1.0
(8)その他人工物		0.0	0.0	1,493.0	113.0	2,625.0	311.0	38.0
合 計		3,282.0	904.0	7,055.0	7,345.0	21,269.0	5,532.0	301.0

重量(g)	調査海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場	ビートル大帝湾 ファリシウイ岬	ビートル大帝湾 セウエルナヤ入江	ビートル大帝湾 スイウチヤ入江	プロスラチヤ 入江
	海岸コード	J16-02	J16-01	J06-03	R03-35	R03-36	R03-38	R03-37
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1	1
	調査面積 (m ²)	300	300	300	400	200	155	200
(1)プラスチック類		803.0	6.0	1,546.0	2,570.0	20,129.0	4,130.0	1,310.0
(2)ゴム類		2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	225.0
(3)発泡スチロール類		16.0	3.0	136.0	190.0	20.0	170.0	180.0
(4)紙類		37.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	113.0
(5)布類		6.0	0.0	0.0	0.0	310.0	0.0	1,070.0
(6)ガラス・陶磁器類		79.0	0.0	0.0	140.0	310.0	120.0	774.0
(7)金属類		19.0	33.0	0.0	101.0	0.0	57.0	635.0
(8)その他人工物		1,016.0	0.0	4.0	9,800.0	36,250.0	0.0	5,615.0
合 計		1,978.0	42.0	1,686.0	12,831.0	57,019.0	4,517.0	9,922.0

表2. 1－2(2) 漂着物の重量 (g)

重量 (g)	調査海岸	亡日峰 (マニルボーン) 海岸	竹林湾 (チュンリムマン) 海岸	道南 (トナム) 海水浴場	トナム 干潟海辺	古県里 (コヒョンリ) 海岸	全調査海岸合計	
	海岸コード	K04-02	K04-03	K04-04	K04-05	K04-06		
	調査実施回数	1	1	1	1	1	調査実施回数	33
	調査面積 (m ²)	300	300	300	300	300	調査面積 (m ²)	9,355
(1) プラスチック類		428.0	1,108.0	692.0	614.0	2,450.0	274,014.0	66.0%
(2) ゴム類		5.0	238.0	79.0	64.0	900.0	6,336.0	1.5%
(3) 発泡スチロール類		1.0	782.0	269.0	151.0	270.0	15,537.0	3.7%
(4) 紙類		1.0	454.0	95.0	101.0	230.0	1,861.0	0.4%
(5) 布類		95.0	316.0	175.0	71.0	660.0	6,334.0	1.5%
(6) ガラス・陶磁器類		2,264.0	416.0	1,590.0	240.0	3,300.0	16,565.0	4.0%
(7) 金属類		93.0	251.0	153.0	199.0	610.0	5,675.0	1.4%
(8) その他人工物		3.0	615.0	3,056.0	545.0	700.0	88,696.0	21.4%
合 計		2,890.0	4,180.0	6,109.0	1,985.0	9,120.0	415,018.0	100.0%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

重量 (g)	調査海岸	柴垣海岸	鏡浦 (キョンポ) 海水浴場	鏡浦 (キョンポ) 海水浴場B	安仁 (アンイン) 海岸
	海岸コード	J17-06	K01-02	K01-02B	K01-10
	調査実施回数	1	1	1	1
	調査面積 (m ²)	1,265	220	300	300
(1) プラスチック類		125,865.0	223.1	2,677.0	1,862.0
(2) ゴム類		14,030.0	0.0	0.0	0.0
(3) 発泡スチロール類		870.0	0.0	0.0	0.0
(4) 紙類		12.0	0.0	0.0	0.0
(5) 布類		0.0	0.0	0.0	0.0
(6) ガラス・陶磁器類		3,526.0	0.0	0.0	0.0
(7) 金属類		501.0	0.0	0.0	0.0
(8) その他人工物		45,887.0	0.0	0.0	0.0
合 計		190,691.0	223.1	2,677.0	1,862.0

注) 柴垣海岸、鏡浦(キョンポ)海水浴場、安仁(アンイン)海岸の値は、分類方法が異なるため、全調査海岸合計値に含めない。

(2) 漂着物の個数

2020 年度の総個数は 18,099 個であり、分類別では、「プラスチック類」が 11,060 個（総個数の 61.1%）と最も多く、次いで「発泡スチロール類」が 4,062 個（同 22.4%）の順であり、「ゴム類」、「紙類」、「布類」、「金属類」の占める割合は、いずれも総個数の 2% 未満と低かった。

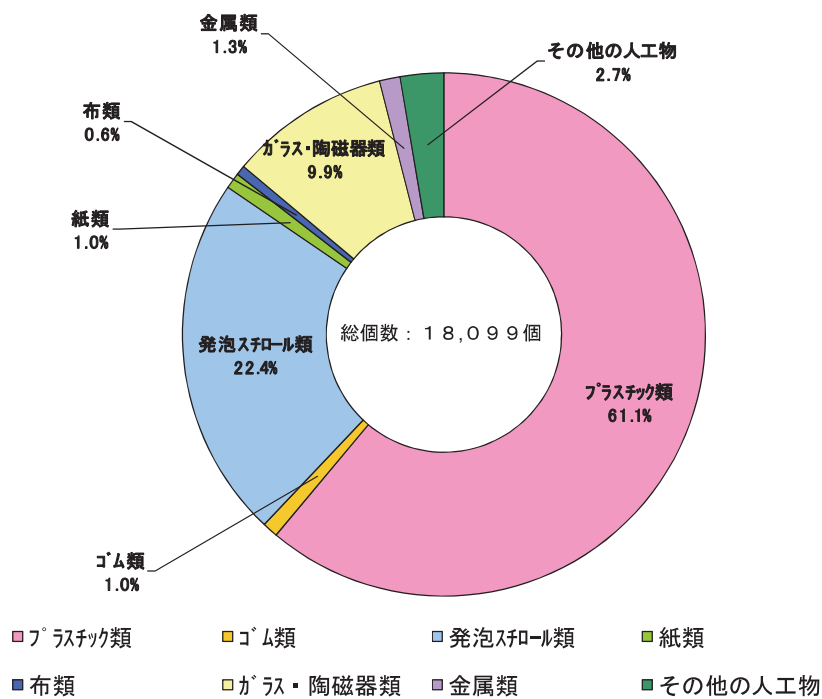


図2. 1-2 漂着物の個数(個)の組成比率

表2. 1-3 漂着物の個数(個)

	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
総個数 (個)	11,060	173	4,062	180	108	1,798	230	488	18,099
組成率 (%)	61.1%	1.0%	22.4%	1.0%	0.6%	9.9%	1.3%	2.7%	100.0%

表2. 1-4(1) 漂着物の個数(個)

個数(個)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	里浜海水浴場	白浜海岸	北浜	涌田海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-12	J42-10	J41-01	J35-06	J32-15A
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1	1
	調査面積(m ²)	300	300	200	300	300	400	400
(1)プラスチック類		73	757	347	487	574	453	304
(2)ゴム類		1	5	0	3	0	7	13
(3)発泡スチロール類		0	59	32	19	0	41	125
(4)紙類		2	0	0	1	7	7	2
(5)布類		1	1	1	7	0	6	0
(6)ガラス・陶磁器類		37	2	0	17	0	10	2
(7)金属類		13	4	1	5	3	28	4
(8)その他人工物		0	10	0	21	4	16	31
合 計		127	838	381	560	588	568	481

個数(個)	調査海岸	持石海岸B	津田海岸	小浜海岸	喜阿弥海岸	御津漁港海岸	浜田港海岸	弓ヶ浜海岸
	海岸コード	J32-15B	J32-16	J32-19	J32-14	J32-18	J32-20	J31-11
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1	1
	調査面積(m ²)	200	300	100	100	400	100	300
(1)プラスチック類		188	294	251	70	531	19	577
(2)ゴム類		8	1	4	0	0	0	10
(3)発泡スチロール類		641	52	24	26	69	28	75
(4)紙類		1	0	3	5	0	0	3
(5)布類		2	0	5	1	0	0	0
(6)ガラス・陶磁器類		0	2	3	2	2	0	1
(7)金属類		2	2	1	3	4	0	0
(8)その他人工物		172	2	0	0	0	0	10
合 計		1,014	353	291	107	606	47	676

個数(個)	調査海岸	浦富海岸	琴引浜海岸	三国 サンセットビーチ	皆々木海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸
	海岸コード	J31-02	J26-01	J18-01	J17-08	J16-04	J16-03	J16-05
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1	1
	調査面積(m ²)	300	300	300	300	600	300	200
(1)プラスチック類		948	1,146	306	363	930	670	370
(2)ゴム類		2	0	6	5	34	8	14
(3)発泡スチロール類		79	145	49	36	1,538	537	32
(4)紙類		12	0	1	2	4	8	1
(5)布類		0	0	2	1	1	5	0
(6)ガラス・陶磁器類		2	25	0	4	12	3	0
(7)金属類		1	0	1	1	7	7	6
(8)その他人工物		0	0	45	3	14	17	8
合 計		1,044	1,316	410	415	2,540	1,255	431

個数(個)	調査海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場	ビョートル大帝湾 ファリシウイ岬	ビョートル大帝湾 セウエルナヤ入江	ビョートル大帝湾 スイウチヤ入江	プロスラチナヤ 入江
	海岸コード	J16-02	J16-01	J06-03	R03-35	R03-36	R03-38	R03-37
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1	1
	調査面積(m ²)	300	300	300	400	200	155	200
(1)プラスチック類		502	10	44	93	101	46	215
(2)ゴム類		4	0	0	0	0	1	22
(3)発泡スチロール類		73	7	3	54	1	59	3
(4)紙類		3	0	0	3	0	0	30
(5)布類		1	0	0	0	1	0	48
(6)ガラス・陶磁器類		2	0	0	1	8	1	165
(7)金属類		3	11	0	3	0	4	43
(8)その他人工物		51	0	1	4	5	0	8
合 計		639	28	48	158	116	111	534

表2. 1－4(2) 漂着物の個数(個)

個数(個)	調査海岸	亡日峰 (マンイルボン) 海岸	竹林湾 (チュンリムマン) 海岸	道南 (トナム) 海水浴場	トンアム 干潟海辺	古県里 (コヒョンリ) 海岸	全調査海岸合計	
	海岸コード	K04-02	K04-03	K04-04	K04-05	K04-06		
	調査実施回数	1	1	1	1	1	調査実施回数	33
	調査面積(m ²)	300	300	300	300	300	調査面積(m ²)	9,355
(1)プラスチック類		55	75	87	113	61	11,060	61.1%
(2)ゴム類		2	9	4	6	4	173	1.0%
(3)発泡スチロール類		15	70	116	42	12	4,062	22.4%
(4)紙類		1	11	41	24	8	180	1.0%
(5)布類		1	9	4	8	3	108	0.6%
(6)ガラス・陶磁器類		970	196	294	24	13	1,798	9.9%
(7)金属類		11	15	6	31	10	230	1.3%
(8)その他人工物		4	9	30	19	4	488	2.7%
合 計		1,059	394	582	267	115	18,099	100%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

個数(個)	調査海岸	柴垣海岸	鏡浦 (キョンボ) 海水浴場	鏡浦 (キョンボ) 海水浴場B	安仁 (アンイン) 海岸
	海岸コード	J17-06	K01-02	K01-02B	K01-10
	調査実施回数	1	1	1	1
	調査面積(m ²)	1,265	220	300	300
(1)プラスチック類		706	257	177	223
(2)ゴム類		10	0	0	0
(3)発泡スチロール類		36	0	0	0
(4)紙類		1	0	0	0
(5)布類		0	0	0	0
(6)ガラス・陶磁器類		12	0	0	0
(7)金属類		6	0	0	0
(8)その他人工物		49	0	0	0
合 計		820	257	177	223

注)柴垣海岸、鏡浦(キョンボ)海水浴場、安仁(アンイン)海岸の値は、分類方法が異なるため、全調査海岸合計値に含めない。

(3) 単位面積あたりの漂着物重量

2020 年度の重量(全調査海岸平均)は 4,556.2g/100m²となった。

分類別では、「プラスチック類」が 2,863.1/100m²(重量の 62.8%)と最も重く、次いで「その他の人工物」が 1,098.9g/100m²(同 24.1%)、「発泡スチロール類」197.2g/100m²(同 4.3%)の順であり、「ゴム類」、「紙類」、「布類」、「金属類」の占める割合は、いずれも重量の2%未満と低かった。

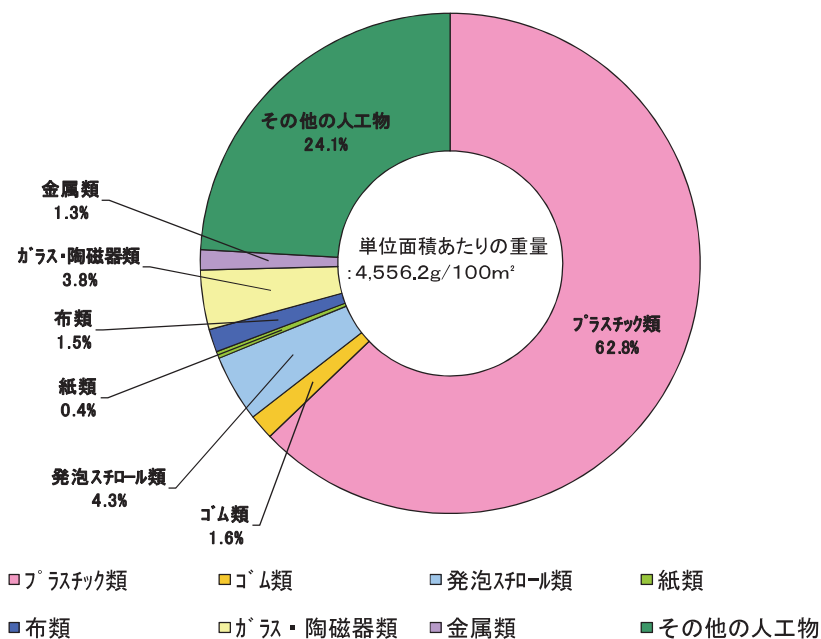


図2. 1-3 単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)の組成比率

表2. 1-5 単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
単位面積あたりの重量 (g/100m ²)	2,863.1	74.7	197.2	20.4	67.2	175.3	59.3	1,098.9	4,556.2
組成率 (%)	62.8%	1.6%	4.3%	0.4%	1.5%	3.8%	1.3%	24.1%	100.0%

表2. 1－6(1) 単位面積あたりの漂着物重量 (g/100m²)

単位面積あたりの重量 (g/100m ²)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	里浜海水浴場	白浜海岸	北浜	涌田海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-12	J42-10	J41-01	J35-06	J32-15A
(1)プラスチック類		10,584.3	7,966.7	602.0	30,233.3	4,033.3	2,990.0	1,326.8
(2)ゴム類		11.3	200.0	0.0	166.7	0.0	125.0	343.8
(3)発泡スチロール類		0.0	1,733.3	1.5	500.0	0.0	75.0	295.0
(4)紙類		0.7	0.0	0.0	33.3	36.7	47.5	23.3
(5)布類		19.0	200.0	4.0	533.3	0.0	255.0	0.0
(6)ガラス・陶磁器類		218.7	100.0	0.0	666.7	0.0	325.0	35.3
(7)金属類		222.7	66.7	2.0	150.0	120.0	167.5	20.5
(8)その他人工物		0.0	1,233.3	0.0	3,883.3	273.3	602.5	81.0
合 計		11,056.7	11,500.0	609.5	36,166.7	4,463.3	4,587.5	2,125.5

単位面積あたりの重量 (g/100m ²)	調査海岸	持石海岸B	津田海岸	小浜海岸	喜阿弥海岸	御津漁港海岸	浜田港海岸	弓ヶ浜海岸
	海岸コード	J32-15B	J32-16	J32-19	J32-14	J32-18	J32-20	J31-11
(1)プラスチック類		2,228.5	631.7	1,810.0	1,861.0	3,119.0	124.0	1,082.7
(2)ゴム類		154.0	3.7	740.0	0.0	0.0	0.0	15.0
(3)発泡スチロール類		498.0	8.3	1,968.0	180.0	35.8	11.0	26.3
(4)紙類		42.0	0.0	1.0	81.0	0.0	0.0	0.3
(5)布類		3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0
(6)ガラス・陶磁器類		0.0	101.3	258.0	260.0	22.8	0.0	37.3
(7)金属類		23.0	7.3	6.0	93.0	16.0	0.0	0.0
(8)その他人工物		3,590.0	58.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.7
合 計		6,538.5	810.3	4,786.0	2,478.0	3,193.5	135.0	1,246.3

単位面積あたりの重量 (g/100m ²)	調査海岸	浦富海岸	琴引浜海岸	三国 サンセットビーチ	曾々木海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸
	海岸コード	J31-02	J26-01	J18-01	J17-08	J16-04	J16-03	J16-05
(1)プラスチック類		1,042.7	235.7	1,787.3	2,181.0	2,534.7	1,419.3	113.5
(2)ゴム類		0.3	0.0	13.3	12.0	89.3	9.3	14.5
(3)発泡スチロール類		12.3	13.7	36.3	32.0	213.0	66.0	2.5
(4)紙類		10.7	0.0	1.7	0.7	7.2	18.3	0.5
(5)布類		0.0	0.0	0.3	1.7	45.5	18.3	0.0
(6)ガラス・陶磁器類		27.7	52.0	0.0	178.0	161.7	55.7	0.0
(7)金属類		0.3	0.0	15.0	5.3	56.0	153.3	0.5
(8)その他人工物		0.0	0.0	497.7	37.7	437.5	103.7	19.0
合 計		1,094.0	301.3	2,351.7	2,448.3	3,544.8	1,844.0	150.5

単位面積あたりの重量 (g/100m ²)	調査海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場	ヒョートル大帝湾 ファリシウイ岬	ヒョートル大帝湾 セウエルナヤ入江	ヒョートル大帝湾 スイウチヤ入江	プロスラチヤ 入江
	海岸コード	J16-02	J16-01	J06-03	R03-35	R03-36	R03-38	R03-37
(1)プラスチック類		267.7	2.0	515.3	642.5	10,064.5	2,664.5	655.0
(2)ゴム類		0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	25.8	112.5
(3)発泡スチロール類		5.3	1.0	45.3	47.5	10.0	109.7	90.0
(4)紙類		12.3	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	56.5
(5)布類		2.0	0.0	0.0	0.0	155.0	0.0	535.0
(6)ガラス・陶磁器類		26.3	0.0	0.0	35.0	155.0	77.4	387.0
(7)金属類		6.3	11.0	0.0	25.3	0.0	36.8	317.5
(8)その他人工物		338.7	0.0	1.3	2,450.0	18,125.0	0.0	2,807.5
合 計		659.3	14.0	562.0	3,207.8	28,509.5	2,914.2	4,961.0

表2. 1－6(2) 単位面積あたりの漂着物重量 (g/100m²)

単位面積あたりの重量 (g/100m ²)	調査海岸	亡日峰 (マソイルボン) 海岸	竹林湾 (チュンリムマン) 海岸	道南 (トナム) 海水浴場	トナム 干潟海辺	古県里 (コヒョンリ) 海岸	全調査海岸平均	
	海岸コード	K04-02	K04-03	K04-04	K04-05	K04-06		
(1)プラスチック類		142.7	369.3	230.7	204.7	816.7	2,863.1	62.8%
(2)ゴム類		1.7	79.3	26.3	21.3	300.0	74.7	1.6%
(3)発泡スチロール類		0.3	260.7	89.7	50.3	90.0	197.2	4.3%
(4)紙類		0.3	151.3	31.7	33.7	76.7	20.4	0.4%
(5)布類		31.7	105.3	58.3	23.7	220.0	67.2	1.5%
(6)ガラス・陶磁器類		754.7	138.7	530.0	80.0	1,100.0	175.3	3.8%
(7)金属類		31.0	83.7	51.0	66.3	203.3	59.3	1.3%
(8)その他人工物		1.0	205.0	1,018.7	181.7	233.3	1,098.9	24.1%
合 計		963.3	1,393.3	2,036.3	661.7	3,040.0	4,556.2	100.0%

注) 1. 全調査海岸平均は、各海岸の単位面積あたりの重量を算術平均したものである。

2. 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(4) 単位面積あたりの漂着物個数

2020 年度の個数(全調査海岸平均)は 188 個/100m²となった。

分類別では、2020 年度は、「プラスチック類」が 117 個/100m²(個数の 62.3%)と最も多く、次いで「発泡スチロール類」が 38 個/100m²(同 20.3%)の順であり、「ゴム類」、「紙類」、「布類」、「金属類」の占める割合は、いずれも個数の2%未満と低かった。

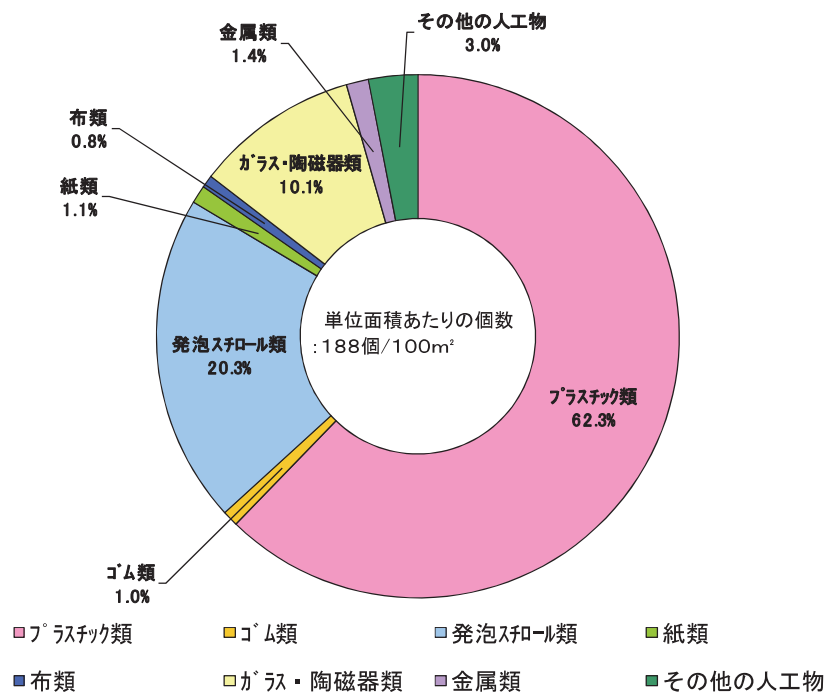


図2. 1-4 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)の組成比率

表2. 1-7 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
単位面積あたりの個数(個/100m ²)	117	2	38	2	1	19	3	6	188
組成率 (%)	62.3%	1.0%	20.3%	1.1%	0.8%	10.1%	1.4%	3.0%	100.0%

表2. 1-8(1) 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	里浜海水浴場	白浜海岸	北浜	涌田海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-12	J42-10	J41-01	J35-06	J32-15A
(1)プラスチック類		24	252	174	162	191	113	76
(2)ゴム類		0	2	0	1	0	2	3
(3)発泡スチロール類		0	20	16	6	0	10	31
(4)紙類		1	0	0	0	2	2	1
(5)布類		0	0	1	2	0	2	0
(6)ガラス・陶磁器類		12	1	0	6	0	3	1
(7)金属類		4	1	1	2	1	7	1
(8)その他人工物		0	3	0	7	1	4	8
合 計		42	279	191	187	196	142	120

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	持石海岸B	津田海岸	小浜海岸	喜阿弥海岸	御津漁港海岸	浜田港海岸	弓ヶ浜海岸
	海岸コード	J32-15B	J32-16	J32-19	J32-14	J32-18	J32-20	J31-11
(1)プラスチック類		94	98	251	70	133	19	192
(2)ゴム類		4	0	4	0	0	0	3
(3)発泡スチロール類		321	17	24	26	17	28	25
(4)紙類		1	0	3	5	0	0	1
(5)布類		1	0	5	1	0	0	0
(6)ガラス・陶磁器類		0	1	3	2	1	0	0
(7)金属類		1	1	1	3	1	0	0
(8)その他人工物		86	1	0	0	0	0	3
合 計		507	118	291	107	152	47	225

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	浦富海岸	琴引浜海岸	三国 サンセットビーチ	曾々木海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸
	海岸コード	J31-02	J26-01	J18-01	J17-08	J16-04	J16-03	J16-05
(1)プラスチック類		316	382	102	121	155	223	185
(2)ゴム類		1	0	2	2	6	3	7
(3)発泡スチロール類		26	48	16	12	256	179	16
(4)紙類		4	0	0	1	1	3	1
(5)布類		0	0	1	0	0	2	0
(6)ガラス・陶磁器類		1	8	0	1	2	1	0
(7)金属類		0	0	0	0	1	2	3
(8)その他人工物		0	0	15	1	2	6	4
合 計		348	439	137	138	423	418	216

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場	ヒョートル大帝湾 ファリシウイ岬	ヒョートル大帝湾 セウエルナヤ入江	ヒョートル大帝湾 スィウチヤ入江	プロスラチナヤ 入江
	海岸コード	J16-02	J16-01	J06-03	R03-35	R03-36	R03-38	R03-37
(1)プラスチック類		167	3	15	23	51	30	108
(2)ゴム類		1	0	0	0	0	1	11
(3)発泡スチロール類		24	2	1	14	1	38	2
(4)紙類		1	0	0	1	0	0	15
(5)布類		0	0	0	0	1	0	24
(6)ガラス・陶磁器類		1	0	0	0	4	1	83
(7)金属類		1	4	0	1	0	3	22
(8)その他人工物		17	0	0	1	3	0	4
合 計		213	9	16	40	58	72	267

表2. 1－8(2) 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	亡日峰 (マソイルボン) 海岸	竹林湾 (チュンリムマン) 海岸	道南 (トナム) 海水浴場	トナム 干潟海辺	古県里 (コヒョンリ) 海岸	全調査海岸平均	
	海岸コード	K04-02	K04-03	K04-04	K04-05	K04-06		
(1)プラスチック類		18	25	29	38	20	117	62.3%
(2)ゴム類		1	3	1	2	1	2	1.0%
(3)発泡スチロール類		5	23	39	14	4	38	20.3%
(4)紙類		0	4	14	8	3	2	1.1%
(5)布類		0	3	1	3	1	1	0.8%
(6)ガラス・陶磁器類		323	65	98	8	4	19	10.1%
(7)金属類		4	5	2	10	3	3	1.4%
(8)その他人工物		1	3	10	6	1	6	3.0%
合 計		353	131	194	89	38	188	100.0%

注) 1. 全調査海岸平均は、各海岸の単位面積あたりの個数を算術平均したものである。

2. 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

2. 2 調査海岸別の漂着物量の結果

調査海岸別漂着物量の結果については、調査海岸ごとに調査実施面積が異なるため、単位面積あたりの漂着物重量及び個数について比較した。

2020 年度の重量とその組成比率を図2. 2-1~2、個数とその組成比率を図2. 2-3~4に示す。

(1) 海岸別単位面積あたりの漂着物重量

2020 年度の重量は、「白浜海岸(長崎県)」が 36,166.7g/100m²(全調査海岸平均 4,556.2g/100m² の 7.9 倍)と最も重く、次いで「ピョートル大帝湾セヴェルナヤ入江(ロシア 沿海地方)」が 28,509.5g/100m²(同 6.3 倍)、「蛤浜海水浴場(長崎県)」11,500.0g/100m²(同 2.5 倍)の順であった。重量が軽かったのは、「宮崎・境海岸(富山県)」が 14.0g/100m²、次いで「浜田港海岸(島根県)」が 135.0g/100m²、「海老江海岸(富山県)」150.5g/100m²の順であった。

(2) 海岸別単位面積あたりの漂着物重量の組成比率

ほとんどの海岸においてプラスチック類の組成比率が高い傾向にあった。

2020 年度の海岸別での「プラスチック類」の組成比率が最も高かったのは、「里浜海水浴場(長崎県)」が 98.8%、次いで「御津漁港海岸(島根県)」が 97.7%、「田尾海岸(長崎県)」95.7%の順であった。「その他の人工物」の組成比率が高かったのは、「ピョートル大帝湾ファリシヴィイ岬(ロシア 沿海地方)」が 76.4%、次いで「ピョートル大帝湾セヴェルナヤ入江(ロシア 沿海地方)」が 63.6%、「プロズラチナヤ入江(ロシア 沿海地方)」56.6%の順であった。

(3) 海岸別単位面積あたりの漂着物個数

2020 年度の個数は、「持石海岸 B(島根県)」が 507 個/100m²(全調査海岸平均 188 個/100m² の 2.7 倍)と最も多く、次いで「琴引浜海岸(京都府)」が 439 個/100m²(同 2.3 倍)、「島尾・松田江浜(富山県)」423 個/100m²(同 2.3 倍)の順であった。個数が少なかったのは、「宮崎・境海岸(富山県)」が9個/100m²、次いで「浜中あさり海水浴場(山形県)」が 16 個/100m²、「古県里(コヒョンリ)海岸(韓国 慶尚南道)」38 個/100m²の順であった。

(4) 海岸別単位面積あたりの漂着物個数の組成比率

ほとんどの海岸においてプラスチック類の組成比率が高い傾向にあった。

2020 年度の海岸別での「プラスチック類」の組成比率が最も高かったのは、「北浜(佐賀県)」が 97.6%、次いで「浜中あさり海水浴場(山形県)」が 91.7%、「里浜海水浴場(長崎県)」91.1%の順であった。「発泡スチロール類」の組成比率が高かったのは、「持石海岸 B(島根県)」が 63.2%、次いで「島尾・松田江浜(富山県)」が 60.6%、「浜田港海岸(島根県)」59.6%の順であった。



図2. 2-1 海岸別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

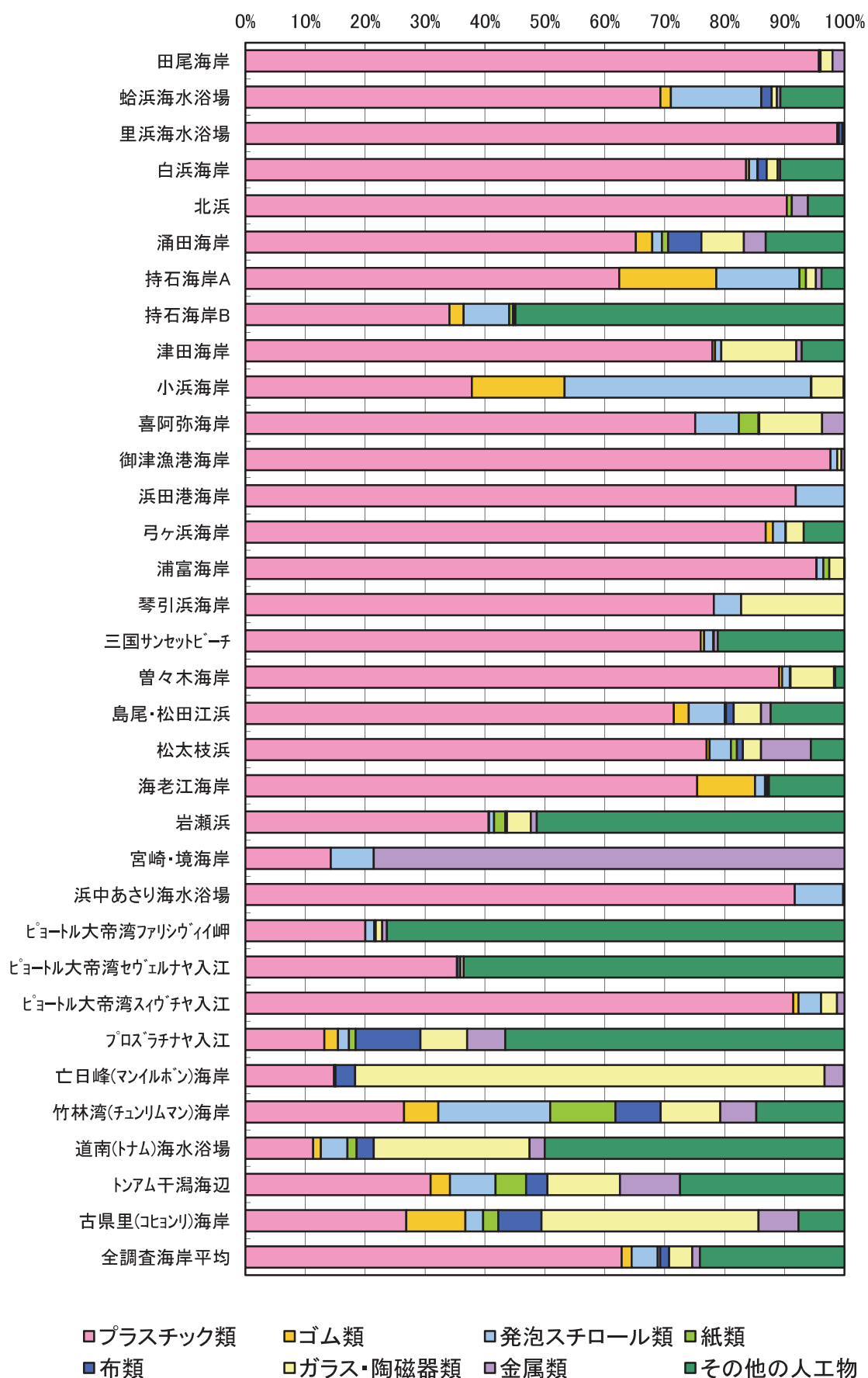


図2. 2-2 海岸別単位面積あたりの漂着物重量の組成比率(%)

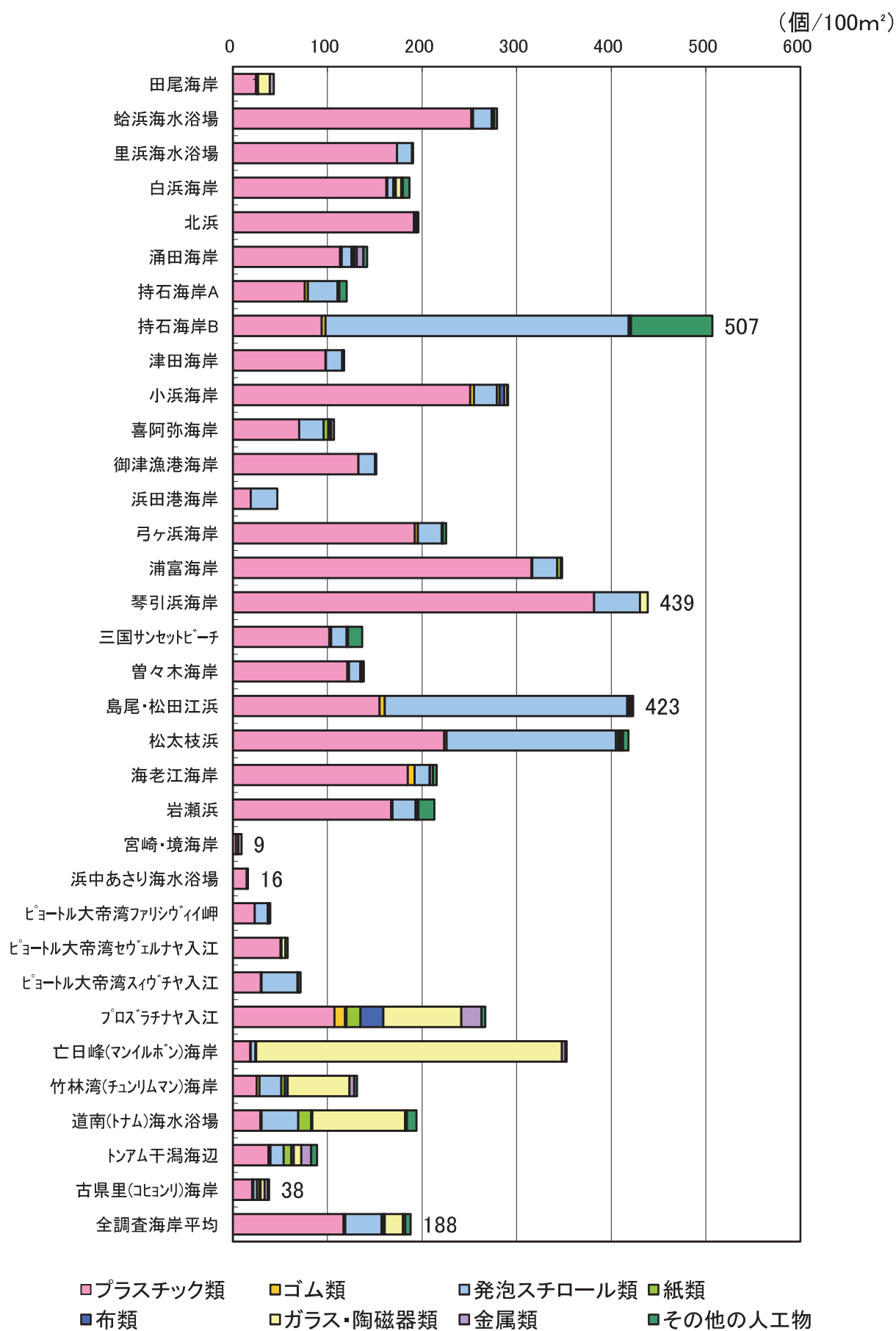


図2. 2-3 海岸別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

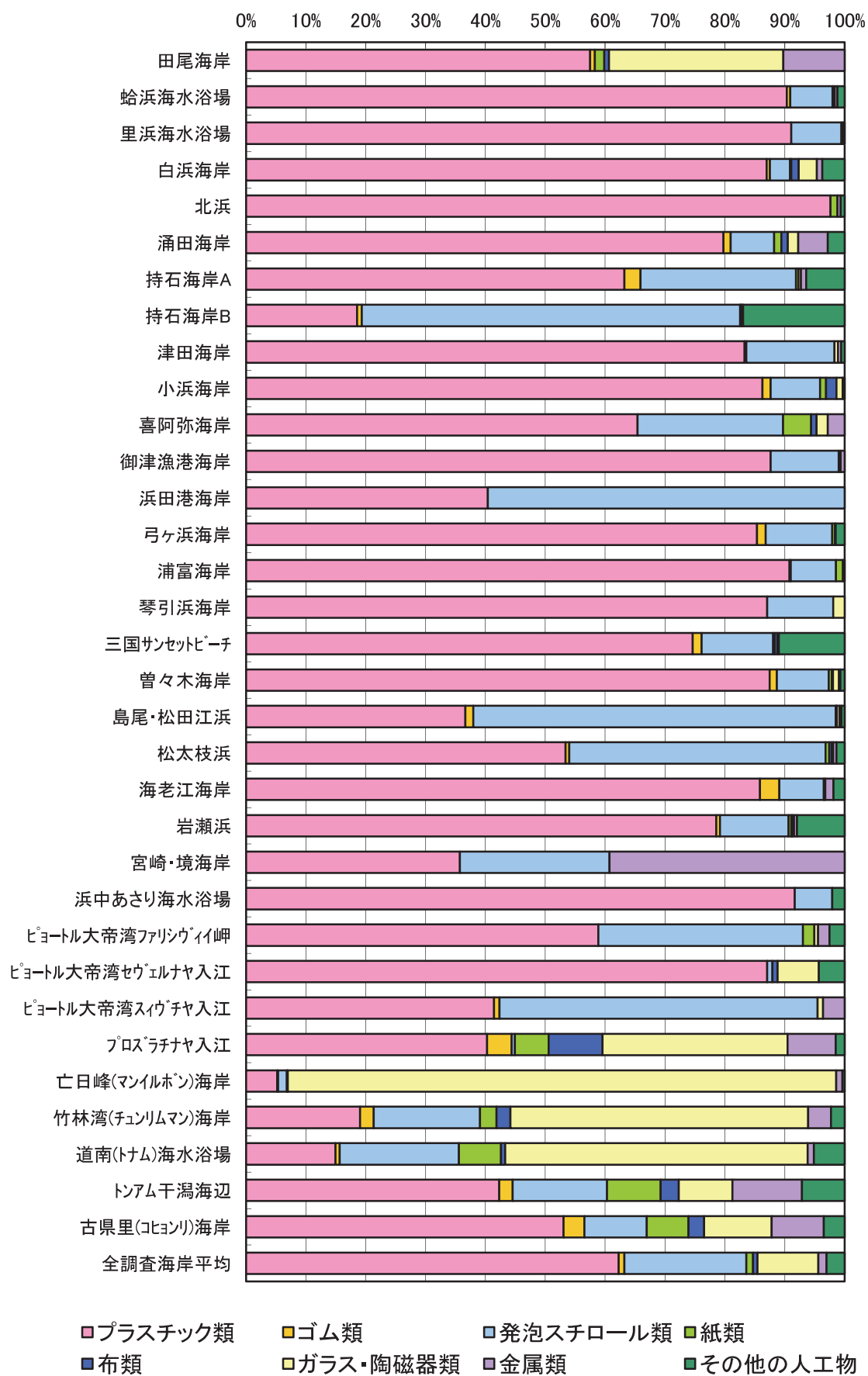


図2. 2-4 海岸別単位面積あたりの漂着物個数の組成比率(%)

2. 3 漂着物量の経年変化

(1) 全調査海岸の漂着物量の経年変化

2011 年度から 2020 年度までの 10 年間の調査結果について、漂着物量の経年変化を比較した。全調査海岸の単位面積あたりの漂着物重量とその組成比率の経年変化を図2. 3-1、表2. 3-1、個数とその組成比率の経年変化を図2. 3-2、表2. 3-2に示す。

① 全調査海岸の単位面積あたりの漂着物重量

全調査海岸の 10 年間の平均重量は $3,750.1\text{g}/100\text{m}^2$ であり、2020 年度は $4,556.2\text{g}/100\text{m}^2$ で 10 年間の平均値より1割程度重く 10 年間の中で2番目に重い状況であった。

また、組成比率は、「プラスチック類」が 49.6% (年度別では 42.2~62.8%) と最も高く、2020 年度は 62.8% と 10 年間の中で最も高かった。次いで「その他の人工物」が 19.8% (同 9.6~25.5%)、2020 年度は 24.1% の割合であった。

② 全調査海岸の単位面積あたりの漂着物個数

全調査海岸の 10 年間の平均個数は 229 個/ 100m^2 であり、2020 年度は 188 個/ 100m^2 で 10 年間の平均値より1割程度少なく 10 年間の中で最も少ない状況であった。

また、組成比率は、「プラスチック類」が 73.1% (年度別では 62.3~78.5%) と最も高く、2020 年度は 62.3% と 10 年間の中で最も低かった。次いで「発泡スチロール類」が 14.3% (同 9.2~20.3%)、2020 年度は 20.3% と 10 年間の中で最も高くなった。

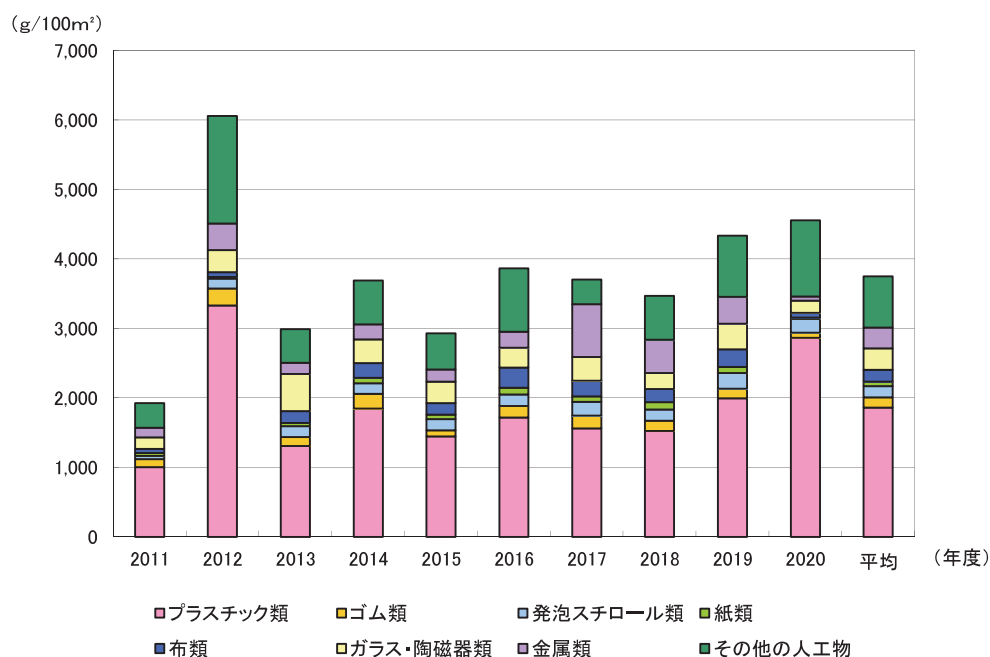


図2. 3-1(1) 単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)

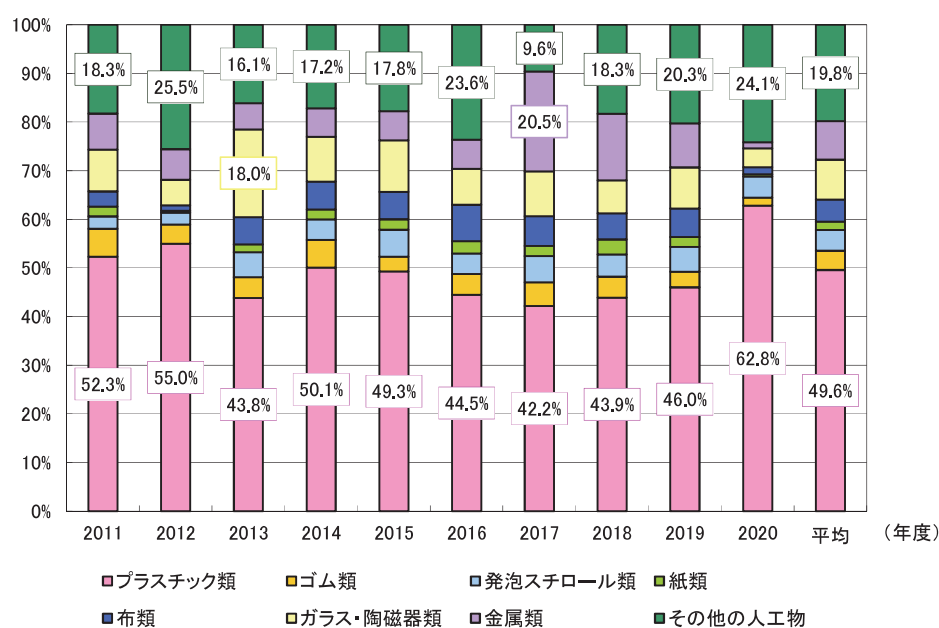


図2. 3-1(2) 単位面積あたりの漂着物重量組成の経年変化(%)

表2. 3-1 単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

調査年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	10年間の平均	組成
調査海岸数	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33		
調査回数	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33		
プラスチック類	1,005.0	3,329.3	1,307.5	1,845.6	1,442.6	1,718.6	1,561.1	1,522.4	1,994.3	2,863.1	1,859.0	49.6%
ゴム類	110.8	241.3	128.6	210.7	87.9	164.2	181.0	148.9	138.4	74.7	148.7	4.0%
発泡スチロール類	49.3	145.5	153.8	154.7	163.2	163.9	198.5	158.7	223.6	197.2	160.9	4.3%
紙類	39.6	22.7	48.0	77.2	64.2	100.0	79.8	108.0	86.9	20.4	64.7	1.7%
布類	59.5	70.1	168.6	210.3	165.4	287.9	225.5	187.2	255.5	67.2	169.7	4.5%
ガラス・陶磁器類	165.3	316.1	536.8	339.8	310.1	284.5	340.2	233.1	365.4	175.3	306.7	8.2%
金属類	141.8	382.9	160.9	216.5	174.2	231.6	759.5	475.5	390.2	59.3	299.2	8.0%
その他の人工物	350.9	1,546.7	481.7	632.4	520.5	912.7	356.4	633.9	879.3	1,098.9	741.3	19.8%
合計	1,922.1	6,054.6	2,986.1	3,687.3	2,928.2	3,863.4	3,702.1	3,467.8	4,333.7	4,556.2	3,750.1	100.0%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

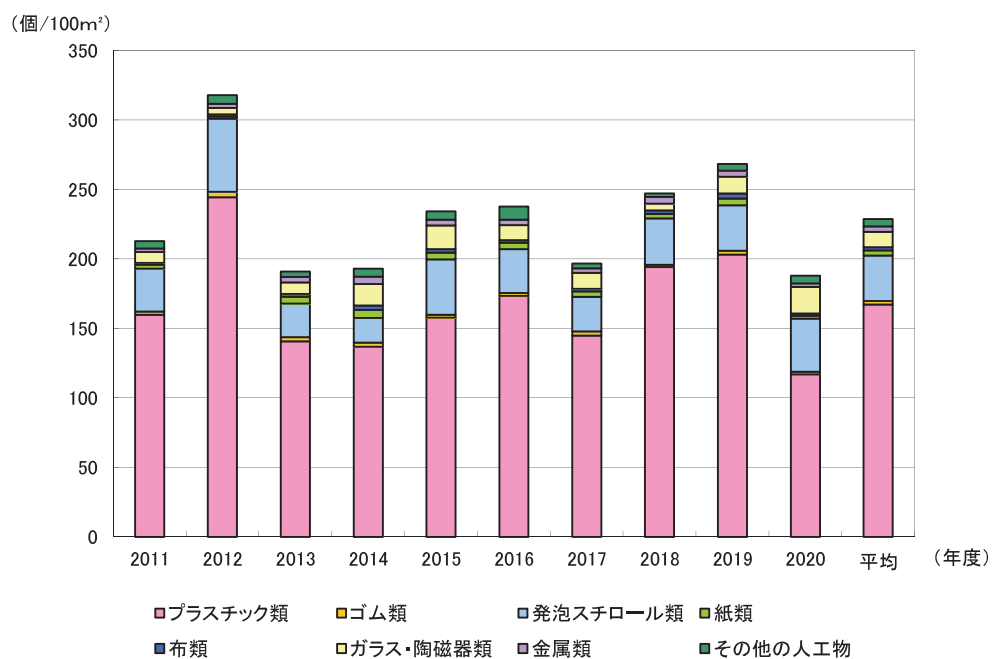


図2. 3-2(1) 単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

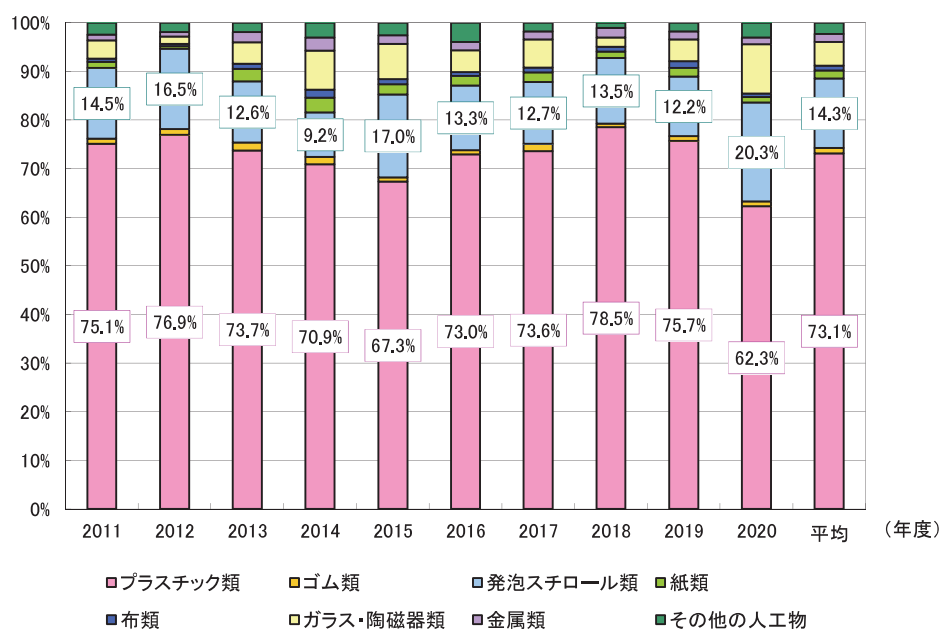


図2. 3-2(2) 単位面積あたりの漂着物個数組成の経年変化(%)

表2. 3-2 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

調査年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	10年間の平均	組成
調査海岸数	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33		
調査回数	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33		
プラスチック類	160	244	141	137	158	173	145	194	203	117	167	73.1%
ゴム類	2	4	3	3	2	2	3	2	3	2	3	1.1%
発泡スチロール類	31	53	24	18	40	32	25	33	33	38	33	14.3%
紙類	3	2	5	6	5	5	4	3	5	2	4	1.7%
布類	1	1	2	3	2	2	2	2	4	1	2	1.0%
ガラス・陶磁器類	8	5	8	15	17	11	11	5	12	19	11	4.9%
金属類	3	3	4	5	4	4	3	5	4	3	4	1.6%
その他の人工物	5	6	4	6	6	9	4	3	5	6	5	2.3%
合計	213	318	191	193	234	238	197	247	268	188	229	100.0%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(2) 継続調査海岸の漂着物量の経年変化

1996 年度から 2010 年度までの 15 年間で 11 回以上調査を実施した 14 海岸を継続調査海岸としていたが、データの連続性を考慮して見直し、2015 年度以降は、継続調査 14 海岸のうち、1996 年度から 2015 年度までの 20 年間で 16 回以上調査を実施した 9 海岸を、継続調査海岸とした。その調査結果について、単位面積あたりの漂着物量の経年変化を比較した。継続調査海岸の位置を図 2. 3-3 に示す。ただし、1996 年度の調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考値として扱い、継続調査海岸の平均漂着物量の算出にあたっては、1996 年度の値を除外した。調査対象期間は、1997 年度から 2020 年度までを示す。

なお、2005 年度から 2009 年度の 5 年間については、1 海岸で 1～4 回調査を実施しているため、単位面積あたりの漂着物量の算出にあたっては、複数回の調査結果合計を調査面積合計で除して求めている。

継続調査海岸の分類別単位面積あたり漂着物重量とその組成比率の経年変化を図 2. 3-4～5 及び表 2. 3-3 に、継続調査海岸の分類別単位面積あたり漂着物個数とその組成比率の経年変化を図 2. 3-6～7 及び表 2. 3-4 に示す。また、継続調査海岸別の単位面積あたり漂着物重量の経年変化を図 2. 3-8～9 及び表 2. 3-5、継続調査海岸別の単位面積あたり漂着物個数の経年変化を図 2. 3-10～11 及び表 2. 3-6 に示す。



図 2. 3-3 継続調査海岸位置

① 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量

調査対象期間における分類別単位面積あたりの漂着物重量平均は、「プラスチック類」が 1,406.9g/100m²(年度別では 590.1~2,842.9g/100m²)と最も重くなった。2020 年度は 963.6g/100m²で、2019 年度の 590.1g/100m²、2002 年の 676.0g/100m²に次いで3番目に軽かった。

調査対象期間における分類別単位面積あたりの漂着物重量平均の組成比率は、「プラスチック類」が 63.1%(年度別では 54.5~74.9%)と最も高くなった。2020 年度は 74.9%と 1997 年以降で最も高かった。次いで「その他の人工物」が 16.9%(同 7.1~26.1%)、2020 年度は 11.4%の割合であった。

② 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数

調査対象期間における分類別単位面積あたりの漂着物個数平均は、「プラスチック類」が 276 個/100m²(年度別では 147~589 個/100m²)となり、2020 年度は 147 個/100m²で最も少なかった。次いで「発泡スチロール類」が 78 個/100m²(同 31~173 個/100m²)で、2020 年度は 82 個/100m²であり、平均と変わらない個数となった。

調査対象期間における分類別単位面積あたりの漂着物個数平均の組成比率は、「プラスチック類」が 73.7%(年度別では 55.7~88.8%)となり、2020 年度は 61.6%の割合であった。次いで「発泡スチロール類」が 20.7%(同 7.6~37.8%)、2020 年度は 34.3%の割合であった。

③ 継続調査海岸別の単位面積あたりの漂着物重量

2020 年度は、継続調査9海岸のうち調査を実施したのは6海岸で、海岸平均が 1,286.4g/100 m²となった。

海岸別対象期間の漂着物重量平均は、「二位の浜(山口県)」が 5,156.1g/100m²(年度別では 1,217.8~13,195.2g/100m²)と最も重く、次いで「出来島海水浴場(青森県)」が 4,628.0g/100 m²(1,106.7~29,518.0g/100m²)の順であった。2020 年度は両海岸とも調査を実施していない。

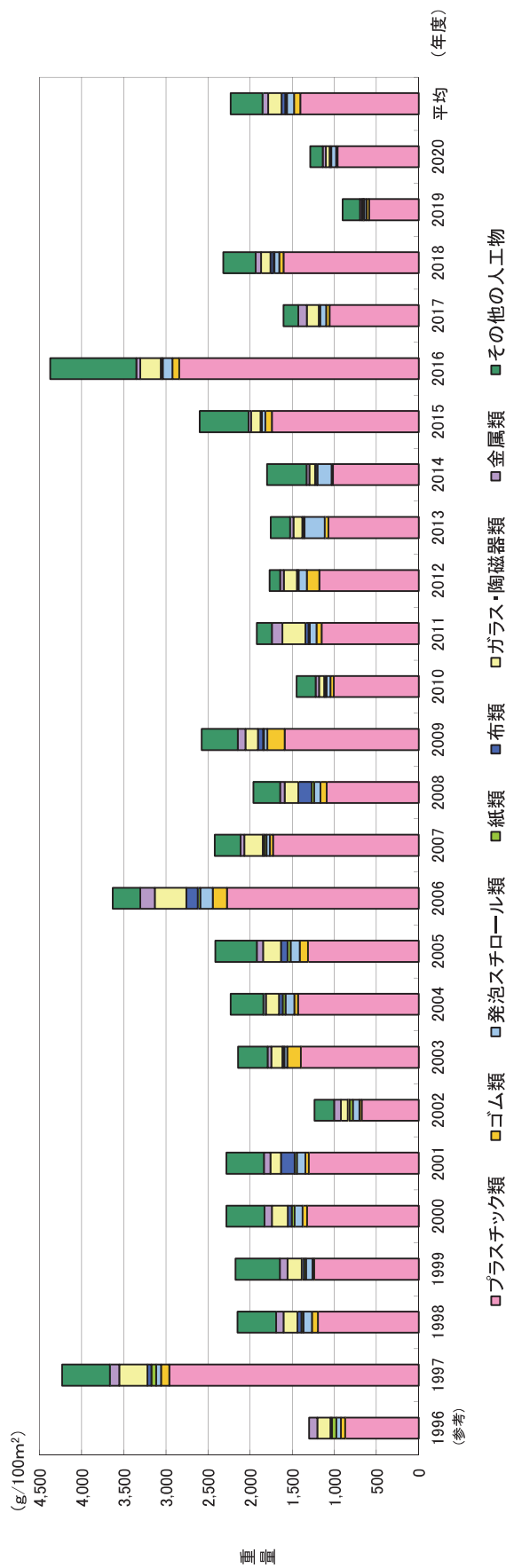
軽かった海岸は、「宮崎・境海岸(富山県)」が 565.2g/100m²(14.0~1,621.0g/100m²)であり、2020 年度は 14.0g/100m²と 1997 年以降最も軽かった。

④ 継続調査海岸別の単位面積あたりの漂着物個数

2020 年度は、重量同様、調査を実施したのは6海岸で、海岸平均が 238 個/100m²となった。

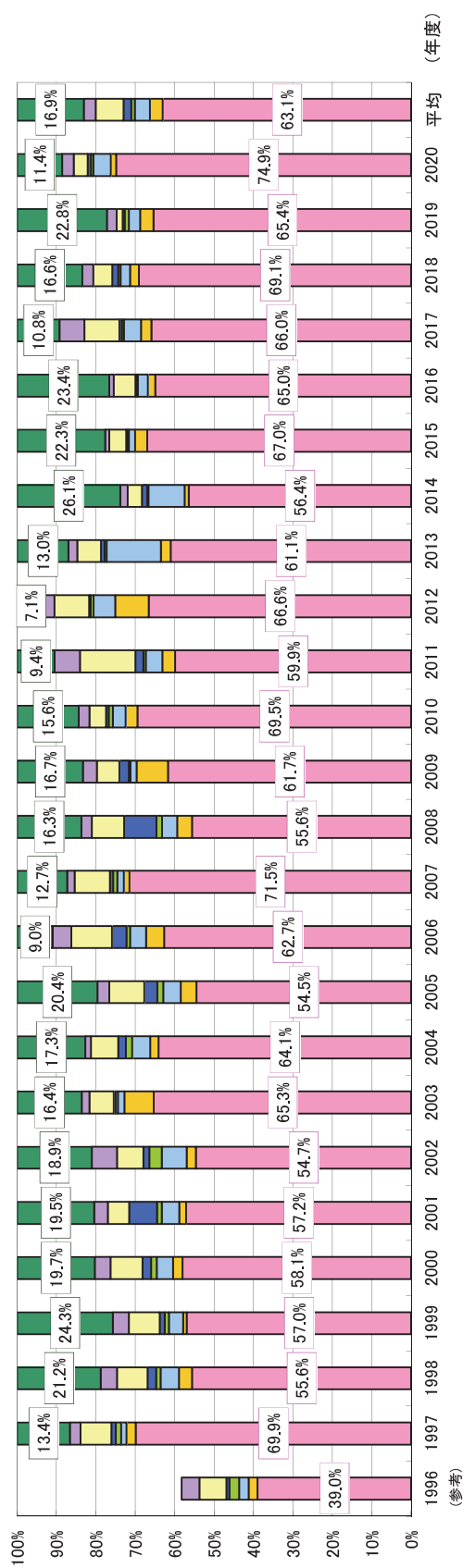
海岸別対象期間の漂着物個数平均は、「二位の浜(山口県)」が 776 個/100m²(年度別では 315~1,961 個/100m²)と最も多かった。ただし、2020 年度は調査を実施していない。

少なかった海岸は、「宮崎・境海岸(富山県)」が 103 個/100m²(9~451 個/100m²)であり、2020 年度は9個/100m²と 1997 年以降最も少なかった。



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-4 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化 (g/100m²)



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

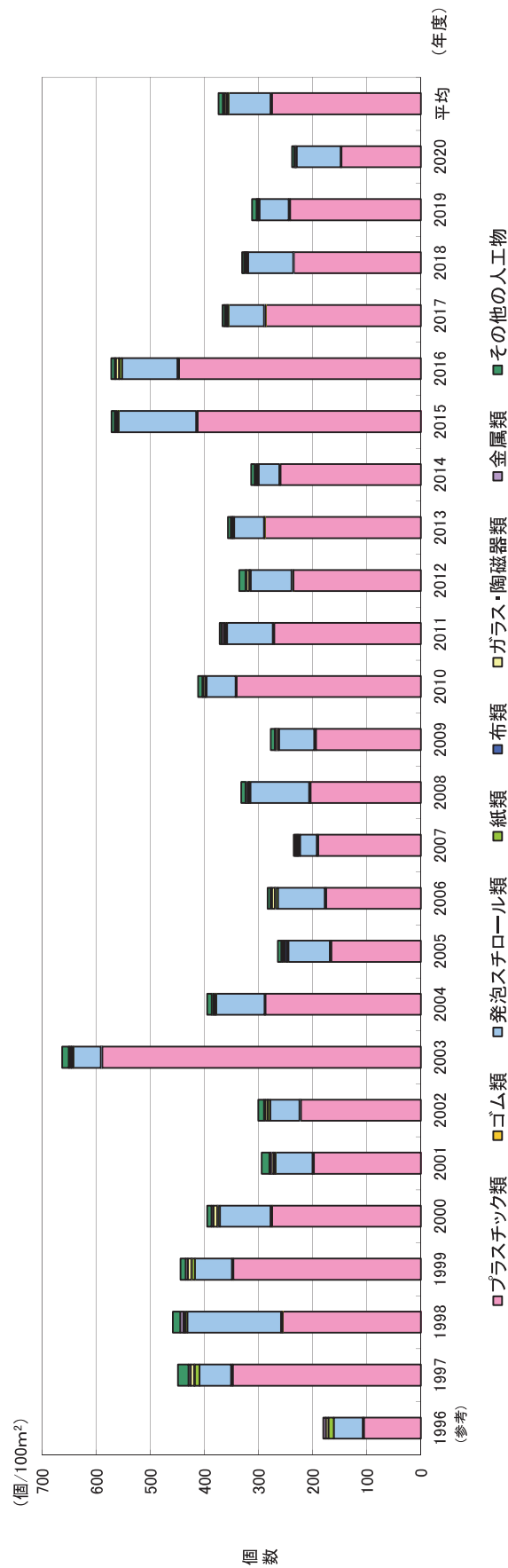
図2.3-5 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量組成比率の経年変化 (%)

表2. 3-3 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化 (g/100m²)

調査年度	(参考) 1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
調査海岸数	16	27	29	26	26	35	43	48	51	70	71	83	78	69	30
調査回数	16	27	29	26	26	35	43	48	51	132	125	214	194	176	30
プラスチック類	871.0	2,959.9	1,196.2	1,239.6	1,324.8	1,305.5	676.0	1,400.4	1,431.2	1,315.1	2,276.5	1,731.1	1,092.2	1,591.1	1,007.0
ゴム類	51.9	98.3	71.2	19.2	54.5	39.4	28.6	161.0	46.6	97.2	166.9	34.7	74.0	206.0	42.6
発泡スチロール類	53.1	57.1	100.5	79.7	94.9	100.9	78.2	33.9	102.7	107.5	148.8	40.4	74.8	41.0	46.9
紙類	55.6	59.3	24.4	22.1	32.5	27.0	38.9	13.6	35.6	36.0	32.6	26.5	28.9	9.1	15.6
布類	16.5	46.1	45.9	28.3	48.5	161.6	19.0	9.1	42.5	80.1	132.9	19.2	160.7	62.3	10.2
ガラス・陶磁器類	153.4	333.0	167.8	169.5	186.8	124.0	82.7	133.2	155.6	213.0	376.0	216.9	160.8	146.9	60.8
金属類	101.2	114.2	88.1	89.5	90.2	79.4	79.4	41.1	31.1	73.7	170.1	46.3	52.4	91.5	39.5
その他の人工物	—	565.7	456.6	528.0	449.5	446.3	234.1	352.2	386.2	491.5	328.6	307.1	319.8	430.4	226.1
合計	2,235.2	4,233.6	2,150.6	2,176.0	2,281.8	2,284.1	1,236.9	2,144.4	2,231.2	2,414.1	3,632.6	2,422.1	1,963.6	2,578.2	1,448.9

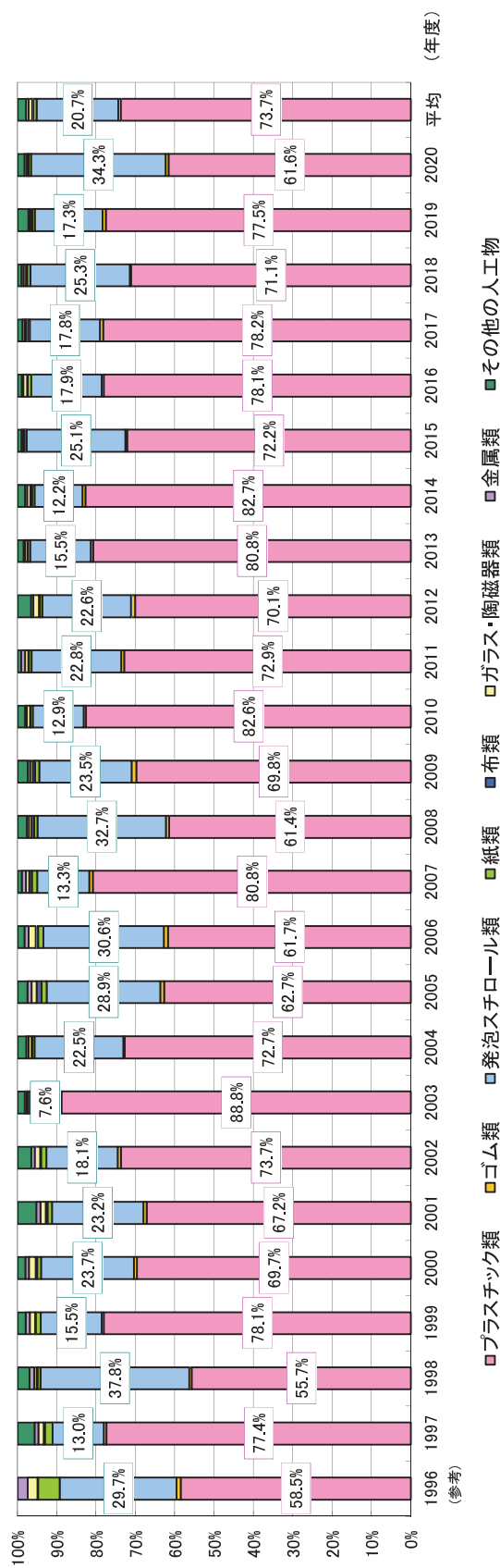
調査年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対象期間 の平均
調査海岸数	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33	
調査回数	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33	
プラスチック類	1,151.7	1,178.8	1,072.0	1,016.9	1,741.5	2,842.9	1,057.7	1,603.8	590.1	963.6	1,406.9
ゴム類	62.5	150.8	43.4	18.7	78.9	80.5	42.0	51.9	30.2	16.6	71.5
発泡スチロール類	81.2	96.7	241.1	166.3	41.7	114.5	70.3	55.4	25.8	57.2	85.7
紙類	12.4	12.6	10.0	4.3	8.3	11.0	8.1	14.8	9.5	8.1	20.9
布類	38.2	6.7	15.5	25.3	8.8	12.7	9.5	34.8	4.6	11.0	43.1
ガラス・陶磁器類	270.7	156.0	105.4	65.1	111.7	242.5	141.9	111.9	13.6	45.2	158.0
金属類	125.1	42.0	39.0	34.0	27.7	49.4	101.3	63.9	22.7	37.8	67.9
その他の人工物	181.5	125.8	229.0	471.1	579.9	1,022.8	172.9	384.2	205.5	146.9	376.7
合計	1,923.4	1,769.4	1,755.4	1,801.8	2,598.5	4,376.2	1,603.7	2,320.7	902.0	1,286.4	2,230.7

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-6 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

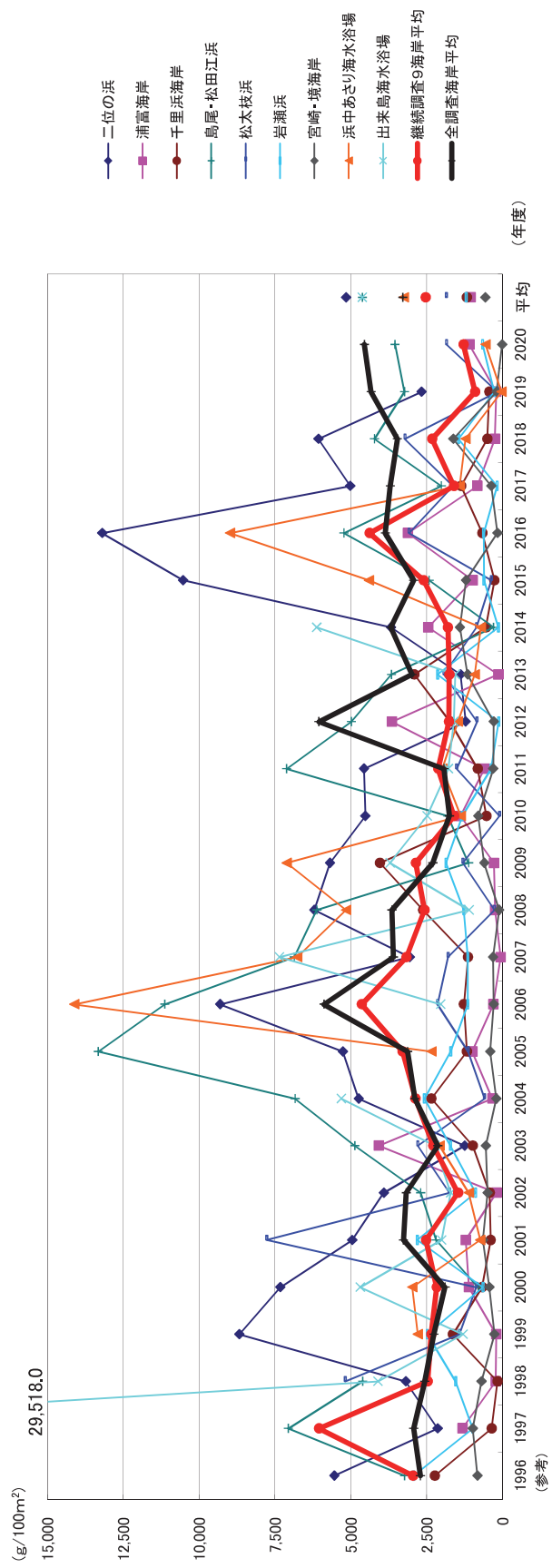
図2.3-7 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数組成比率の経年変化(%)

表2. 3-4 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

調査年度	(参考) 1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
調査海岸数	16	27	29	26	26	35	43	48	51	70	71	83	78	69	30
調査回数	16	27	29	26	26	35	43	48	51	132	125	214	194	176	30
プラスチック類	105	348	255	347	275	198	222	589	287	166	175	190	204	194	340
ゴム類	2	3	3	2	3	2	3	3	2	3	3	2	3	3	2
発泡スチロール類	53	59	173	69	93	68	54	51	89	76	87	31	108	65	53
紙類	10	9	3	6	4	3	4	3	2	3	4	3	3	3	2
布類	0	2	1	1	2	1	1	1	1	3	2	2	2	2	0
ガラス・陶磁器類	4	6	3	6	7	4	4	3	3	3	5	2	2	2	3
金属類	5	5	6	4	4	3	3	2	2	3	3	2	2	2	2
その他の人工物	—	19	14	9	8	14	11	12	9	7	5	3	8	7	8
合計	180	449	459	444	395	294	301	663	395	264	283	235	332	278	412

調査年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対象期間 の平均
調査海岸数	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33	
調査回数	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33	
プラスチック類	271	235	288	259	413	447	287	235	242	147	276
ゴム類	3	3	2	2	3	3	3	1	3	2	3
発泡スチロール類	85	76	55	38	144	102	65	83	54	82	78
紙類	3	2	2	2	2	5	2	3	2	1	3
布類	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	1
ガラス・陶磁器類	3	5	2	2	2	6	2	2	1	1	3
金属類	4	2	1	2	2	2	2	2	2	1	3
その他の人工物	3	11	5	6	6	6	4	3	8	4	8
合計	372	336	357	314	572	572	367	330	312	238	374

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

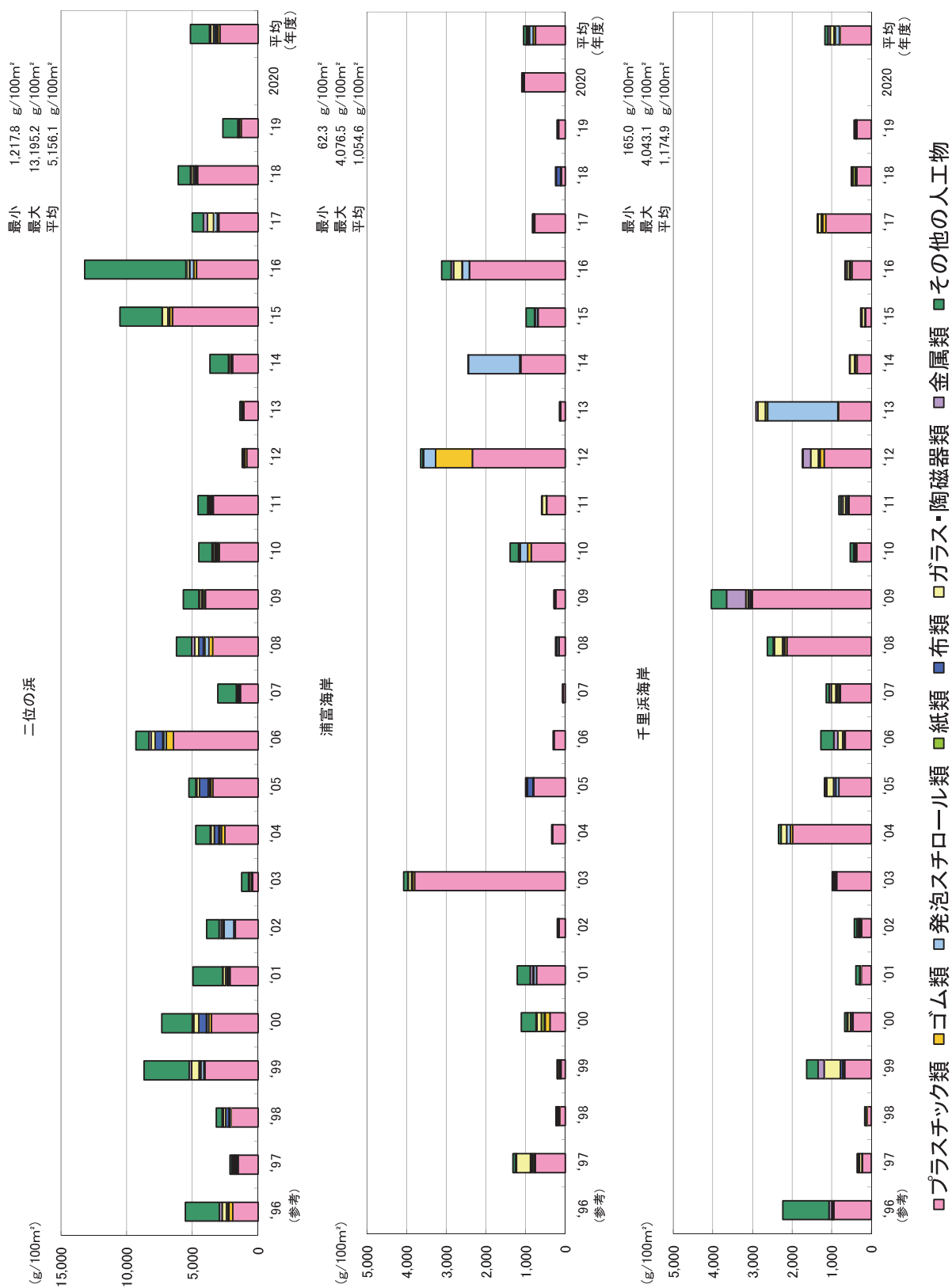
図2.3-8 継続調査海岸別の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化 (g/100m²)

表2. 3-5 継続調査海岸別の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)

年度 海岸名	(参考) 1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
二位の浜	5,545.2	2,141.0	3,192.0	8,680.0	7,329.0	4,953.0	3,915.0	1,249.6	4,744.0	5,267.6	9,307.1	3,057.6	6,208.3	5,691.6	4,522.5
浦富海岸		1,324.0	230.0	206.0	1,112.0	1,211.0	203.0	4,076.5	340.0	1,000.3	301.3	62.3	249.3	283.7	1,390.0
浜坂県民サンビーチ	769.3	900.0	3,911.0	802.0	1,566.0	93.0	38.0	317.8	211.1	234.7	128.8	231.3	113.3		
訓谷浜	842.9	997.0	694.0	214.0	144.0	117.0	149.0	250.6	114.3	159.3	43.9	933.6			
千里浜海岸	2,232.9	359.0	165.0	1,636.0	675.0	392.0	426.0	986.2	2,346.4	1,178.2	1,274.2	1,140.5	2,624.1	4,043.1	529.7
島尾・松田江浜	3,229.7	7,061.0	4,615.0		807.0	2,187.0	2,700.0	4,873.5	6,841.8	13,324.5	11,138.4	6,865.0	6,123.5	1,122.7	1,804.5
松太枝浜			5,185.0	1,425.0	864.0	7,771.0	1,751.0	2,791.2	593.0	1,134.5	2,142.1	1,793.4	266.2	1,306.1	100.3
岩瀬浜	2,930.4	980.0	1,546.0	2,475.0	645.0	2,809.0	892.0	1,716.9	2,575.5	1,709.1	1,148.0	1,146.4	1,276.0	1,867.4	1,325.7
宮崎・境海岸	825.4	980.0	697.0	269.0	438.0	648.0	495.0	553.7	208.2	411.3	296.7	314.7	112.0	605.5	803.5
四ツ郷屋浜	685.6	4,308.0	960.0	2,351.0	4,084.0	1,317.0	2,281.0	4,777.3	4,185.7	2,249.3	2,743.7	3,171.1	170.5		
浜中あさり海水浴場				2,797.0	2,975.0	736.0	1,116.0	2,072.6		2,339.5	14,119.0	6,765.6	5,160.6	7,117.2	1,376.7
西目海水浴場	3,055.2	1,440.0	1,875.0	5,428.0	4,332.0	6,471.0	1,145.0	3,995.8	488.3	2,281.4	5,667.9	935.5			
出来島海水浴場		29,518.0	4,109.0	1,308.0	4,693.0	2,008.0	1,712.0	2,233.2	5,313.3		2,040.7	7,353.3	1,106.7	3,708.7	2,487.3
石狩浜海水浴場		795.0	779.0	697.0		818.0	494.0	126.9	1,044.7	94.0	504.3	139.3	152.8	36.0	148.5
継続調査9海岸平均	2,952.7	6,051.9	2,467.4	2,349.5	2,170.9	2,523.9	1,467.8	2,283.7	2,870.3	3,295.6	4,640.8	3,166.5	2,569.6	2,860.7	1,593.4
継続調査14海岸平均	2,235.2	4,233.6	2,150.6	2,176.0	2,281.8	2,284.1	1,236.9	2,144.4	2,231.2	2,414.1	3,632.6	2,422.1	1,963.6	2,578.2	1,448.9
全調査海岸平均	2,707.1	2,927.7	2,563.6	2,263.1	1,898.2	3,266.6	3,172.2	2,133.5	2,890.9	3,128.7	5,886.0	3,601.6	3,649.4	2,300.1	1,749.2

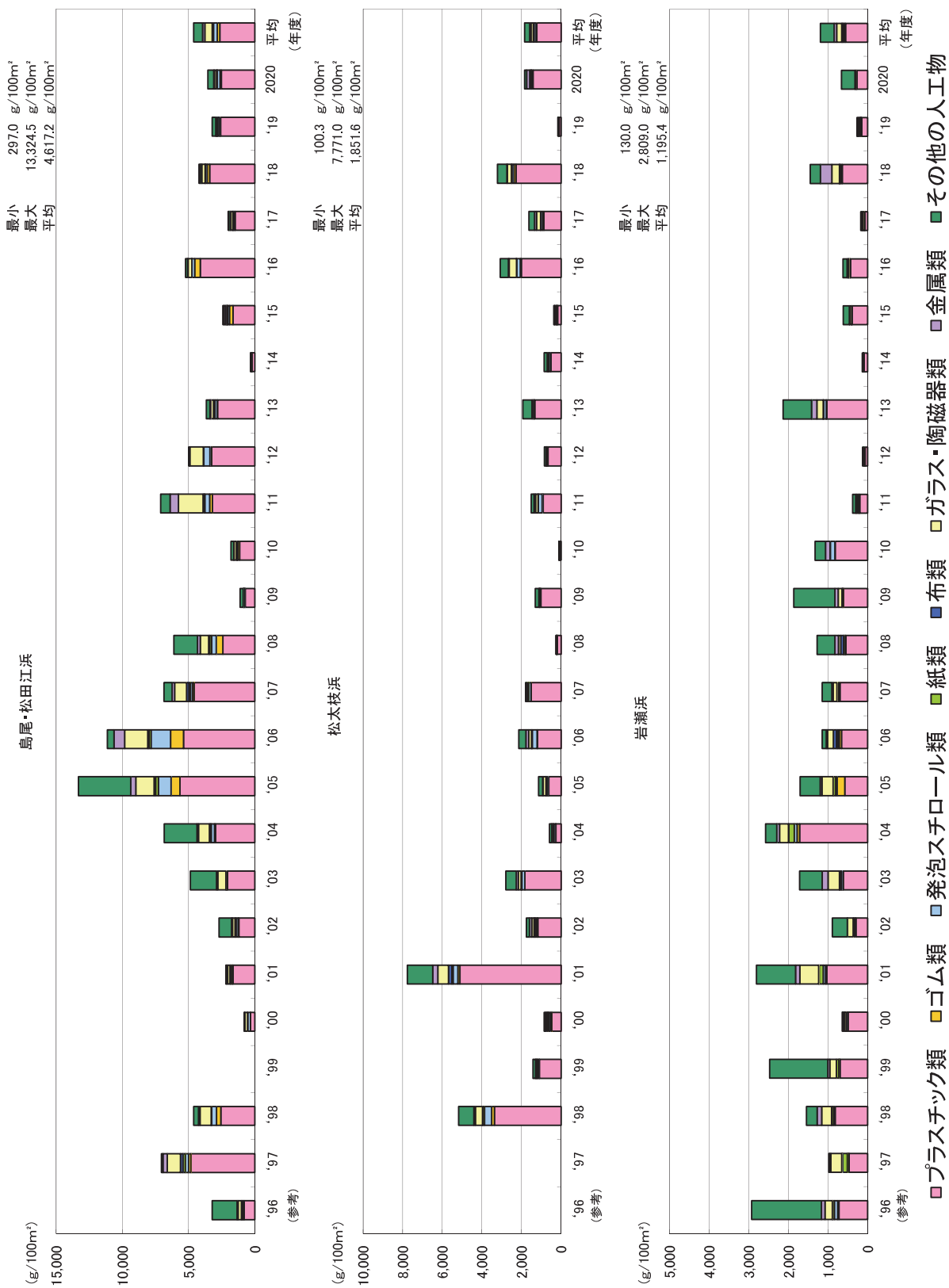
年度 海岸名	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対象期間 の平均	調査 回数
二位の浜	4,567.6	1,217.8	1,384.3	3,674.5	10,528.5	13,195.2	5,018.0	6,072.7	2,672.9		5,156.1	24
浦富海岸	596.1	3,646.0	145.5	2,446.7	986.3	3,116.7	831.0	250.3	207.3	1,094.0	1,054.6	24
浜坂県民サンビーチ												
訓谷浜						4,330.0						
千里浜海岸	820.7	1,729.8	2,910.8	548.0	268.8	665.0	1,365.5	505.2	433.8		1,174.9	24
島尾・松田江浜	7,117.3	4,985.0	3,663.2	297.0	2,417.7	5,228.8	2,021.2	4,224.7	3,231.8	3,544.8	4,617.2	24
松太枝浜	1,511.8	843.3	1,930.2	860.3	367.3	3,082.3	1,633.0	3,220.7	171.0	1,844.0	1,851.6	23
岩瀬浜	380.3	130.0	2,138.3	136.4	613.8	621.8	175.8	1,450.3	272.0	659.3	1,195.4	25
宮崎・境海岸	304.3	294.7	1,151.8	1,405.5	1,204.2	167.0	372.7	1,621.0	196.0	14.0	565.2	25
四ツ郷屋浜												
浜中あさり海水浴場	1,987.3	1,468.7	917.5	719.3	4,401.7	8,979.0	1,412.7	1,220.7	31.3	562.0	3,251.2	21
西目海水浴場												
出来島海水浴場	1,790.3	1,609.0	1,557.0	6,128.7							4,628.0	17
石狩浜海水浴場	158.2											
継続調査9海岸平均	2,119.5	1,769.4	1,755.4	1,801.8	2,598.5	4,382.0	1,603.7	2,320.7	902.0	1,286.4	2,535.5	
継続調査14海岸平均	1,923.4	1,769.4	1,755.4	1,801.8	2,598.5	4,376.2	1,603.7	2,320.7	902.0	1,286.4	2,230.7	
全調査海岸平均	1,932.8	6,054.6	2,986.1	3,680.1	2,928.2	3,863.4	3,702.1	3,467.8	4,333.7	4,556.2	3,289.0	

- 注) 1.  は、調査を実施していない。
 2.  は、継続調査9海岸に含まない。
 3. 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。



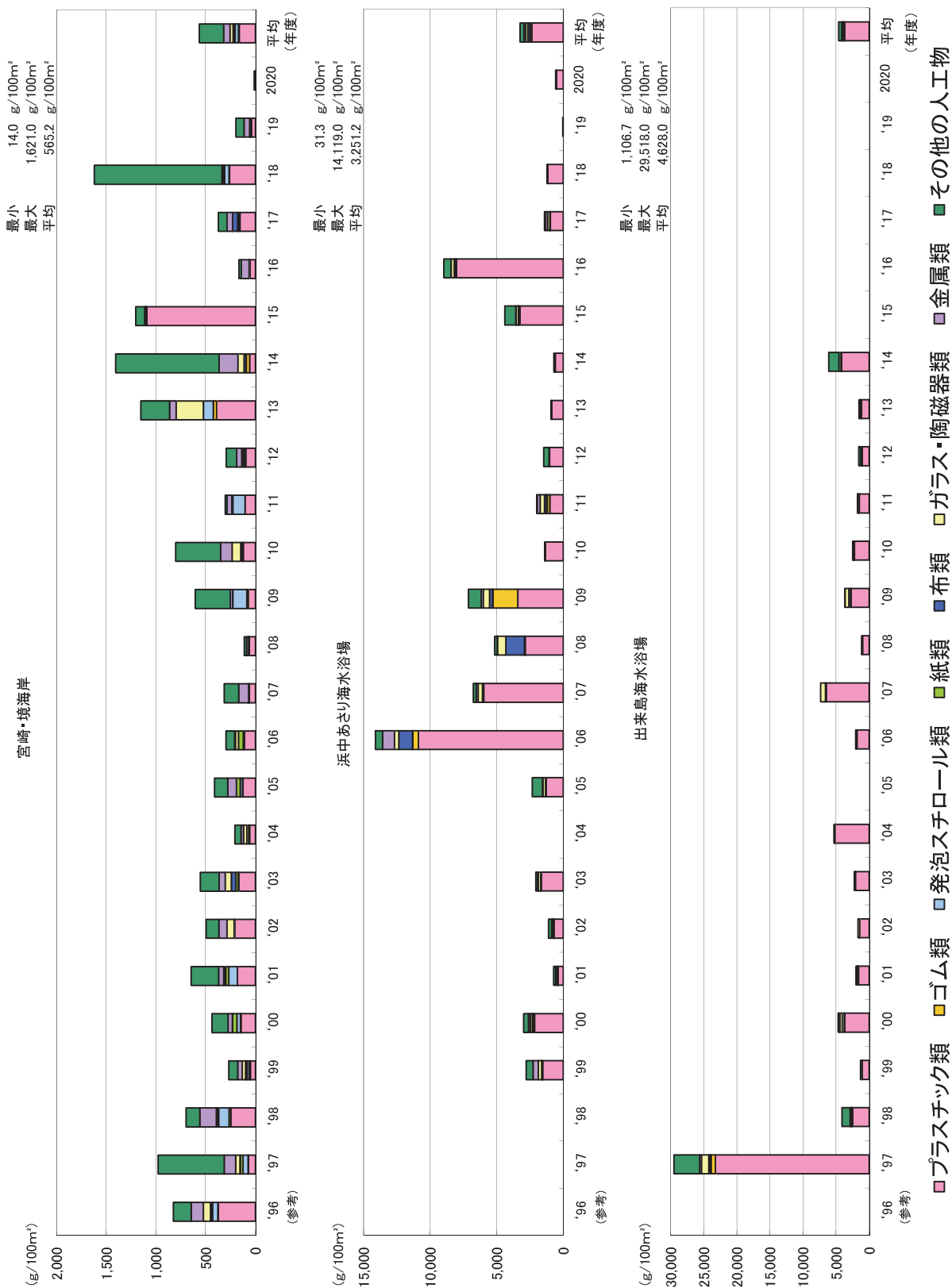
注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の算出は1996年度の値を除外した。

図2. 3ー9(1) 継続調査海岸別の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化 (g/100m²)



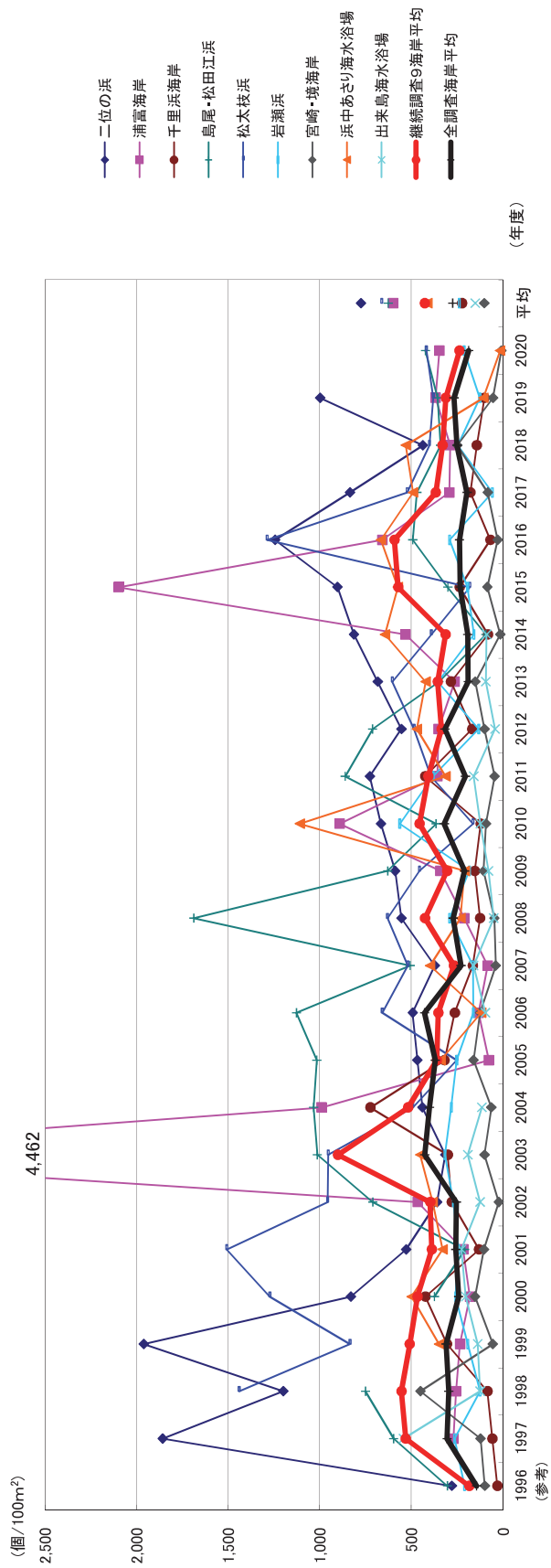
注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の算出は1996年度の値を除外した。

図2. 3－9(2) 継続調査海岸別の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)



注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の算出は1996年度の値を除外した。

図2. 3－9(3) 継続調査海岸別の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化 (g/100m²)



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

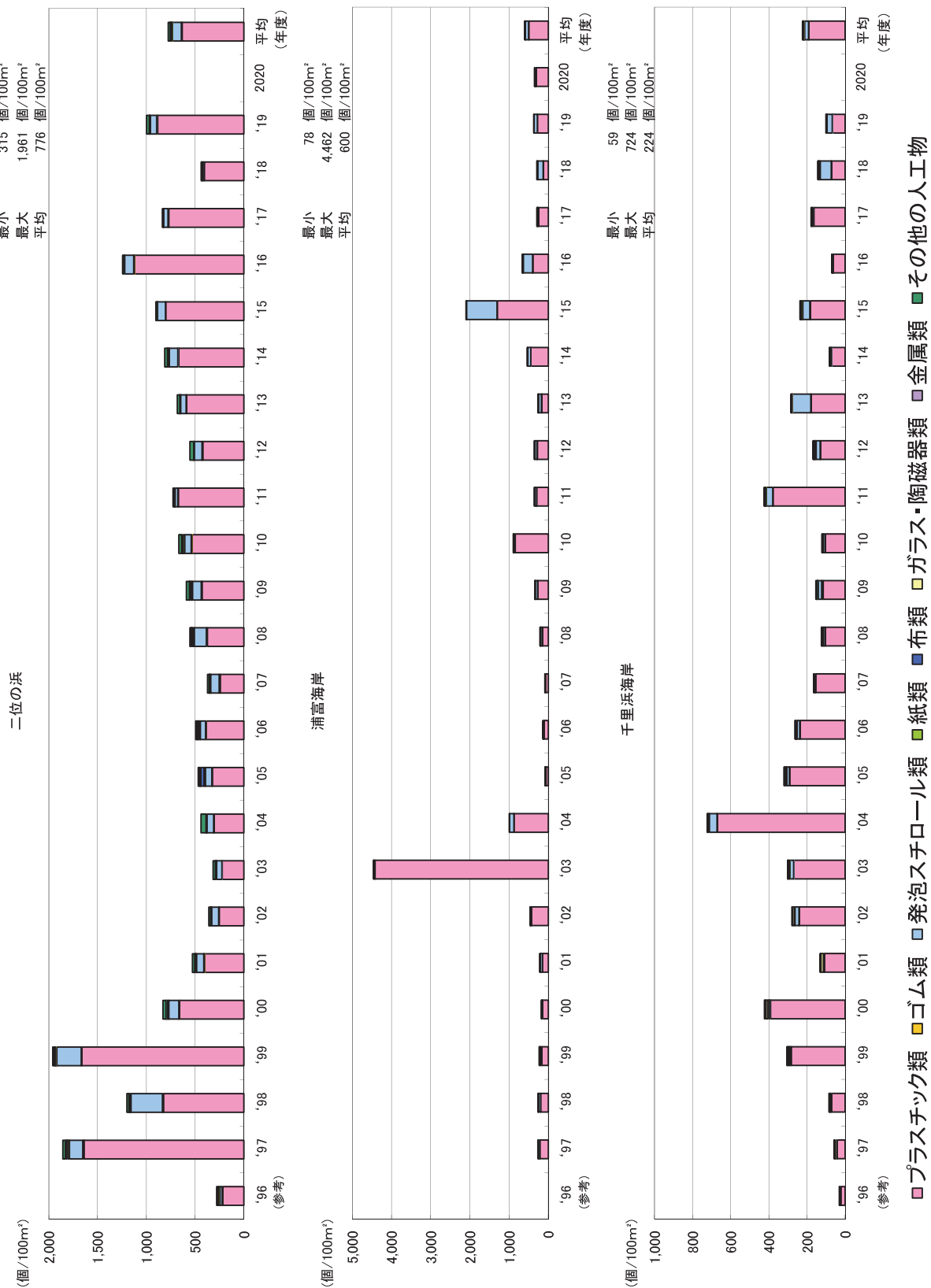
図2.3-10 継続調査海岸別の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

表2. 3-6 継続調査海岸別の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

年度 海岸名	(参考) 1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
二位の浜	280	1,858	1,200	1,961	831	529	360	315	440	468	494	372	555	589	667
浦富海岸		271	257	235	181	218	466	4,462	991	78	134	84	212	342	892
浜坂県民サンビーチ	348	821	624	249	179	98	97	386	260	79	79	226	97		
訓谷浜	184	219	217	302	309	162	145	260	191	54	92	279			
千里浜海岸	31	59	85	306	424	131	280	302	724	319	264	166	125	154	122
島尾・松田江浜	304	597	751		375	209	711	1,014	1,034	1,016	1,128	508	1,689	630	366
松太枝浜			1,440	836	1,273	1,509	958	954	493	253	659	519	631	456	164
岩瀬浜	211	265	125	193	259	243	271	317	283	253	163	164	292	184	563
宮崎・境海岸	99	123	451	56	153	104	24	102	64	161	125	40	48	106	94
四ツ郷屋浜	79	317	275	713	283	103	277	367	423	202	409	150	41		
浜中あさり海水浴場				349	499	330	384	453		342	119	399	233	210	1,110
西目海水浴場	86	132	246	323	164	178	84	147	81	175	164	183			
出来島海水浴場		544	125	139	203	227	126	192	116		97	161	51	80	124
石狩浜海水浴場		184	166	112		62	26	17	37	45	38	41	12	24	18
継続調査9海岸平均	185	531	554	509	466	389	398	901	518	361	354	268	426	306	456
継続調査14海岸平均	180	449	459	444	395	294	301	663	395	264	283	235	332	278	412
全調査海岸平均	144	306	296	311	242	258	255	427	402	370	428	230	273	210	321

年度 海岸名	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対象期間 の平均	調査 回数
二位の浜	727	554	684	814	904	1,244	836	438	999		776	24
浦富海岸	359	352	264	533	2,099	660	294	289	368	348	600	24
浜坂県民サンビーチ												
訓谷浜						409						
千里浜海岸	425	168	284	82	237	70	178	144	101		224	24
島尾・松田江浜	862	712	350	94	302	493	471	341	356	423	628	24
松太枝浜	393	486	605	391	181	1,288	523	402	381	418	662	23
岩瀬浜	382	133	356	159	194	292	59	247	127	213	239	25
宮崎・境海岸	47	101	151	15	86	29	83	250	55	9	103	25
四ツ郷屋浜												
浜中あさり海水浴場	314	470	422	645	574	667	492	532	108	16	413	21
西目海水浴場												
出来島海水浴場	160	44	94	90							151	17
石狩浜海水浴場	47											
継続調査9海岸平均	408	336	357	314	572	593	367	330	312	238	428	
継続調査14海岸平均	372	336	357	314	572	572	367	330	312	238	374	
全調査海岸平均	206	318	191	193	234	238	197	252	268	188	276	

- 注) 1.  は、調査を実施していない。
2.  は、継続調査9海岸に含まない。
3. 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。



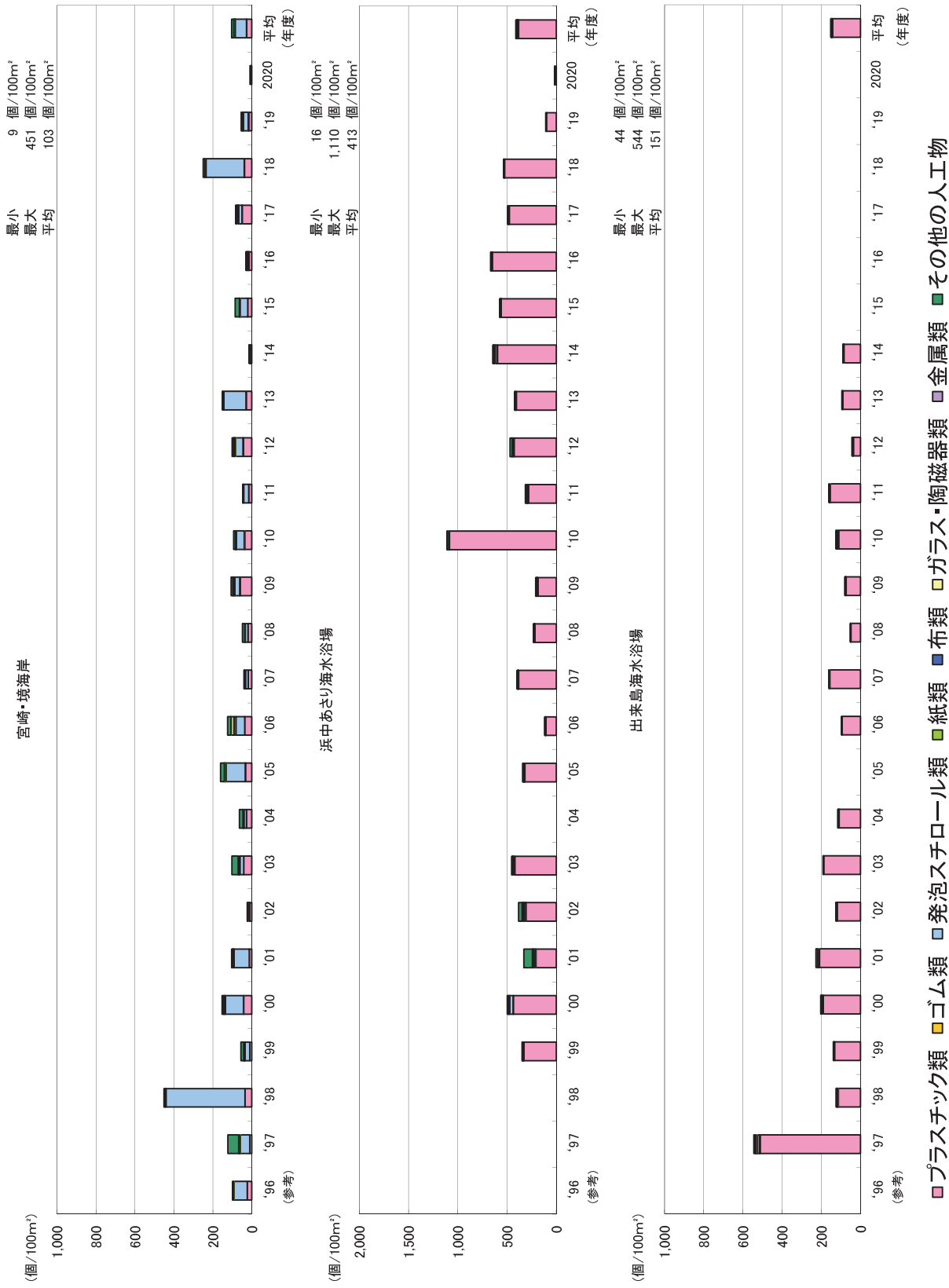
注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-11(1) 継続調査海岸別の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)



注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の算出は1996年度の値を除外した。

図2. 3－1(2) 継続調査海岸別の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)



注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の算出は1996年度の値を除外した。

図2. 3－1(3) 継続調査海岸別の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

(3) 国内・海外起因別の漂着物量の経年変化

広域的な移動状況を把握するため、採集した漂着物を国内起因、海外起因に区分して比較した。なお、国内起因、海外起因の区別は、漂着物に表示されている文字のみで判断し、表示のないものや不明なものは、国内起因の漂着物として扱った。

2011 年度から 2020 年度までの 10 年間の調査結果について、国内・海外起因別の経年変化を比較した。

重量とその組成比率の経年変化を図 2. 3-12、個数とその組成比率の経年変化を図 2. 3-13 に示す。

① 国内・海外起因別の単位面積あたりの漂着物重量

10 年間の平均重量では、海外起因と特定される比率は 8.3% であった。年度別では、2020 年度が 16.0% と最も高く、次いで 2019 年度が 9.4% の順であり、いずれの年度においてもほとんどが自国内の漂着物であり、ほぼ同様の傾向であった。

② 国内・海外起因別の単位面積あたりの漂着物個数

10 年間の平均個数では、海外起因と特定される割合は 2.9% であった。年度別では、2016 年度が 4.1% と最も高く、次いで 2020 年度が 4.0% の順であり、いずれの年度においてもそのほとんどが自国内の漂着物であり、ほぼ同様の傾向であった。

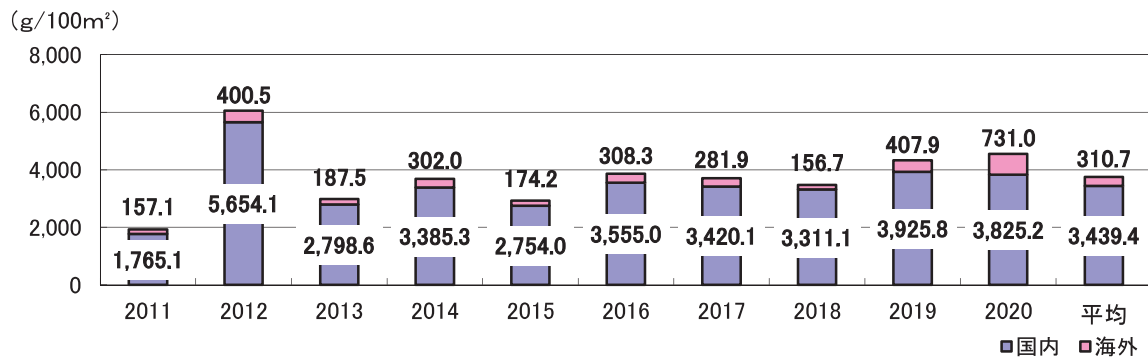


図2. 3-12(1) 単位面積あたりの国内・海外起因の漂着物重量の経年変化(g/100m²)

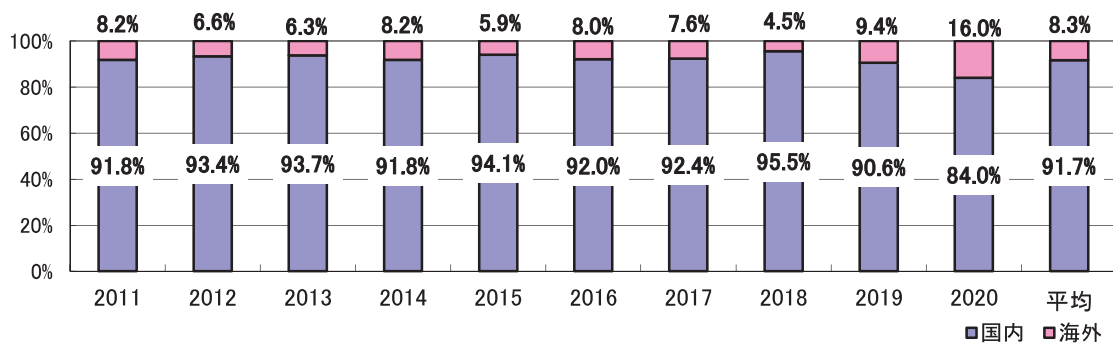


図2. 3-12(2) 単位面積あたりの国内・海外起因の漂着物重量組成の経年変化(%)

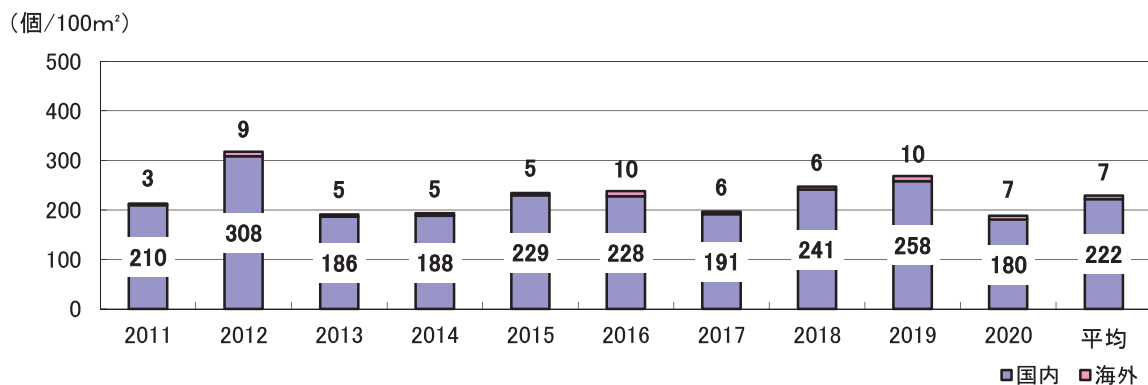


図2. 3-13(1) 単位面積あたりの国内・海外起因の漂着物個数の経年変化(個/100m²)

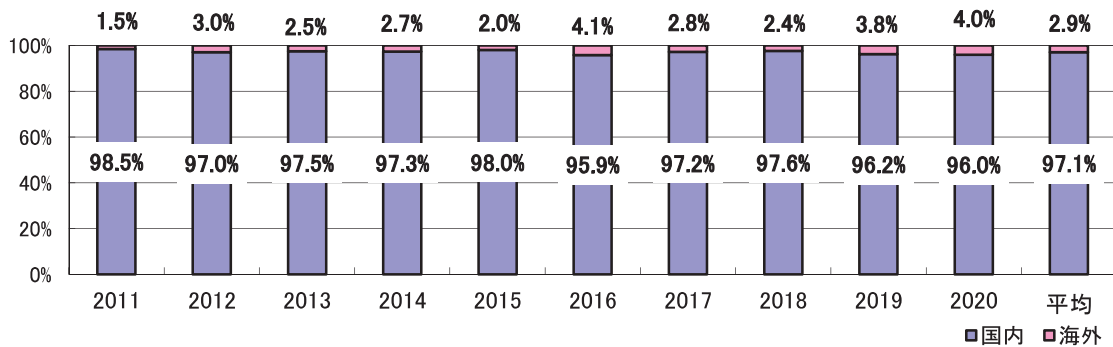


図2. 3-13(2) 単位面積あたりの国内・海外起因の漂着物個数組成の経年変化(%)

(4) 分類別の国内・海外起因別漂着物量

2011 年度から 2020 年度までの 10 年間の調査結果について、分類別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物量を比較した。

分類別の国内・海外起因別の重量とその比率を図2. 3-14、表2. 3-7、個数とその比率を図2. 3-15、表2. 3-8に示す。

① 分類別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量

海外起因と特定される漂着物の中で、「ゴム類」の割合が 12.6%と最も高く、次いで「ガラス・陶磁器類」の割合が 12.2%であった。

② 分類別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数

海外起因と特定される漂着物の中では、「布類」の割合が 6.7%と最も高く、次いで「金属類」の割合が 5.1%であった。

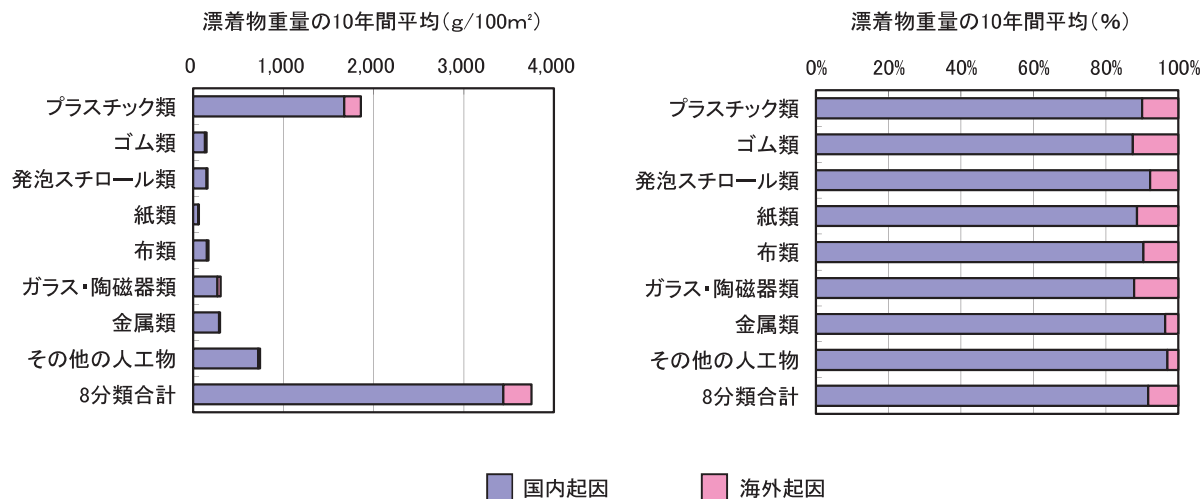


図2. 3-14 分類別の国内・海外起因漂着物重量(10年間平均)

表2. 3-7 分類別の国内・海外起因漂着物重量(10年間平均) (g/100m²)

分 類	国内起因		海外起因		合計
プラスチック類	1,674.1	90.1%	184.9	9.9%	1,859.0
ゴム類	130.0	87.4%	18.7	12.6%	148.7
発泡スチロール類	148.3	92.2%	12.5	7.8%	160.9
紙類	57.3	88.6%	7.4	11.4%	64.7
布類	153.3	90.3%	16.4	9.7%	169.7
ガラス・陶磁器類	269.3	87.8%	37.4	12.2%	306.7
金属類	288.3	96.4%	10.9	3.6%	299.2
その他の人工物	718.8	97.0%	22.5	3.0%	741.3
8分類合計	3,439.4	91.7%	310.7	8.3%	3,750.1

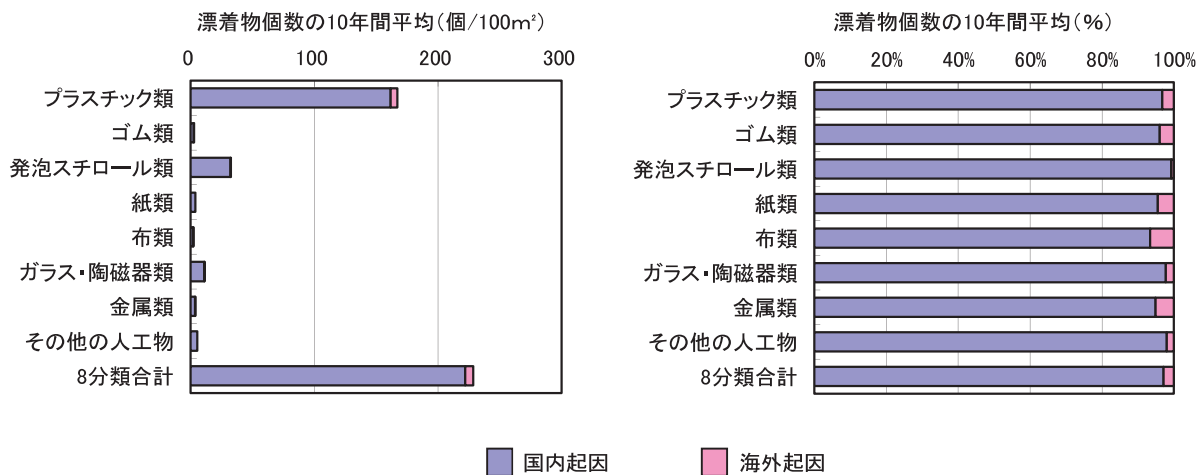


図2. 3-15 分類別の国内・海外起因漂着物個数(10年間平均)

表2. 3-8 分類別の国内・海外起因漂着物個数(10年間平均) (個/100m²)

分 類	国内起因		海外起因		合計
プラスチック類	162	96.8%	5	3.2%	167
ゴム類	2	96.1%	0	3.9%	3
発泡スチロール類	32	99.3%	0	0.7%	33
紙類	4	95.5%	0	4.5%	4
布類	2	93.3%	0	6.7%	2
ガラス・陶磁器類	11	97.7%	0	2.3%	11
金属類	4	94.9%	0	5.1%	4
その他の人工物	5	98.0%	0	2.0%	5
8分類合計	222	97.1%	7	2.9%	229

2. 4 エリア別漂着物量の結果

地域ごとの漂着物量とその組成比率の特徴を把握するため、調査海岸を図2. 4-1、表2. 4-1に示すエリアに区分し、エリア別の漂着物量や組成比率を比較した。

2020 年度のエリア別に平均した重量とその組成比率を図2. 4-2、表2. 4-2、個数とその組成比率を図2. 4-3、表2. 4-3に示す。

なお、エリア別の平均の算出にあたっては、エリア内各海岸の単位面積あたりの漂着物量を算術平均して求めた。「エリアE(北海道エリア)」、「エリアI(中国エリア)」は、2012 年以降調査を実施していないため、比較対照としなかった。

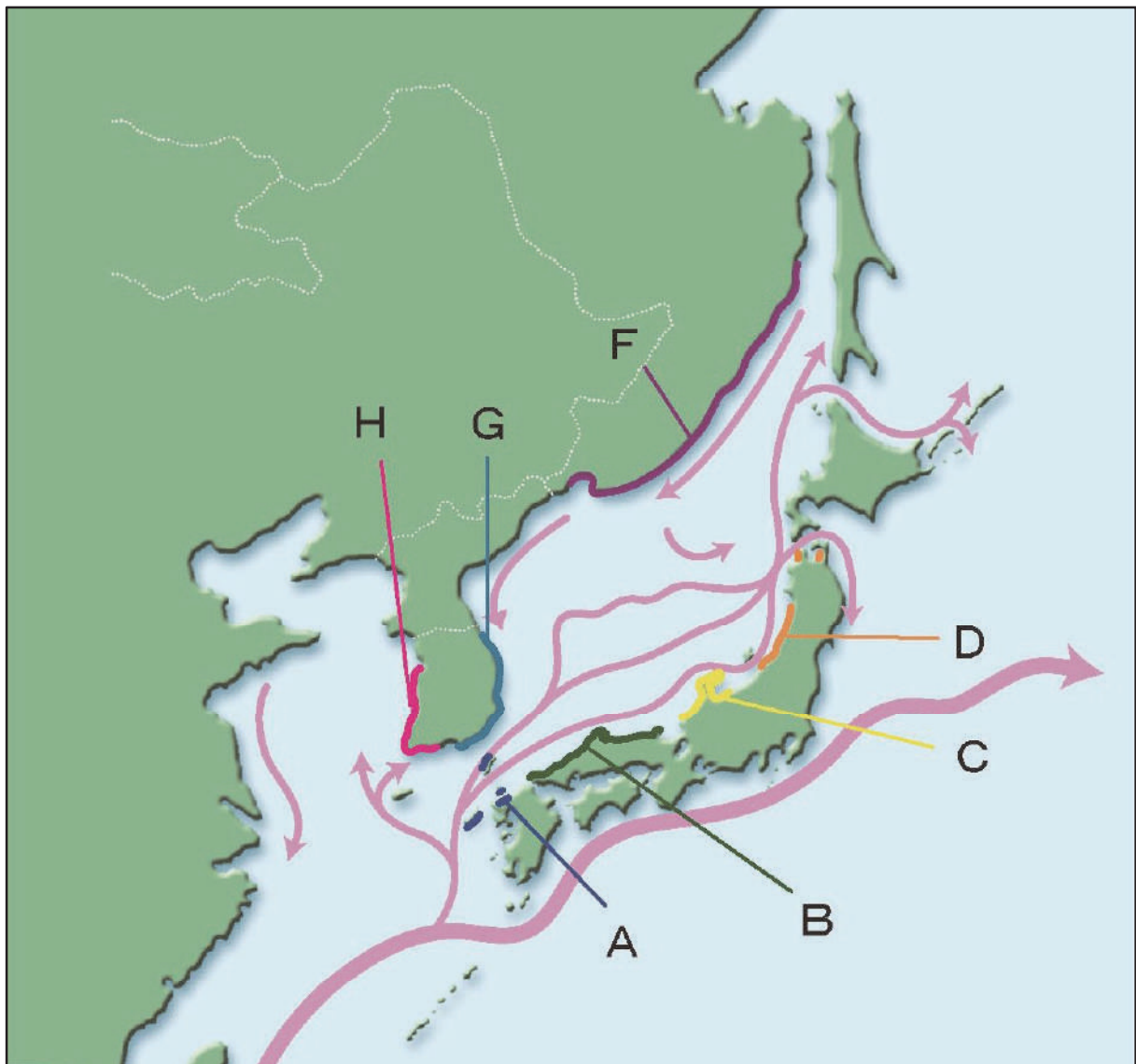


図2. 4-1 調査エリア区分

表2. 4-1 調査エリア区分一覧表

エリア	所在地	海岸コード	調査海岸名
A(九州・沖縄エリア)	長崎県	J 42 - 14	1 田尾海岸
		J 42 - 11	2 蛤浜海水浴場
		J 42 - 12	3 里浜海水浴場
		J 42 - 10	4 白浜海岸
	佐賀県	J 41 - 01	5 北浜
B(中国・近畿エリア)	山口県	J 35 - 06	6 涌田海岸
	島根県	J 32 - 15A	7 持石海岸A
		J 32 - 15B	8 持石海岸B
		J 32 - 16	9 津田海岸
		J 32 - 19	10 小浜海岸
		J 32 - 14	11 喜阿弥海岸
		J 32 - 18	12 御津漁港海岸
		J 32 - 20	13 浜田海岸
	鳥取県	J 32 - 17	14 西浜海岸
		J 31 - 11	15 弓ヶ浜海岸
	京都府	J 31 - 02	16 浦富海岸
		J 26 - 01	17 琴引浜海岸
C(北陸エリア)	福井県	J 18 - 01	18 三国サンセットビーチ
	石川県	J 17 - 06	19 柴垣海岸
		J 17 - 08	20 曾々木海岸
	富山県	J 16 - 04	21 島尾・松田江浜
		J 16 - 03	22 松太枝浜
		J 16 - 05	23 海老江海岸
		J 16 - 02	24 岩瀬浜
		J 16 - 01	25 宮崎・境海岸
D(東北エリア)	山形県	J 06 - 03	26 浜中あさり海水浴場
F(ロシアエリア)	沿海地方	R 03 - 35	27 ピョートル大帝湾ファリシヴィイ岬
		R 03 - 36	28 ピョートル大帝湾セヴェルナヤ入江
		R 03 - 38	29 ピョートル大帝湾スィヴチャヤ入江
		R 03 - 37	30 プロズラチナヤ入江
G(韓国 東海岸エリア)	江原道	K 01 - 02	31 鏡浦(キョンポ)海水浴場
		K 01 - 2B	32 鏡浦(キョンポ)海水浴場B
		K 01 - 10	33 安仁(アンイン)海岸
H(韓国 西海岸エリア)	慶尚南道	K 04 - 02	34 亡日峰(マンイルボン)海岸
		K 04 - 03	35 竹林湾(チュンリムマン)海岸
		K 04 - 04	36 道南(トナム)海水浴場
		K 04 - 05	37 トナム干潟海辺
		K 04 - 06	38 古県里(コヒョンリ)海岸
			計38海岸

(1) エリア別単位面積あたりの漂着物重量

エリア別単位面積あたりの漂着物重量では、「エリアA(九州・沖縄エリア)」が $12,759.2\text{g}/100\text{m}^2$ と最も重く、次いで「エリアF(ロシアエリア)」が $9,898.1\text{g}/100\text{m}^2$ の順であり、重量が軽かったのは、「エリアD(東北エリア)」の $562.0\text{g}/100\text{m}^2$ であった。

(2) エリア別単位面積あたりの漂着物重量の組成比率

「エリア A(九州・沖縄エリア)」、「エリア B(中国・近畿エリア)」、「エリア C(北陸エリア)」、「エリア D(東北エリア)」では、「プラスチック類」の割合が最も高く、その中でも「エリアD(東北エリア)」が 91.7%で最も高かった。

「エリアF(ロシアエリア)」は「その他の人工物」、「エリア H(韓国 西海岸エリア)」は「ガラス・陶磁器類」の割合が最も高かった。

(3) エリア別単位面積あたりの漂着物個数

エリア別単位面積あたりの漂着物個数では、「エリアB(中国・近畿エリア)」が 227 個/ 100m^2 と最も多く、次いで「エリアC(北陸エリア)」が 222 個/ 100m^2 の順であり、個数が少なかったのは、「エリアD(東北エリア)」の 16 個/ 100m^2 であった。

(4) エリア別単位面積あたりの漂着物個数の組成比率

「エリア A(九州・沖縄エリア)」、「エリア B(中国・近畿エリア)」、「エリア C(北陸エリア)」、「エリア D(東北エリア)」、「エリアF(ロシアエリア)」では、「プラスチック類」の割合が最も高く、その中でも「エリアD(東北エリア)」が 91.7%で最も高かった。

「エリア H(韓国 西海岸エリア)」は「ガラス・陶磁器類」の割合が最も高かった。

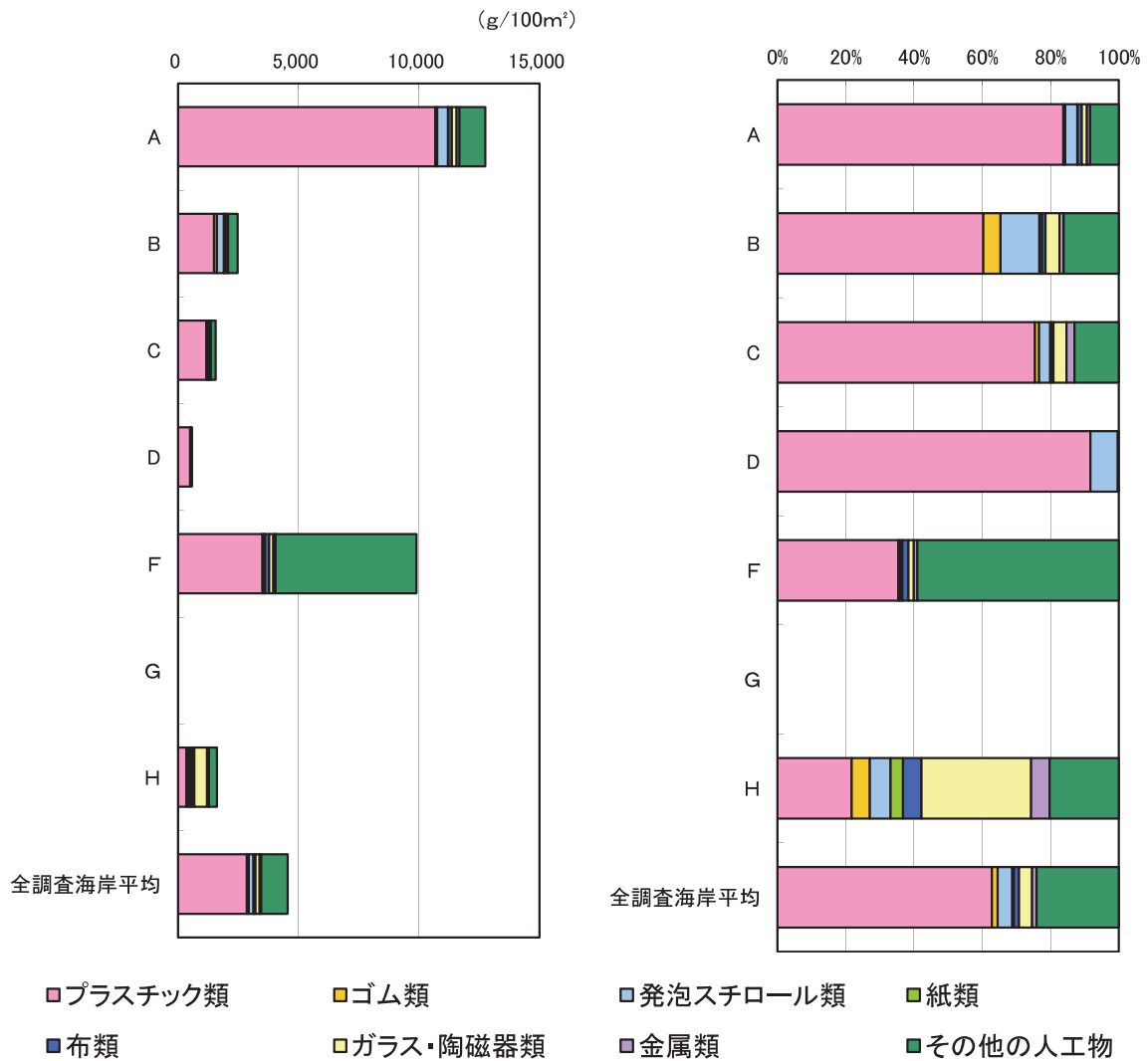


図2. 4-2 エリア別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)と組成比率(%)

表2. 4-2(1) エリア別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

エリア	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
A (九州・沖縄エリア)	10,683.9	75.6	447.0	14.1	151.3	197.1	112.3	1,078.0	12,759.2
B (中国・近畿エリア)	1,495.6	125.6	283.9	18.7	24.0	101.8	30.3	401.5	2,481.5
C (北陸エリア)	1,186.5	19.9	50.9	5.8	9.7	60.2	35.4	204.9	1,573.2
D (東北エリア)	515.3	0.0	45.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	562.0
F (ロシアエリア)	3,506.6	34.6	64.3	16.0	172.5	163.6	94.9	5,845.6	9,898.1
G (韓国 東海岸エリア)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H (韓国 西海岸エリア)	352.8	85.7	98.2	58.7	87.8	520.7	87.1	327.9	1,618.9
全調査海岸平均	2,863.1	74.7	197.2	20.4	67.2	175.3	59.3	1,098.9	4,556.2

表2. 4-2(2) エリア別単位面積あたりの漂着物重量の組成比率(%)

エリア	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物
A (九州・沖縄エリア)	83.7%	0.6%	3.5%	0.1%	1.2%	1.5%	0.9%	8.4%
B (中国・近畿エリア)	60.3%	5.1%	11.4%	0.8%	1.0%	4.1%	1.2%	16.2%
C (北陸エリア)	75.4%	1.3%	3.2%	0.4%	0.6%	3.8%	2.2%	13.0%
D (東北エリア)	91.7%	0.0%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
F (ロシアエリア)	35.4%	0.3%	0.6%	0.2%	1.7%	1.7%	1.0%	59.1%
G (韓国 東海岸エリア)	—	—	—	—	—	—	—	—
H (韓国 西海岸エリア)	21.8%	5.3%	6.1%	3.6%	5.4%	32.2%	5.4%	20.3%
全調査海岸平均	62.8%	1.6%	4.3%	0.4%	1.5%	3.8%	1.3%	24.1%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

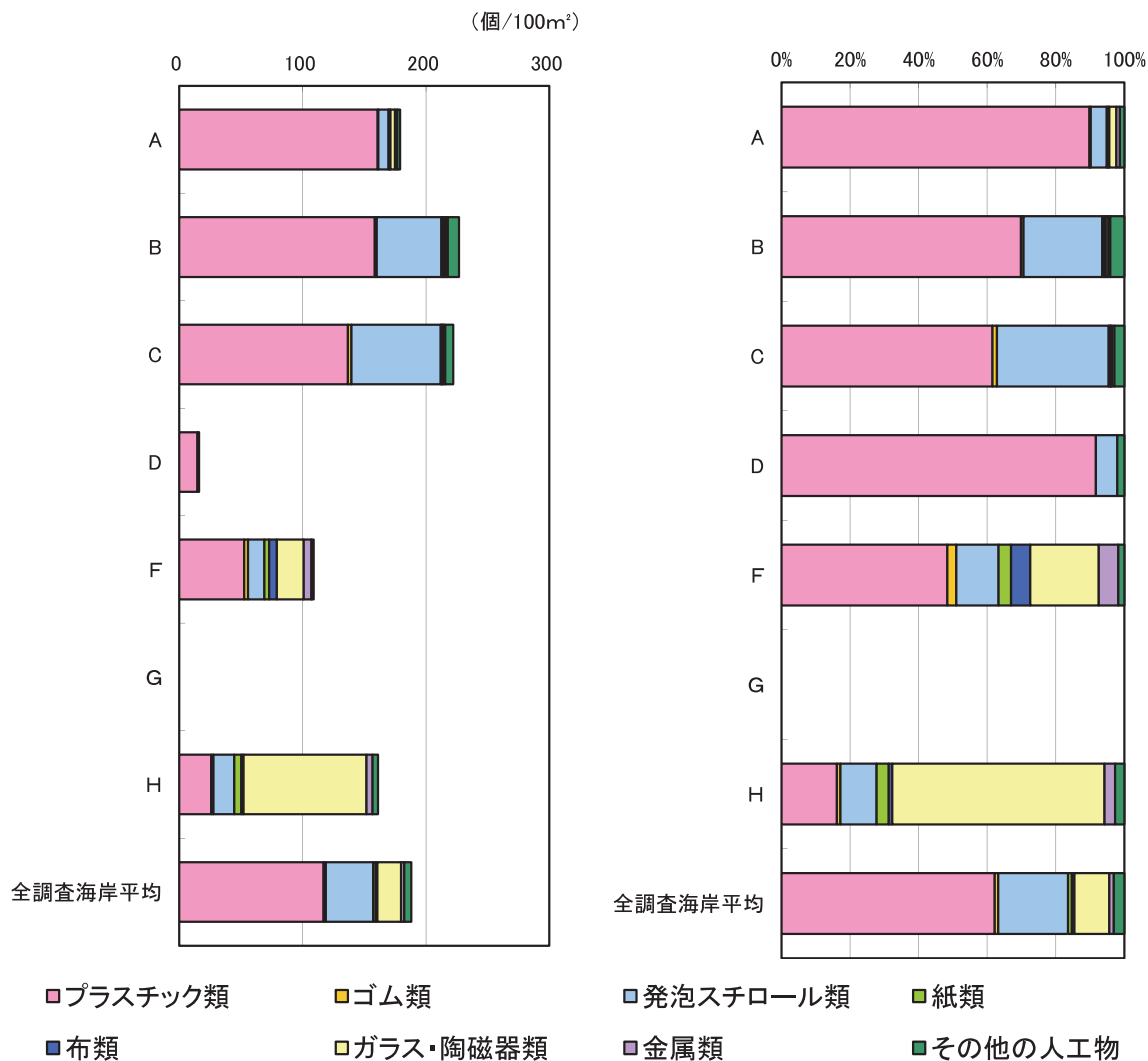


図2. 4-3 エリア別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)と組成比率(%)

表2. 4-3(1) エリア別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

エリア	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
A (九州・沖縄エリア)	161	1	8	1	1	4	2	2	179
B (中国・近畿エリア)	159	2	52	1	1	2	1	9	227
C (北陸エリア)	137	3	72	1	0	1	2	6	222
D (東北エリア)	15	0	1	0	0	0	0	0	16
F (ロシアエリア)	53	3	13	4	6	22	6	2	109
G (韓国 東海岸エリア)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H (韓国 西海岸エリア)	26	2	17	6	2	100	5	4	161
全調査海岸平均	117	2	38	2	1	19	3	6	188

表2. 4-3(2) エリア別単位面積あたりの漂着物個数の組成比率(%)

エリア	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物
A (九州・沖縄エリア)	89.8%	0.3%	4.7%	0.4%	0.4%	2.1%	1.0%	1.3%
B (中国・近畿エリア)	69.9%	0.7%	23.0%	0.6%	0.3%	0.7%	0.6%	4.1%
C (北陸エリア)	61.6%	1.3%	32.6%	0.4%	0.2%	0.3%	0.8%	2.9%
D (東北エリア)	91.7%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
F (ロシアエリア)	48.4%	2.7%	12.3%	3.6%	5.6%	20.0%	5.7%	1.7%
G (韓国 東海岸エリア)	—	—	—	—	—	—	—	—
H (韓国 西海岸エリア)	16.2%	1.0%	10.6%	3.5%	1.0%	61.9%	3.0%	2.7%
全調査海岸平均	62.3%	1.0%	20.3%	1.1%	0.8%	10.1%	1.4%	3.0%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(5) エリア別の漂着物量の経年変化

2011 年度から 2020 年度までにおける 10 年間の調査結果について、エリア別の単位面積あたりの漂着物量の経年変化を比較した。

エリア別の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化を図2. 4-4、表2. 4-4、エリア別の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化を図2. 4-5、表2. 4-5に示す。

① エリア別の単位面積あたりの漂着物重量

「エリアA(九州・沖縄エリア)」では、2020 年度は、2012 年に次いで $12,759.2\text{g}/100\text{m}^2$ と最も重かった。「エリア B(中国・近畿エリア)」、「エリアC(北陸エリア)」では、ほぼ横ばいであった。「エリア D(東北エリア)」においては、2019 年度に次いで $562.0\text{g}/100\text{m}^2$ と軽かった。「エリア F(ロシアエリア)」では、2020 年度が $9,898.1\text{g}/100\text{m}^2$ と最も重かった。「エリア H(韓国・西海岸エリア)」では、2020 年度は 2011 年度に次いで $1,618.9\text{g}/100\text{m}^2$ と軽かった。

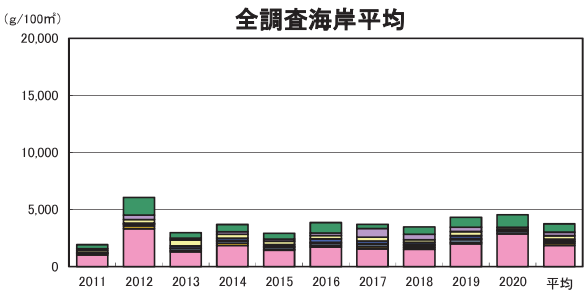
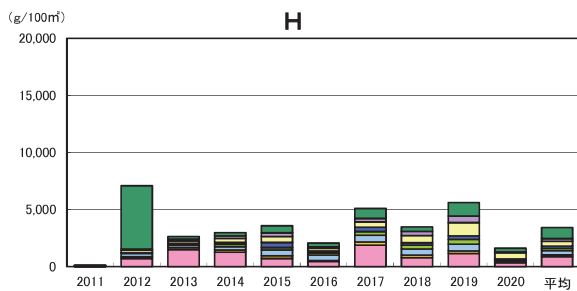
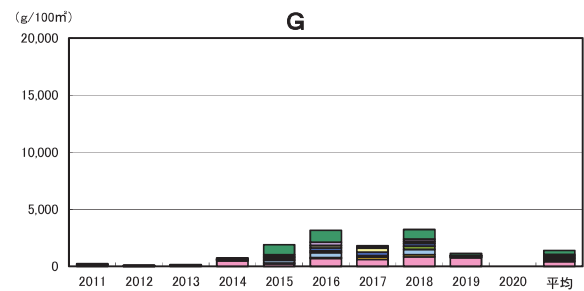
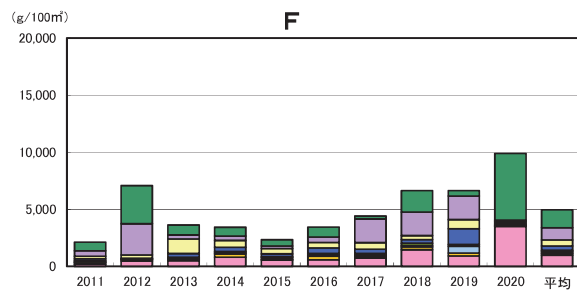
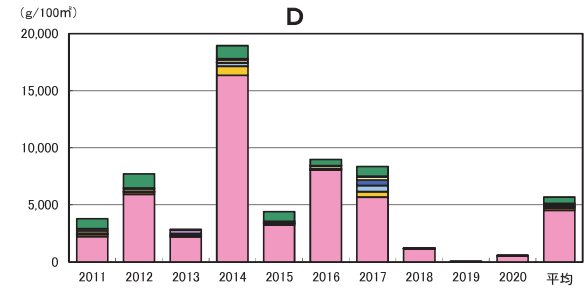
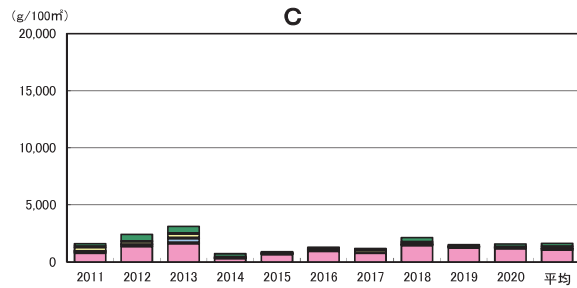
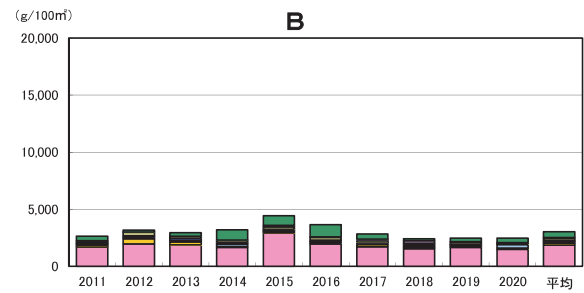
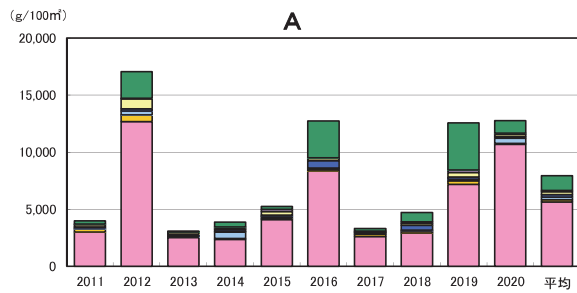
全調査海岸平均では、 $3,750.1\text{g}/100\text{m}^2$ であり、2012 年度が $6,054.6\text{g}/100\text{m}^2$ で最も重く、次いで 2020 年度が $4,556.2\text{g}/100\text{m}^2$ の順であった。両年度とも「エリアA(九州・沖縄エリア)」が最も重かった。

② エリア別の単位面積あたりの漂着物個数

「エリアA(九州・沖縄エリア)」、「エリア B(中国・近畿エリア)」、「エリア D(東北エリア)」においては、2020 年度が最も少ない個数であった。「エリアC(北陸エリア)」、「エリア F(ロシアエリア)」では、ほぼ横ばいであった。「エリア H(韓国・西海岸エリア)」では、2020 年度は $161\text{個}/100\text{m}^2$ と最も多くなった。

全調査海岸平均では、 $229\text{個}/100\text{m}^2$ であり、2012 年度が $318\text{個}/100\text{m}^2$ で最も多く、次いで 2019 年度が $268\text{個}/100\text{m}^2$ の順であった。両年度とも「エリアA(九州・沖縄エリア)」が最も多かった。

全体的に日本の海岸は他の国と比べて重量、個数ともに多い傾向にあり、「エリアA(九州・沖縄エリア)」、「エリアD(東北エリア)」の結果が、漂着物調査全体の結果に影響する傾向がある。



■ プラスチック類
 ■ ゴム類
 ■ 発泡スチロール類
 ■ 紙類
 ■ 布類
 ■ ガラス・陶磁器類
 ■ 金属類
 ■ その他の人工物

図2. 4-4 エリア別の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)

表2. 4-4 エリア別の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)

エリア	年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	10年間平均
A	(九州・沖縄エリア)	3,979.8	17,052.3	3,104.8	3,868.0	5,251.7	12,729.3	3,316.2	4,717.3	12,575.2	12,759.2	7,935.4
B	(中国・近畿エリア)	2,645.1	3,173.2	2,939.8	3,193.6	4,431.7	3,649.3	2,836.2	2,434.3	2,482.4	2,481.5	3,026.7
C	(北陸エリア)	1,605.6	2,421.6	3,102.5	727.0	883.1	1,294.2	1,181.4	2,132.6	1,517.0	1,573.2	1,643.8
D	(東北エリア)	3,791.3	7,727.2	2,861.9	18,954.4	4,401.7	8,979.0	8,360.3	1,220.7	31.3	562.0	5,689.0
F	(ロシアエリア)	2,116.8	7,078.4	3,633.9	3,434.0	2,325.5	3,443.9	4,408.7	6,642.8	6,627.9	9,898.1	4,961.0
G	(韓国 東海岸エリア)	227.6	76.6	142.7	743.0	1,900.0	3,161.1	1,804.0	3,234.4	1,138.9	—	1,380.9
H	(韓国 西海岸エリア)	113.5	7,077.2	2,635.0	2,978.5	3,590.8	2,073.4	5,100.8	3,468.4	5,600.9	1,618.9	3,425.7
全調査海岸平均		1,922.1	6,054.6	2,986.1	3,687.3	2,928.2	3,863.4	3,702.1	3,467.8	4,333.7	4,556.2	3,750.1

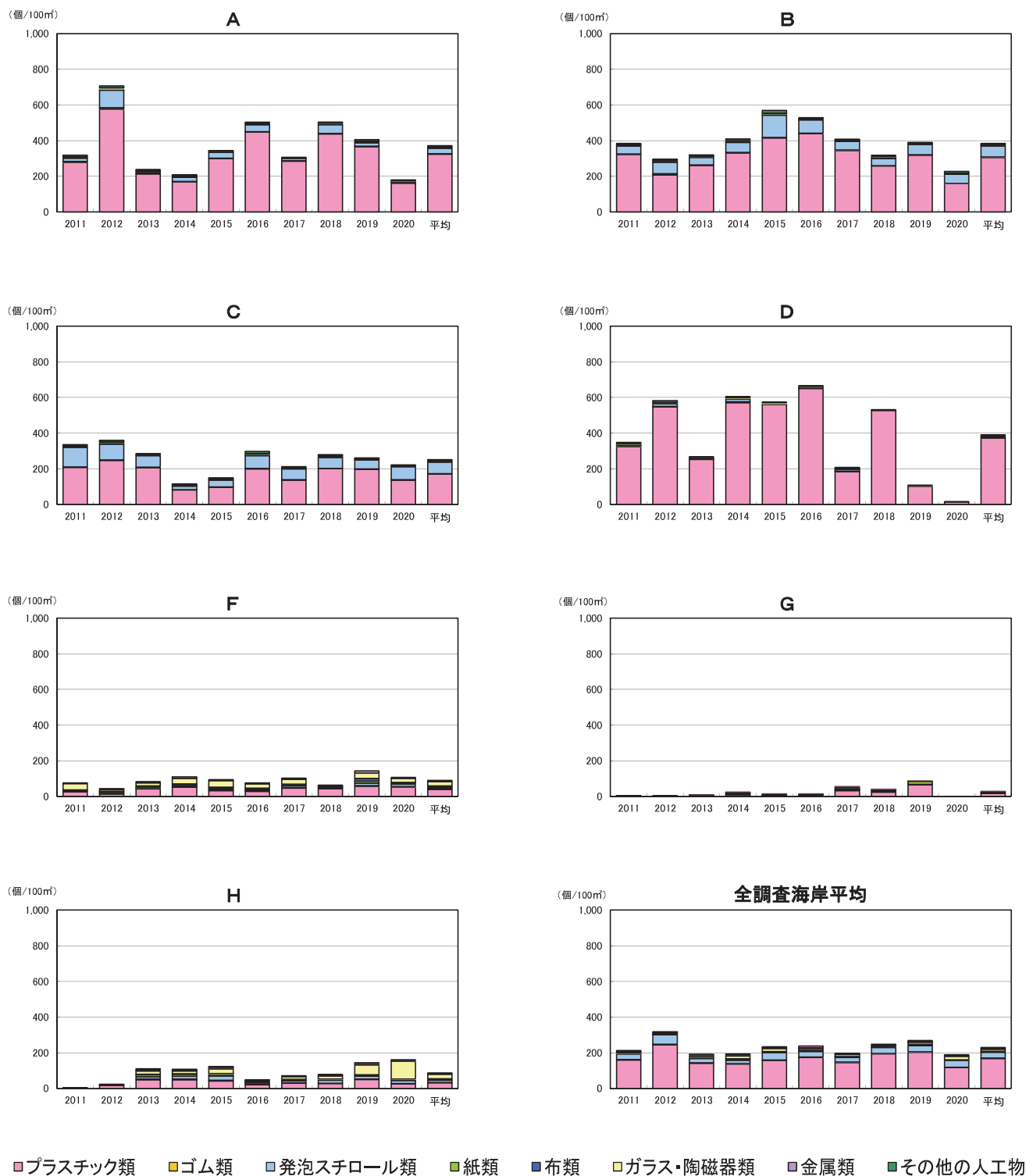


図2. 4－5 エリア別の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

表2. 4－5 エリア別の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

エリア		年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	10年間平均
A	(九州・沖縄エリア)		319	706	237	207	344	503	306	503	405	179	371
B	(中国・近畿エリア)		384	296	320	409	569	528	408	318	390	227	385
C	(北陸エリア)		336	360	285	116	149	297	212	279	261	222	252
D	(東北エリア)		349	583	266	605	574	667	208	532	108	16	391
F	(ロシアエリア)		88	44	87	116	97	94	106	65	148	109	95
G	(韓国 東海岸エリア)		3	2	9	26	15	15	56	43	91	—	29
H	(韓国 西海岸エリア)		3	23	110	107	123	48	71	77	143	161	87
全調査海岸平均			213	318	191	193	234	238	197	247	268	188	229

(6) エリア別の国内・海外起因別の漂着物量の結果

2020年度のエリア別の国内・海外起因の漂着物重量とその組成比率を図2.4-6、表2.4-6、エリア別の国内・海外起因の漂着物個数とその組成比率を図2.4-7、表2.4-7に示す。

① エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量

2020年度的全調査海岸平均では、海外起因と特定される重量の割合は16.0%であり、エリア別では、海外起因の割合は「エリアA(九州・沖縄エリア)」が21.1%と最も高く、次いで「エリアF(ロシアエリア)」15.9%の順であった。

② エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数

2020年度的全調査海岸平均では、海外起因と特定される個数の割合は4.0%であり、エリア別では、海外起因の割合は「エリアF(ロシアエリア)」が14.2%と最も高く、次いで「エリアA(九州・沖縄エリア)」8.2%の順であった。

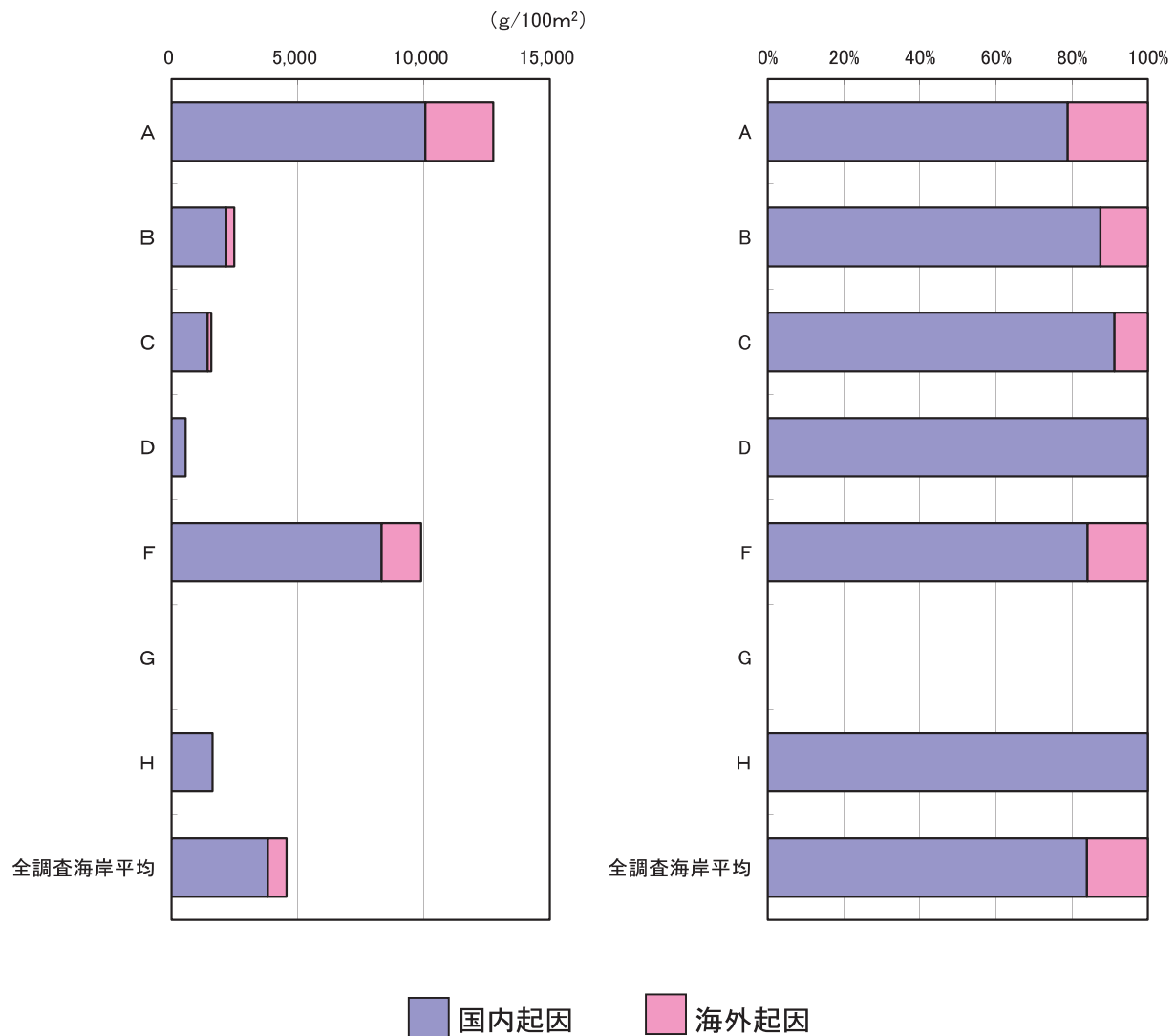


図2. 4－6 エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)と組成比率(%)

表2. 4－6(1) エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

単位面積あたりの重量(g/100m²)[エリア内海岸平均]			
エリア	国内	海外	合計
A(九州・沖縄エリア)	10,068.9	2,690.4	12,759.2
B(中国・近畿エリア)	2,170.7	310.7	2,481.5
C(北陸エリア)	1,434.9	138.4	1,573.2
D(東北エリア)	562.0	0.0	562.0
F(ロシアエリア)	8,327.1	1,571.0	9,898.1
G(韓国 東海岸エリア)	—	—	—
H(韓国 西海岸エリア)	1,618.9	0.0	1,618.9
全調査海岸平均	3,825.2	731.0	4,556.2

表2. 4－6(2) エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量の組成比率(%)

単位面積あたりの重量の組成比率(%) [エリア内海岸平均]		
エリア	国内起因	海外起因
A(九州・沖縄エリア)	78.9%	21.1%
B(中国・近畿エリア)	87.5%	12.5%
C(北陸エリア)	91.2%	8.8%
D(東北エリア)	100.0%	0.0%
F(ロシアエリア)	84.1%	15.9%
G(韓国 東海岸エリア)	—	—
H(韓国 西海岸エリア)	100.0%	0.0%
全調査海岸平均	84.0%	16.0%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

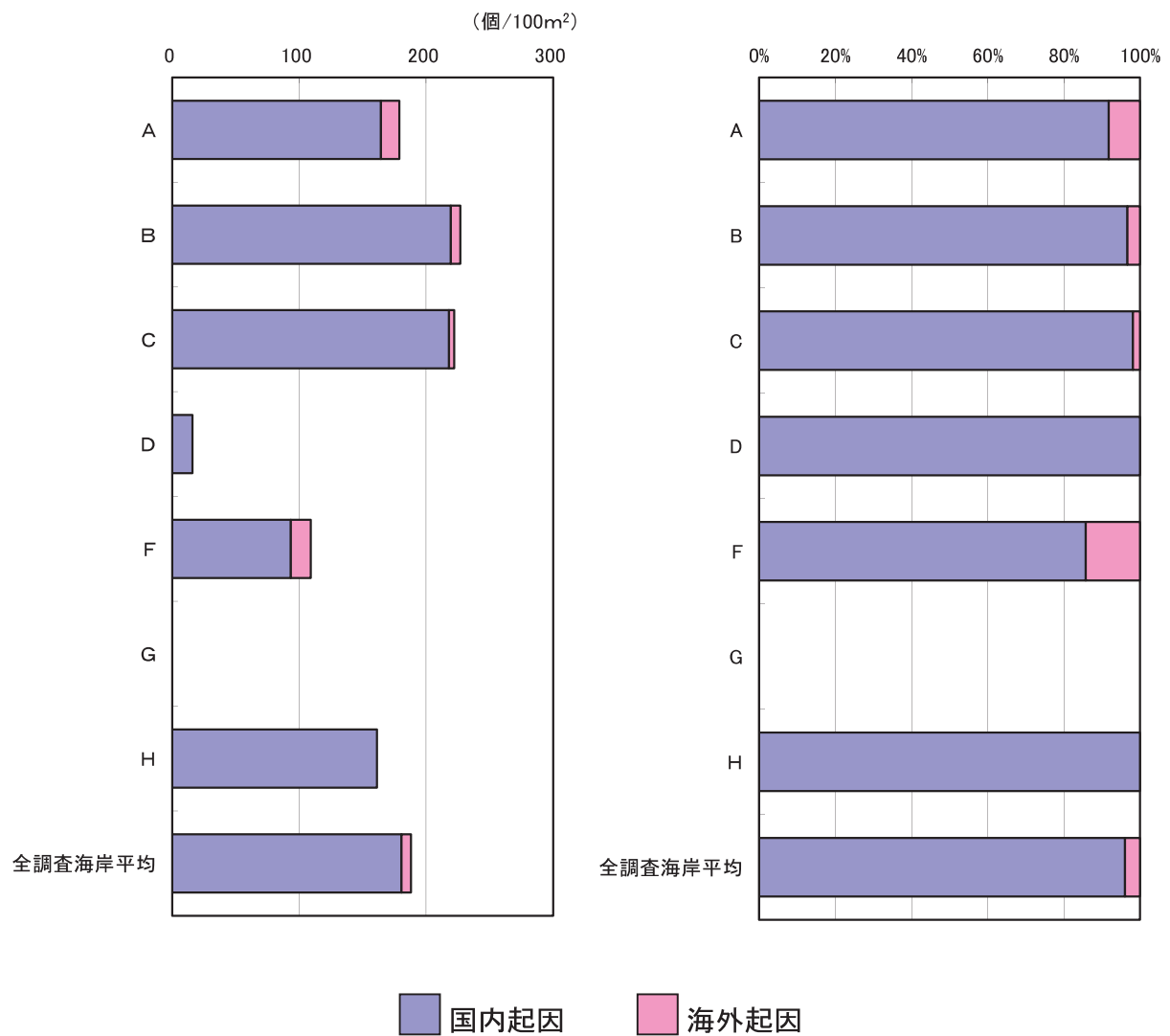


図2. 4ー7 エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

表2. 4ー7(1) エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

単位面積あたりの個数(個/100m²)[エリア内海岸平均]			
エリア	国内	海外	合計
A(九州・沖縄エリア)	164	15	179
B(中国・近畿エリア)	219	8	227
C(北陸エリア)	218	4	222
D(東北エリア)	16	0	16
F(ロシアエリア)	93	16	109
G(韓国 東海岸エリア)	—	—	—
H(韓国 西海岸エリア)	161	0	161
全調査海岸平均	180	7	188

表2. 4ー7(2) エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数の組成比率(%)

単位面積あたりの個数の組成比率(%) [エリア内海岸平均]		
エリア	国内起因	海外起因
A(九州・沖縄エリア)	91.8%	8.2%
B(中国・近畿エリア)	96.7%	3.3%
C(北陸エリア)	98.1%	1.9%
D(東北エリア)	100.0%	0.0%
F(ロシアエリア)	85.8%	14.2%
G(韓国 東海岸エリア)	—	—
H(韓国 西海岸エリア)	100.0%	0.0%
全調査海岸平均	96.0%	4.0%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(7) エリア別の国内・海外起因別漂着物量の経年変化

2011 年度から 2020 年度までにおける 10 年間調査結果について、エリア別の国内・海外起因別漂着物量の経年変化を比較した。

エリア別の国内・海外起因別漂着物重量とその比率を図2. 4-8、表2. 4-8、個数とその比率を図2. 4-9、表2. 4-9に示す。

また、エリア別ごとの国内・海外起因漂着物重量、個数及びそれらの比率の経年変化を図2. 4-10に示す。

① エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量

「エリア A(九州・沖縄エリア)」では、2020 年度は、10 年間で最も高い割合で 21.1%であった。

「エリア B(中国・近畿)」、「エリア F(ロシアエリア)」においては、各々エリアの 10 年平均よりも 2020 年度は、高い割合となった。「エリア C(北陸エリア)」は、ほぼ横ばいであった。「エリア D(東北エリア)」、「エリア H(韓国・西海岸エリア)」においては、国内起因のみとなった。

② エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数

「エリア A(九州・沖縄エリア)」では、2020 年度は、2012 年度に次いで、高い割合であった。

「エリア B(中国・近畿)」、「エリア C(北陸エリア)」では、ほぼ横ばいであった。「エリア D(東北エリア)」、「エリア H(韓国・西海岸エリア)」においては、国内起因のみとなり、「エリア F(ロシアエリア)」においては、2019 年度と同じ割合となった。

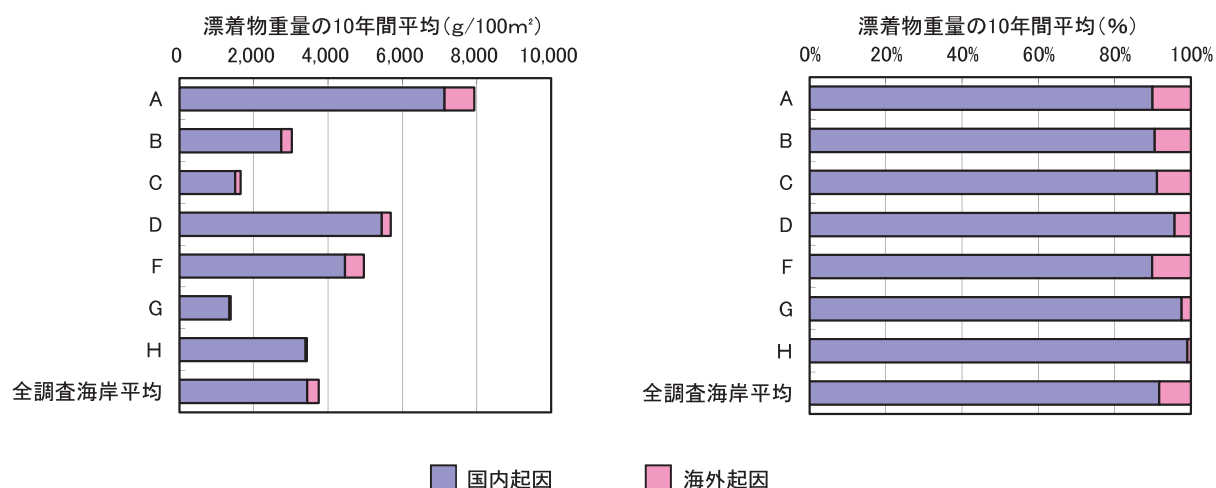


図2. 4-8 エリア別の国内・海外起因漂着物重量(10年間平均)

表2. 4-8 エリア別の国内・海外起因漂着物重量(10年間平均) (g/100m²)

エリア	国内起因		海外起因		合計
A (九州・沖縄エリア)	7,133.1	89.9%	802.3	10.1%	7,935.4
B (中国・近畿エリア)	2,739.1	90.5%	287.6	9.5%	3,026.7
C (北陸エリア)	1,497.9	91.1%	145.9	8.9%	1,643.8
D (東北エリア)	5,445.8	95.7%	243.2	4.3%	5,689.0
F (ロシアエリア)	4,457.4	89.8%	503.6	10.2%	4,961.0
G (韓国 東海岸エリア)	1,347.3	97.6%	33.6	2.4%	1,380.9
H (韓国 西海岸エリア)	3,394.2	99.1%	31.5	0.9%	3,425.7
全調査海岸平均	3,439.4	91.7%	310.7	8.3%	3,750.1

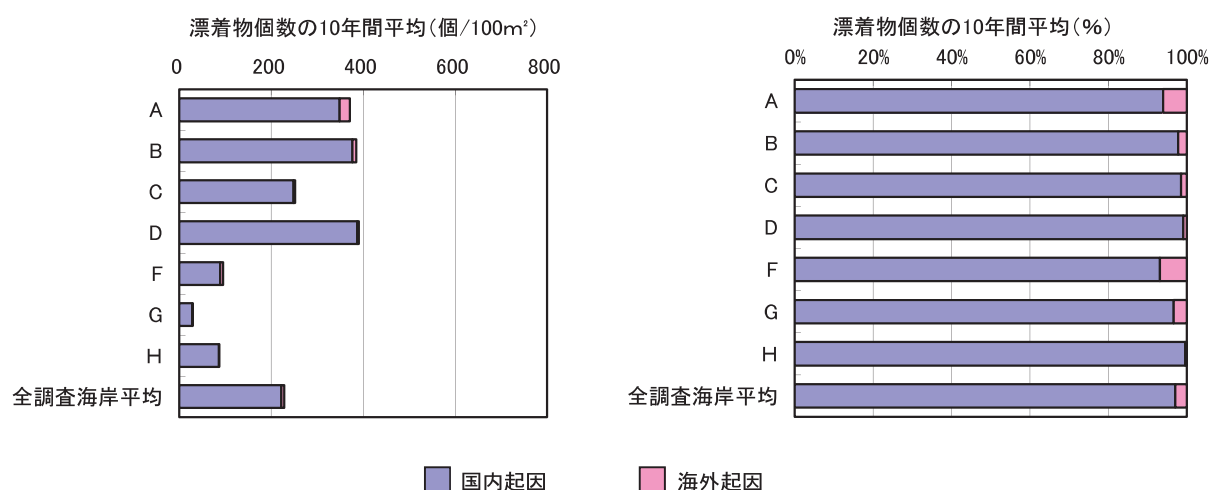


図2. 4-9 エリア別の国内・海外起因漂着物個数(10年間平均)

表2. 4-9 エリア別の国内・海外起因漂着物個数(10年間平均) (個/100m²)

エリア	国内起因		海外起因		合計
A (九州・沖縄エリア)	349	94.0%	22	6.0%	371
B (中国・近畿エリア)	377	97.8%	8	2.2%	385
C (北陸エリア)	248	98.6%	4	1.4%	252
D (東北エリア)	387	99.1%	3	0.9%	391
F (ロシアエリア)	89	93.2%	6	6.8%	95
G (韓国 東海岸エリア)	28	96.7%	1	3.3%	29
H (韓国 西海岸エリア)	86	99.7%	0	0.3%	87
全調査海岸平均	222	97.1%	7	2.9%	229

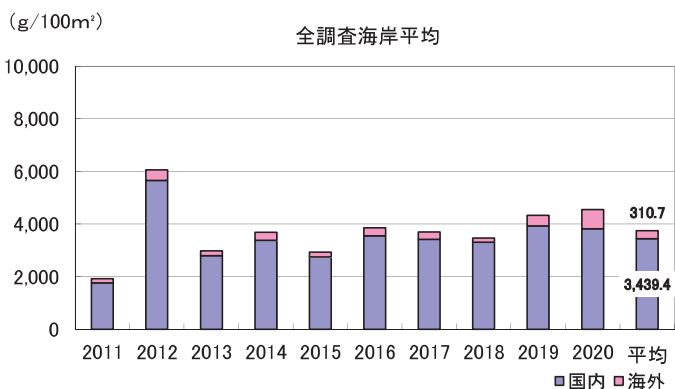
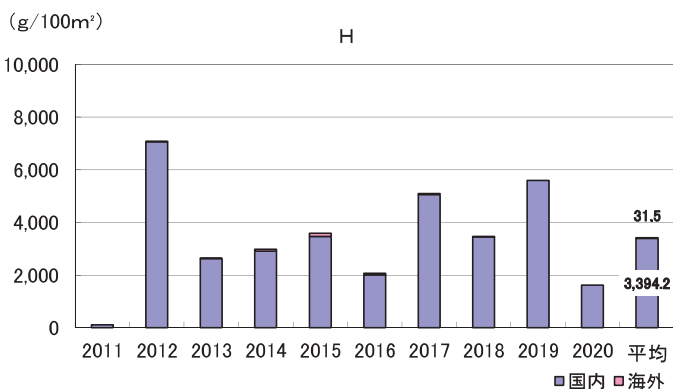
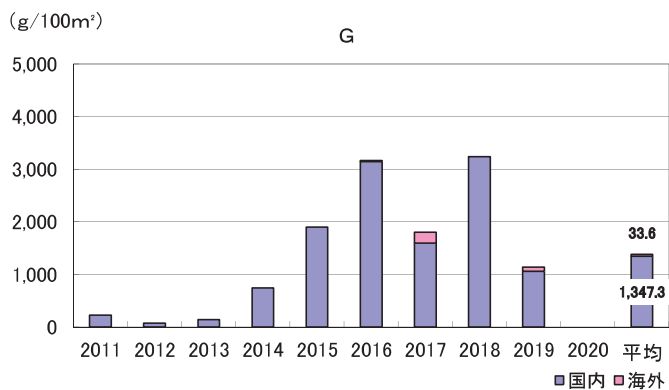
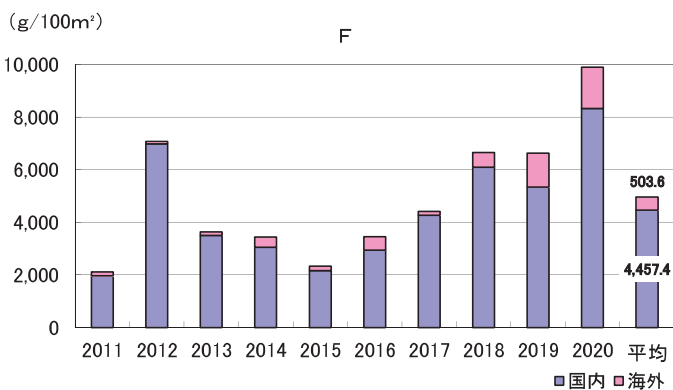
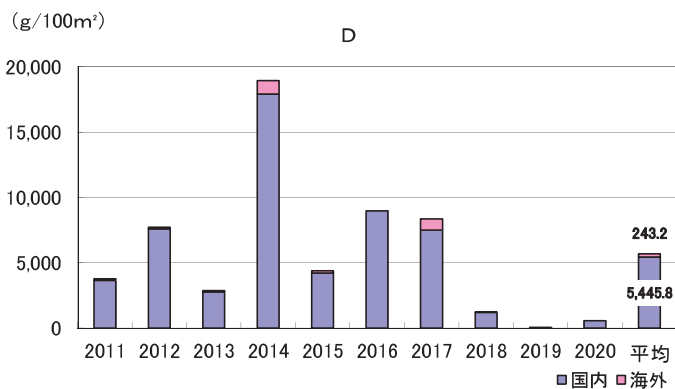
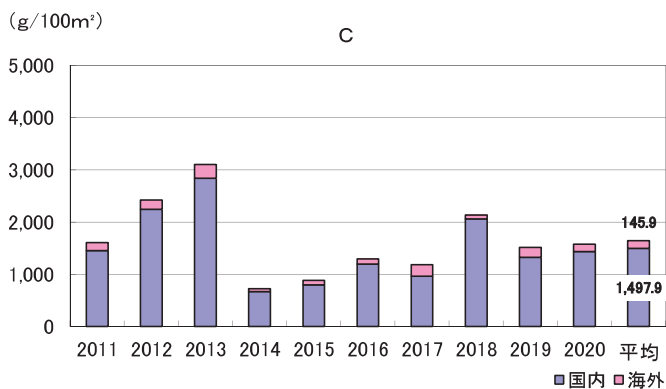
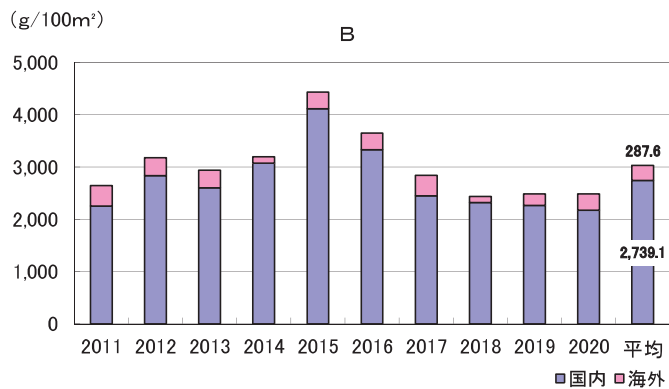
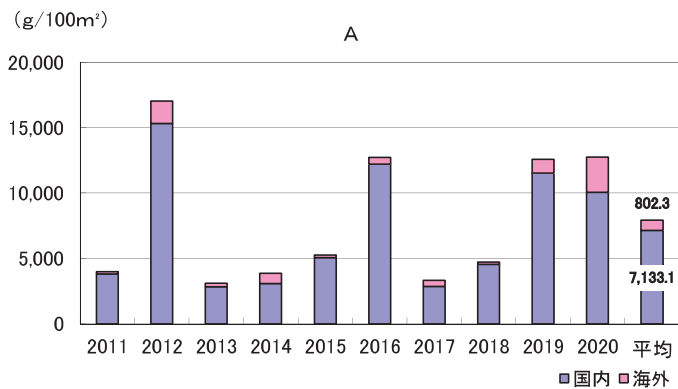


図2. 4-10(1) エリア別の国内・海外起因漂着物重量の経年変化(g/100m²)

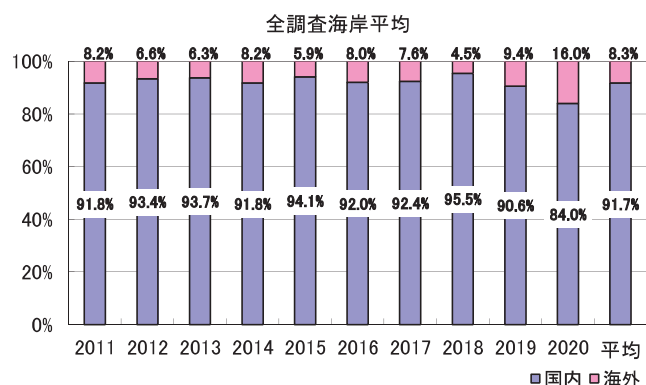
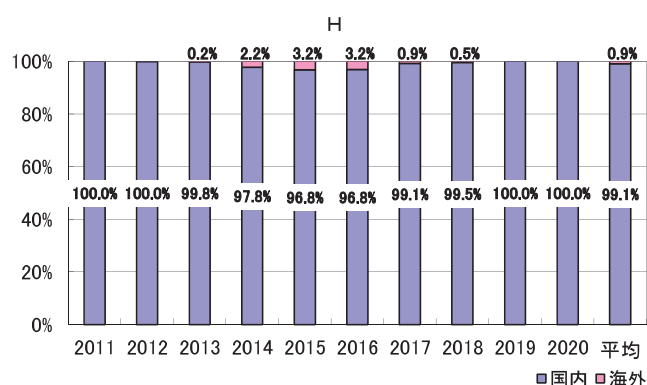
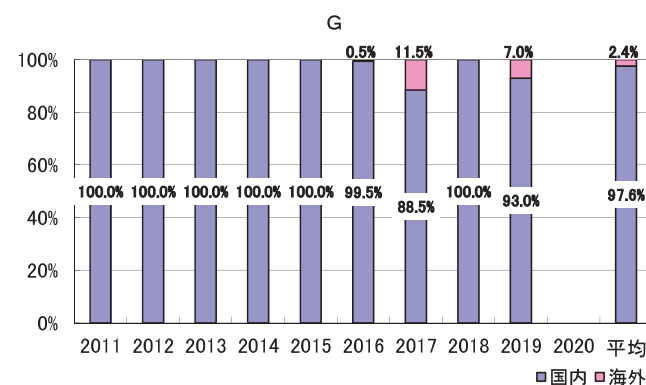
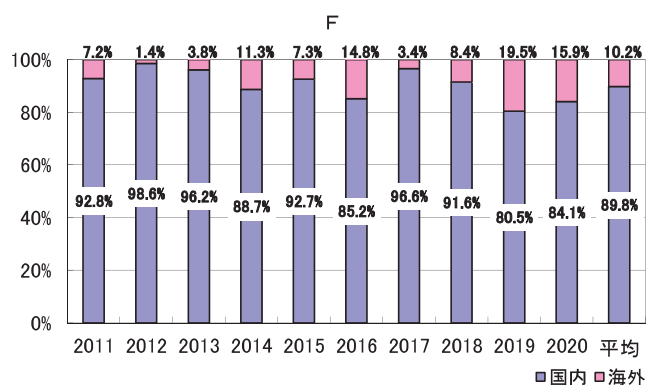
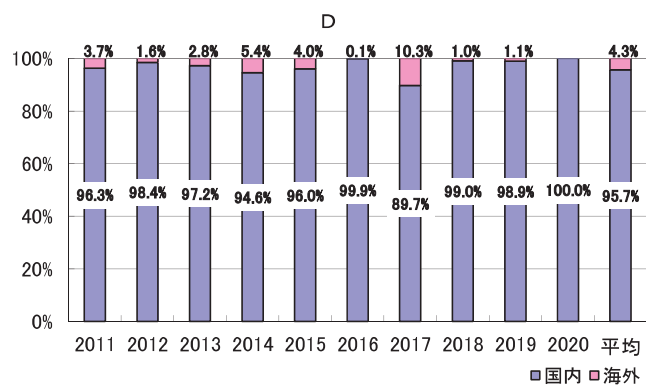
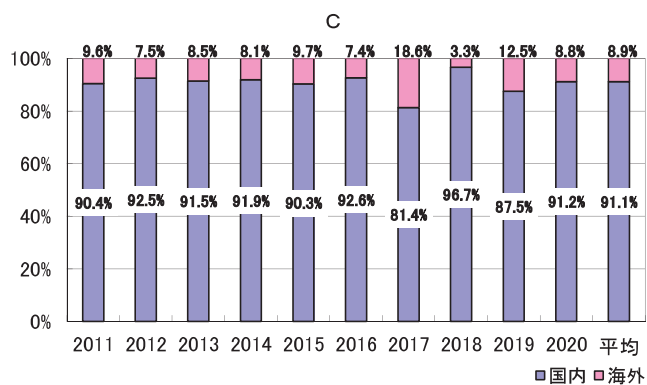
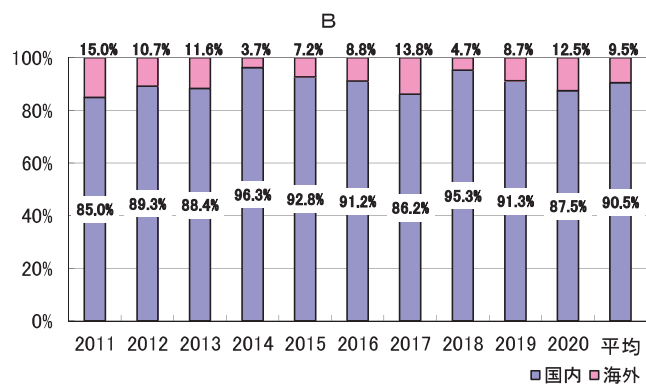
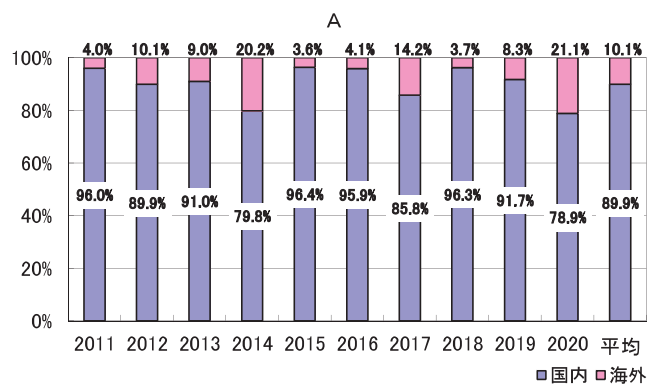


図2. 4-10(2) エリア別の国内・海外起因漂着物重量比率の経年変化(%)

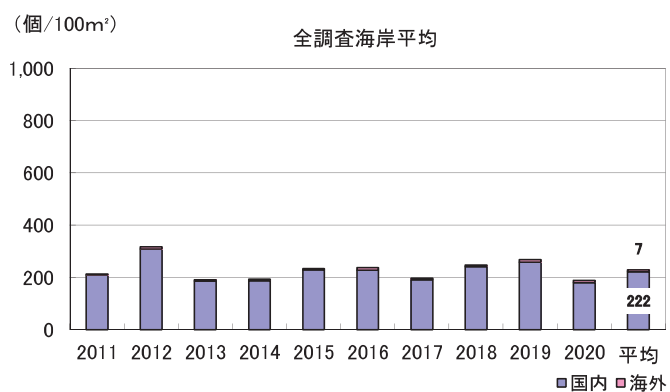
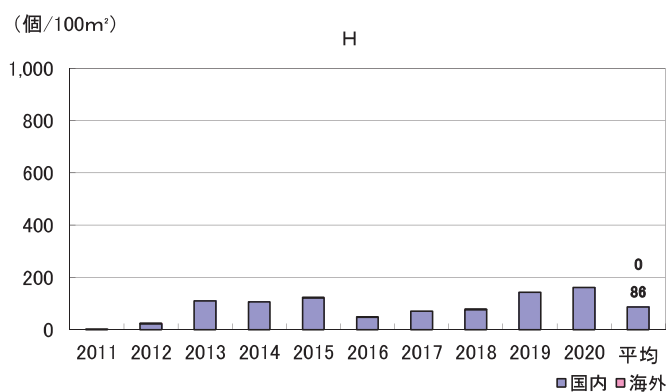
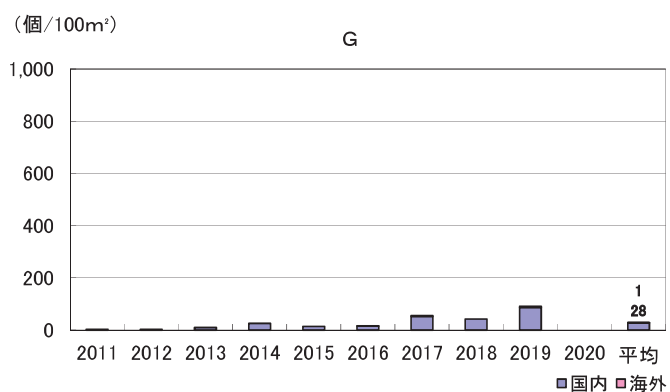
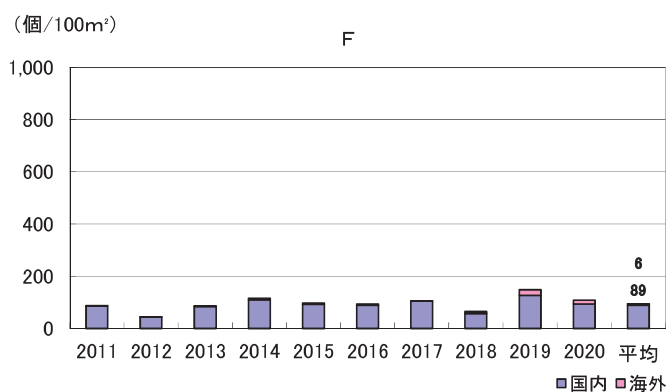
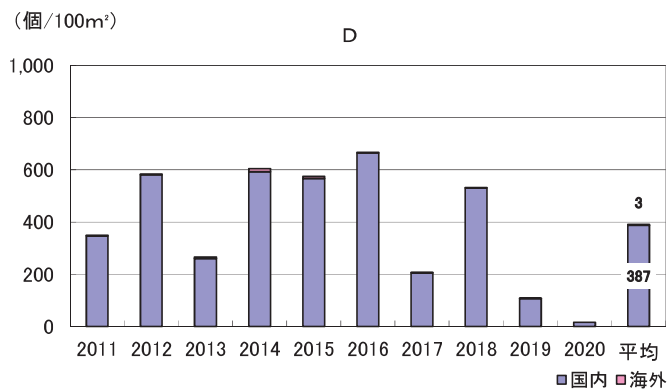
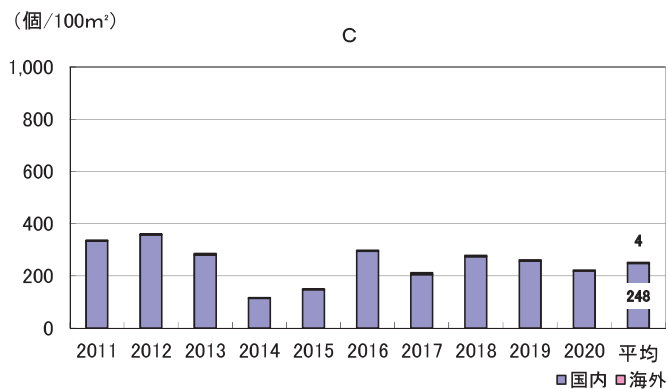
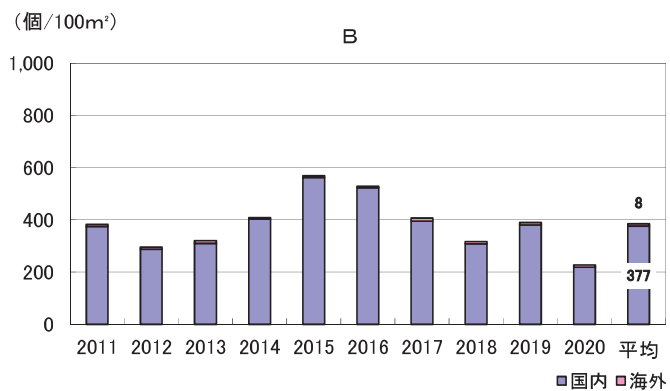
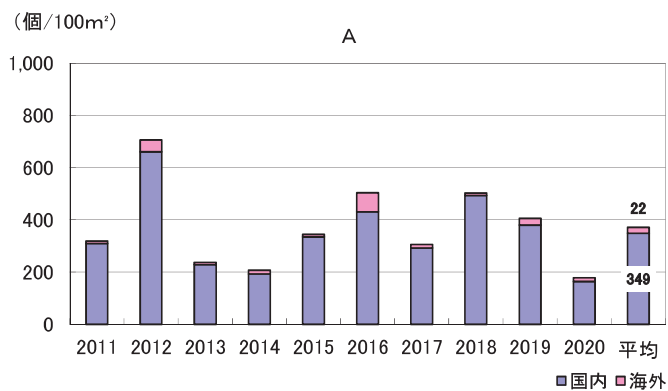


図2. 4-10(3) エリア別の国内・海外起因漂着物個数の経年変化(g/100m²)

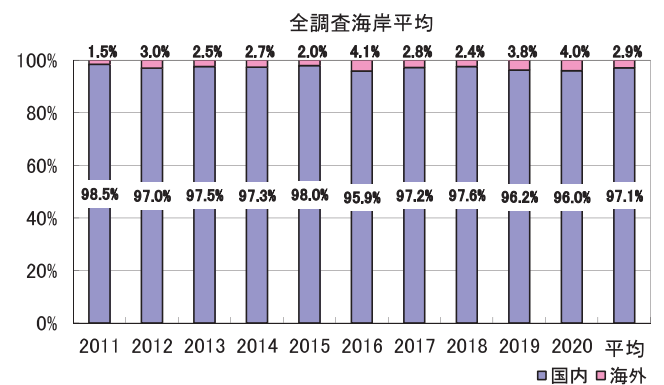
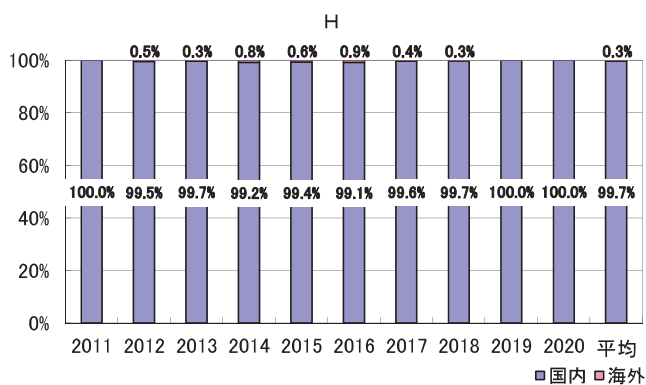
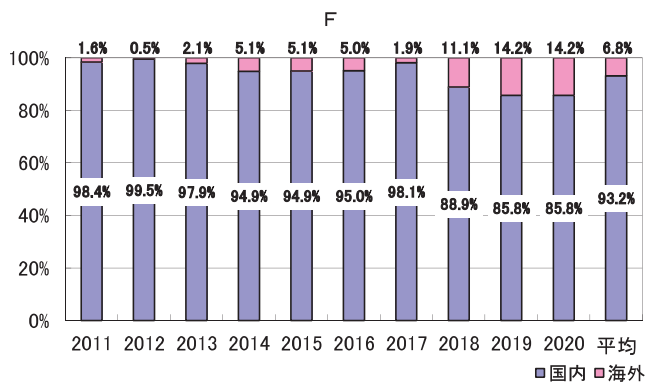
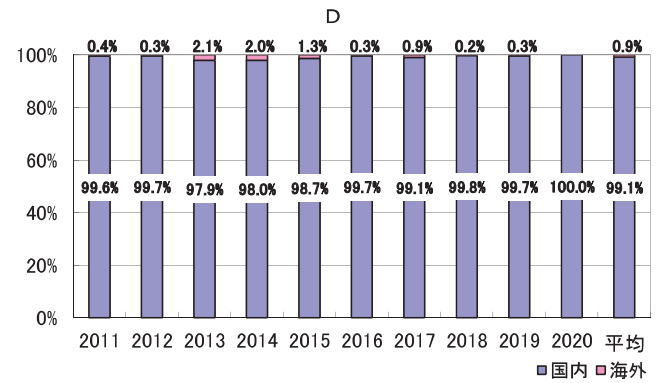
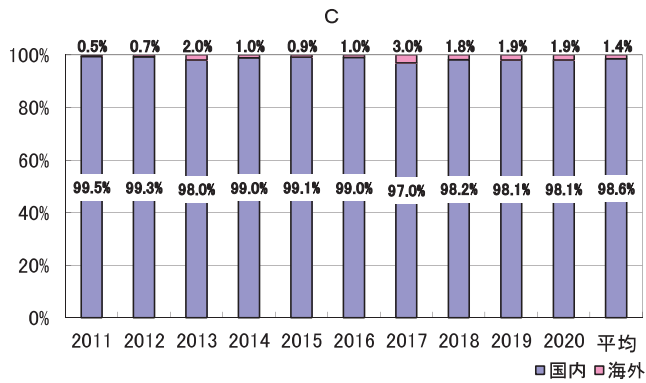
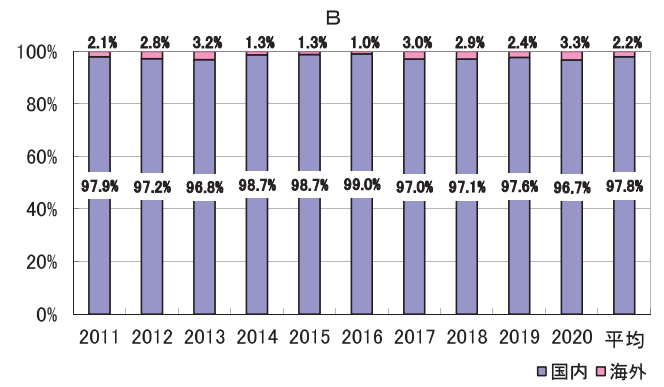
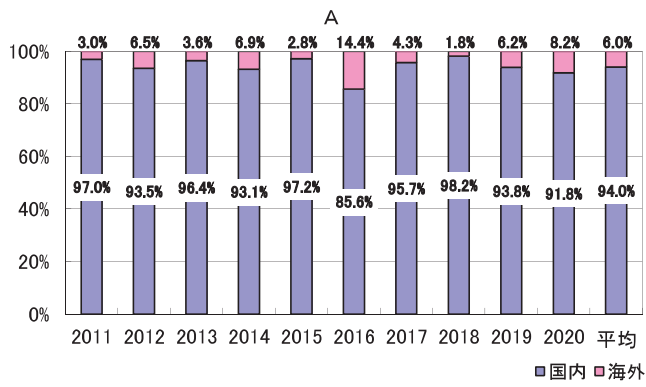


図2. 4-10(4) エリア別の国内・海外起因漂着物個数比率の経年変化(%)

2. 5 プラスチック類の小分類別結果

漂着物の重量、個数の比率が高いプラスチック類について、さらに9種類に分類した。

2020 年度のプラスチック類の小分類別個数とその組成比率を図2. 5-1、表2. 5-1～2に示す。

また、プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数とその組成比率を図2. 5-2、表2. 5-3～4に示す。

(1) プラスチック類の小分類別個数

2020 年度の個数は 11,060 個であり、小分類別では「破片類」が 5,292 個（プラスチック個数の 47.8%）と最も多く、次いで「ひも類」が 1,821 個（同 16.5%）、「容器類」1,167 個（同 10.6%）の順であり、その他の小分類の占める割合は、いずれも 10%未満と低かった。

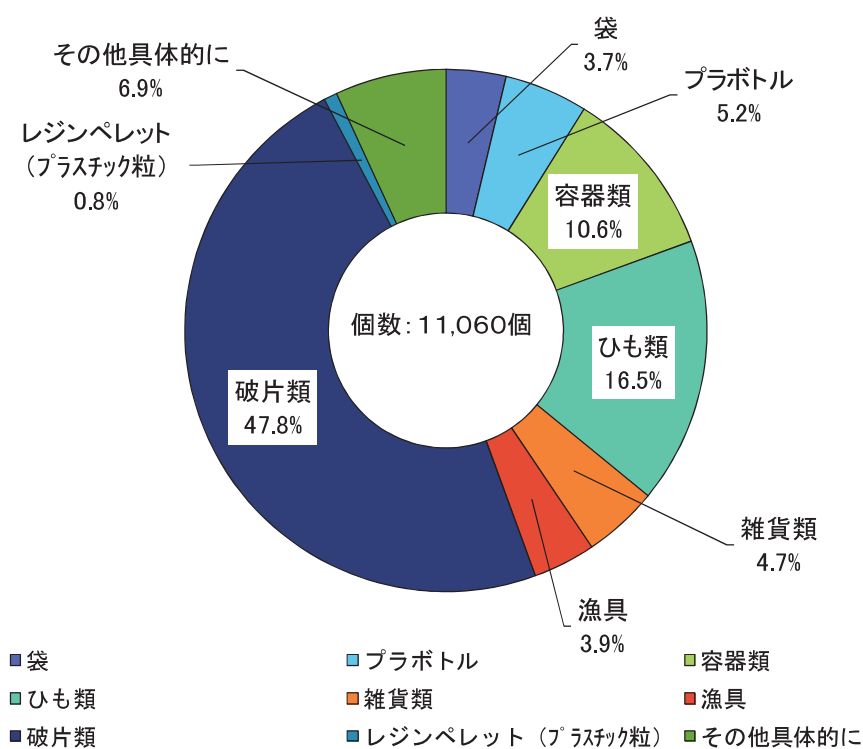


図2. 5-1 プラスチック類の小分類別個数の組成比率(%)

表2. 5-1 プラスチック類の小分類別個数(個)

	袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンペレット (プラスチック粒)	その他具体的に	合計
個数(個)	410	573	1,167	1,821	515	429	5,292	92	761	11,060
組成率(%)	3.7%	5.2%	10.6%	16.5%	4.7%	3.9%	47.8%	0.8%	6.9%	100.0%

表2. 5-2(1) 2020年度 プラスチック類の小分類別個数(個)

個数(個)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	里浜海水浴場	白浜海岸	北浜	涌田海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-12	J42-10	J41-01	J35-06	J32-15A
	調査面積(m ²)	300	300	200	300	300	400	400
①袋		3	100	8	40	13	16	8
②プラボトル		5	40	2	47	47	72	67
③容器類		8	83	56	40	136	60	41
④ひも類		10	299	92	135	90	40	28
⑤雑貨類		9	4	21	6	18	29	3
⑥漁具		0	30	7	85	9	37	37
⑦破片類		35	201	160	132	261	199	30
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	0	0	0	0
⑨その他具体的に		3	0	1	2	0	0	90
合 計		73	757	347	487	574	453	304

個数(個)	調査海岸	持石海岸B	津田海岸	小浜海岸	喜阿弥海岸	御津漁港海岸	浜田港海岸	弓ヶ浜海岸
	海岸コード	J32-15B	J32-16	J32-19	J32-14	J32-18	J32-20	J31-11
	調査面積(m ²)	200	300	100	100	400	100	300
①袋		15	6	29	0	2	4	63
②プラボトル		22	5	10	31	32	1	11
③容器類		24	48	34	6	106	0	25
④ひも類		13	73	18	7	38	3	65
⑤雑貨類		3	10	0	1	20	4	31
⑥漁具		11	6	8	5	74	0	7
⑦破片類		1	135	0	0	80	0	273
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	1	0	0	0	20
⑨その他具体的に		99	11	151	20	179	7	82
合 計		188	294	251	70	531	19	577

個数(個)	調査海岸	浦富海岸	琴引浜海岸	三国 サンセットビーチ	皆々木海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸
	海岸コード	J31-02	J26-01	J18-01	J17-08	J16-04	J16-03	J16-05
	調査面積(m ²)	300	300	300	300	600	300	200
①袋		2	2	2	8	3	11	1
②プラボトル		5	4	17	12	39	17	0
③容器類		49	30	44	85	116	61	9
④ひも類		65	70	25	46	266	192	43
⑤雑貨類		44	29	18	18	37	25	37
⑥漁具		7	14	9	8	9	15	8
⑦破片類		760	968	187	169	449	319	263
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		16	8	0	0	0	0	0
⑨その他具体的に		0	21	4	17	11	30	9
合 計		948	1,146	306	363	930	670	370

個数(個)	調査海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場	ビョートル大帝湾 ファリシウイ岬	ビョートル大帝湾 セウエルナヤ入江	ビョートル大帝湾 スイウチヤ入江	プロスラチナヤ 入江
	海岸コード	J16-02	J16-01	J06-03	R03-35	R03-36	R03-38	R03-37
	調査面積(m ²)	300	300	300	400	200	155	200
①袋		6	0	1	1	20	3	25
②プラボトル		6	0	0	31	9	11	9
③容器類		20	0	2	2	9	1	30
④ひも類		82	3	5	11	16	2	27
⑤雑貨類		60	1	1	3	2	0	37
⑥漁具		3	0	2	1	8	4	4
⑦破片類		311	5	32	44	36	23	79
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	1	0	0	0	0
⑨その他具体的に		14	1	0	0	1	2	4
合 計		502	10	44	93	101	46	215

表2. 5－2(2) 2020年度 プラスチック類の小分類別個数(個)

個数(個)	調査海岸	亡日峰 (マニルボン) 海岸	竹林湾 (チュンリマン) 海岸	道南 (トナム) 海水浴場	トナム 干潟海辺	古県里 (コヒョンリ) 海岸	全調査海岸合計	
	海岸コード	K04-02	K04-03	K04-04	K04-05	K04-06		
	調査面積(m ²)	300	300	300	300	300	調査面積(m ²)	9,355
①袋		2	5	0	4	7	410	3.7%
②プラボトル		0	5	5	4	7	573	5.2%
③容器類		1	7	21	7	6	1,167	10.6%
④ひも類		18	14	16	7	2	1,821	16.5%
⑤雑貨類		3	13	5	14	9	515	4.7%
⑥漁具		3	7	1	8	2	429	3.9%
⑦破片類		28	23	39	22	28	5,292	47.8%
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	46	0	92	0.8%
⑨その他具体的に		0	1	0	1	0	761	6.9%
合 計		55	75	87	113	61	11,060	100.0%

注) 柴垣海岸、鏡浦(キョンボ)海水浴場、安仁(アンイン)海岸の値は、分類方法が異なるため、全調査海岸合計値に含めない。

(2) プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数

2020年度のプラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数は117個/100m²であり、小分類別では、「破片類」が53個（プラスチック個数の45.5%）と最も多く、次いで「ひも類」が18個（同15.6%）、「容器類」12個（同10.4%）の順であり、その他の小分類の占める割合は、いずれも10%未満と低かった。

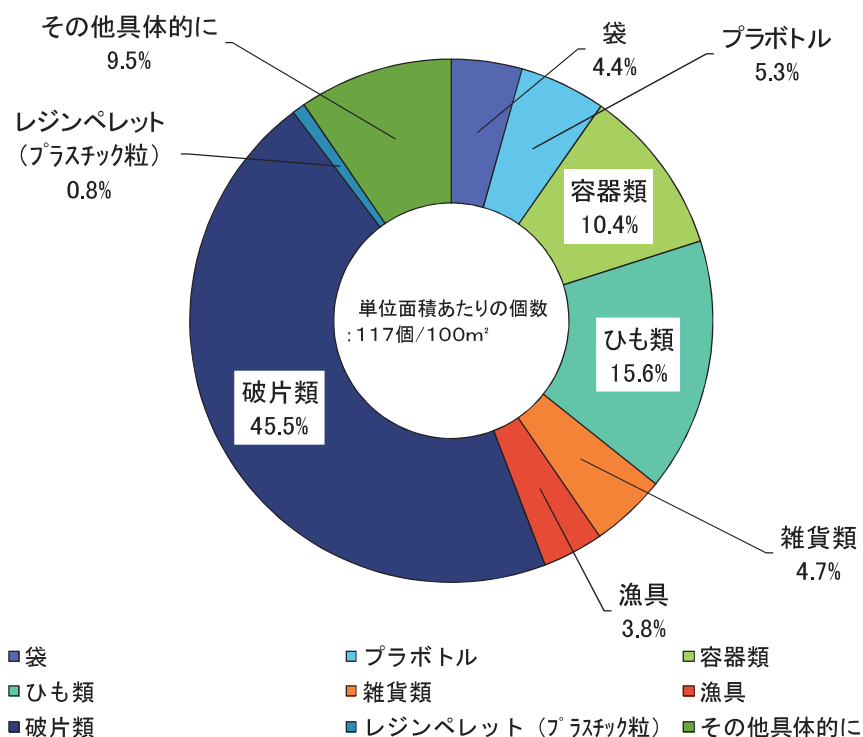


図2. 5-2 プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数の組成比率(%)

表2. 5-3 プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数(個/100 m²)

	袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンペレット (プラスチック粒)	その他具体的に	合計
単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	5	6	12	18	5	4	53	1	11	117
組成率 (%)	4.4	5.3	10.4	15.6	4.7	3.8	45.5	0.8	9.5	100.0

表2. 5-4(1) 2020年度 プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数(個/100m²)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	里浜海水浴場	白浜海岸	北浜	涌田海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-12	J42-10	J41-01	J35-06	J32-15A
①袋		1	33	4	13	4	4	2
②プラボトル		2	13	1	16	16	18	17
③容器類		3	28	28	13	45	15	10
④ひも類		3	100	46	45	30	10	7
⑤雑貨類		3	1	11	2	6	7	1
⑥漁具		0	10	4	28	3	9	9
⑦破片類		12	67	80	44	87	50	8
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	0	0	0	0
⑨その他具体的に		1	0	1	1	0	0	23
合 計		24	252	174	162	191	113	76

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	持石海岸B	津田海岸	小浜海岸	喜阿弥海岸	御津漁港海岸	浜田港海岸	弓ヶ浜海岸
	海岸コード	J32-15B	J32-16	J32-19	J32-14	J32-18	J32-20	J31-11
①袋		8	2	29	0	1	4	21
②プラボトル		11	2	10	31	8	1	4
③容器類		12	16	34	6	27	0	8
④ひも類		7	24	18	7	10	3	22
⑤雑貨類		2	3	0	1	5	4	10
⑥漁具		6	2	8	5	19	0	2
⑦破片類		1	45	0	0	20	0	91
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	1	0	0	0	7
⑨その他具体的に		50	4	151	20	45	7	27
合 計		94	98	251	70	133	19	192

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	浦富海岸	琴引浜海岸	三国 サンセットビーチ	皆々木海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸
	海岸コード	J31-02	J26-01	J18-01	J17-08	J16-04	J16-03	J16-05
①袋		1	1	1	3	1	4	1
②プラボトル		2	1	6	4	7	6	0
③容器類		16	10	15	28	19	20	5
④ひも類		22	23	8	15	44	64	22
⑤雑貨類		15	10	6	6	6	8	19
⑥漁具		2	5	3	3	2	5	4
⑦破片類		253	323	62	56	75	106	132
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		5	3	0	0	0	0	0
⑨その他具体的に		0	7	1	6	2	10	5
合 計		316	382	102	121	155	223	185

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場	ビートル大帝湾 ファリシウイ岬	ビートル大帝湾 セウエルナヤ入江	ビートル大帝湾 スウチヤ入江	プロスラチナヤ 入江
	海岸コード	J16-02	J16-01	J06-03	R03-35	R03-36	R03-38	R03-37
①袋		2	0	0	0	10	2	13
②プラボトル		2	0	0	8	5	7	5
③容器類		7	0	1	1	5	1	15
④ひも類		27	1	2	3	8	1	14
⑤雑貨類		20	0	0	1	1	0	19
⑥漁具		1	0	1	0	4	3	2
⑦破片類		104	2	11	11	18	15	40
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	0	0	0	0
⑨その他具体的に		5	0	0	0	1	1	2
合 計		167	3	15	23	51	30	108

表2. 5-4(2) 2020年度 プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数(個/100m²)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	亡日峰 (マソイルボン) 海岸	竹林湾 (チュンリムマン) 海岸	道南 (トナム) 海水浴場	トンアム 干潟海辺	古県里 (コヒョンリ) 海岸	全調査海岸平均	
	海岸コード	K04-02	K04-03	K04-04	K04-05	K04-06		
①袋		1	2	0	1	2	5	4.4%
②プラボトル		0	2	2	1	2	6	5.3%
③容器類		0	2	7	2	2	12	10.4%
④ひも類		6	5	5	2	1	18	15.6%
⑤雑貨類		1	4	2	5	3	5	4.7%
⑥漁具		1	2	0	3	1	4	3.8%
⑦破片類		9	8	13	7	9	53	45.5%
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	15	0	1	0.8%
⑨その他具体的に		0	0	0	0	0	11	9.5%
合 計		18	25	29	38	20	117	100.0%

注) 柴垣海岸、鏡浦(キョンボ)海水浴場、安仁(アンイン)海岸の値は、分類方法が異なるため、全調査海岸合計値に含めない。

(3) プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数

2020 年度のプラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数とその組成比率を図2. 5-3~4に示す。

2020 年度のプラスチック類の個数は、「琴引浜海岸(京都府)」が 382 個/100m²(全調査海岸平均 117 個/100m²の 3.3 倍)と最も多く、次いで「浦富海岸(鳥取県)」が 316 個/100m²(同 2.7 倍)、「蛤浜海水浴場(長崎県)」252 個/100m²(同 2.2 倍)の順であった。個数が少なかったのは、「宮崎・境海岸(富山県)」が 3 個/100m²、次いで「浜中あさり海水浴場(山形県)」が 15 個/100m²、「亡日峰(マンイルボン)海岸(韓国 慶尚南道)」18 個/100m²の順であった。

(4) プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数の組成比率

海岸別単位面積あたりの個数で「破片類」の組成比率が高かったのは、「琴引浜海岸(京都府)」が 84.5%、次いで「浦富海岸(鳥取県)」が 80.2%、「浜中あさり海水浴場(山形県)」72.7%の順であった。「ひも類」の組成比率が高かったのは、「蛤浜海水浴場(長崎県)」が 39.5%、次いで「亡日峰(マンイルボン)海岸(韓国 慶尚南道)」が 32.7%、「宮崎・境海岸(富山県)」30.0%の順であった。「容器類」の組成比率が高かったのは、「道南(トナム)海水浴場(韓国 慶尚南道)」が 24.1%、次いで「北浜(佐賀県)」が 23.7%、「曾々木海岸(石川県)」23.4%の順であった。

全調査海岸の 33 海岸中 23 海岸で、「破片類」の単位面積あたりの個数が多く、割合も高かった。

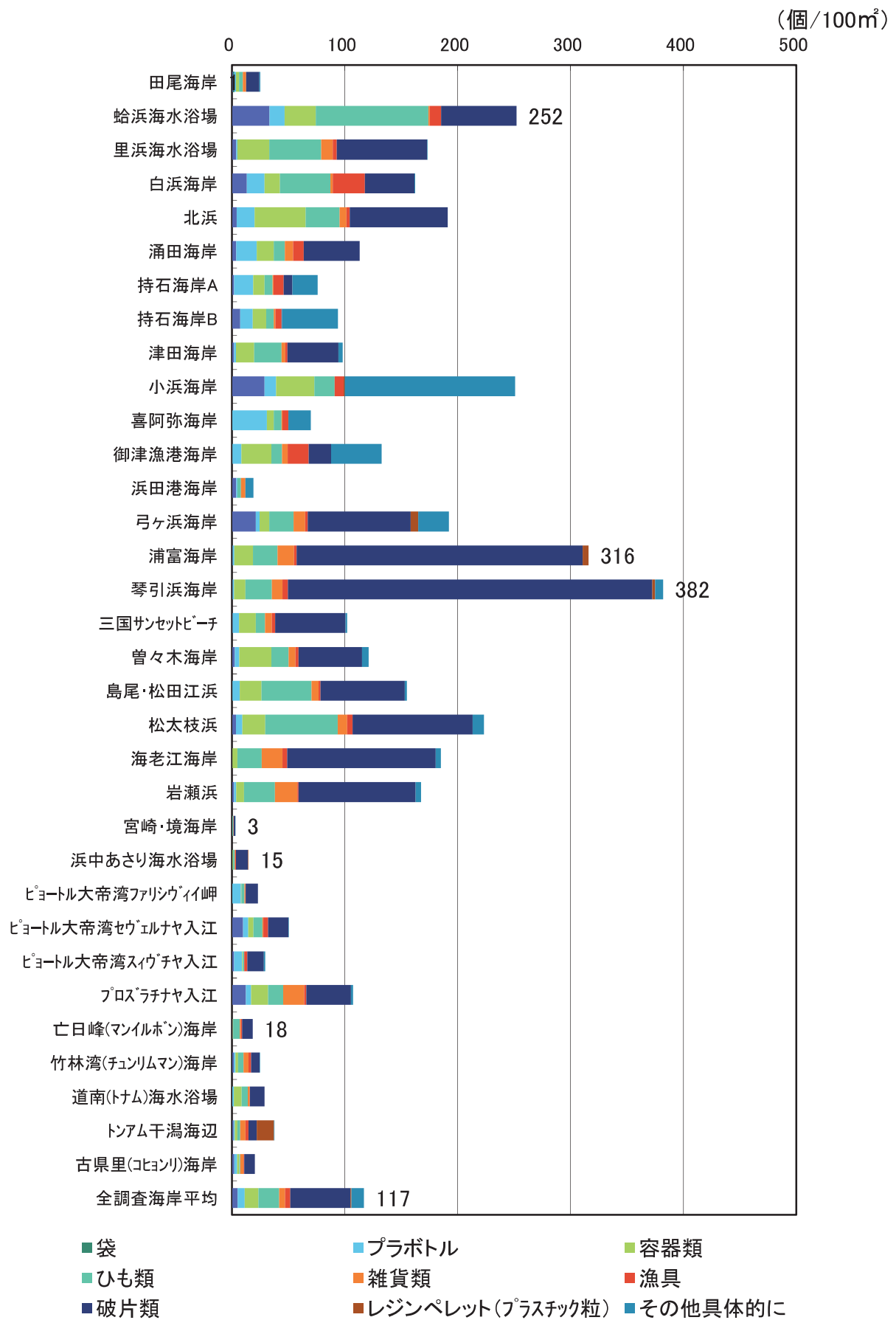


図2. 5-3 プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数(個/100m²)

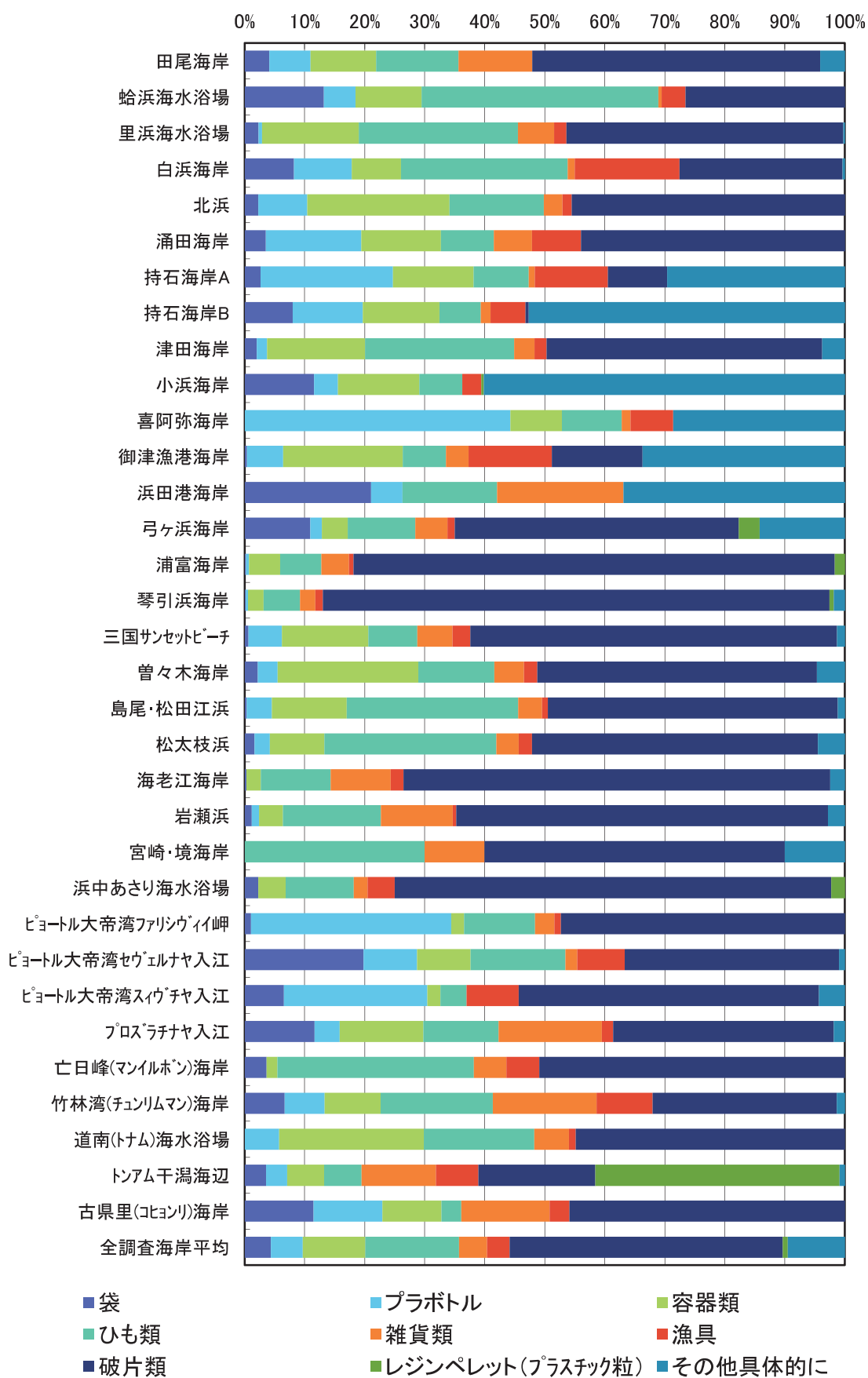


図2. 5-4 プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数の組成比率(%)

(5) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数

2020 年度のエリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数とその組成比率を図2. 5-5、表2. 5-5に示す。

エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数では、「エリアA(九州・沖縄エリア)」が 161 個/100m²と最も多く、次いで「エリアB(中国・近畿エリア)」が 159 個/100m²の順であった。個数が少なかったのは、「エリアC(北陸エリア)」の 15 個/100m²であった。

(6) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数の組成比率

「エリア A(九州・沖縄エリア)」は、「破片類」が 36.0%、「ひも類」が 27.9%であり、他のエリアより「ひも類」の割合が多かった。

その他のエリアでは、「破片類」が 35.8～72.7%、「ひも類」が 8.7～19.0%であり、「破片類」の割合が多かった。

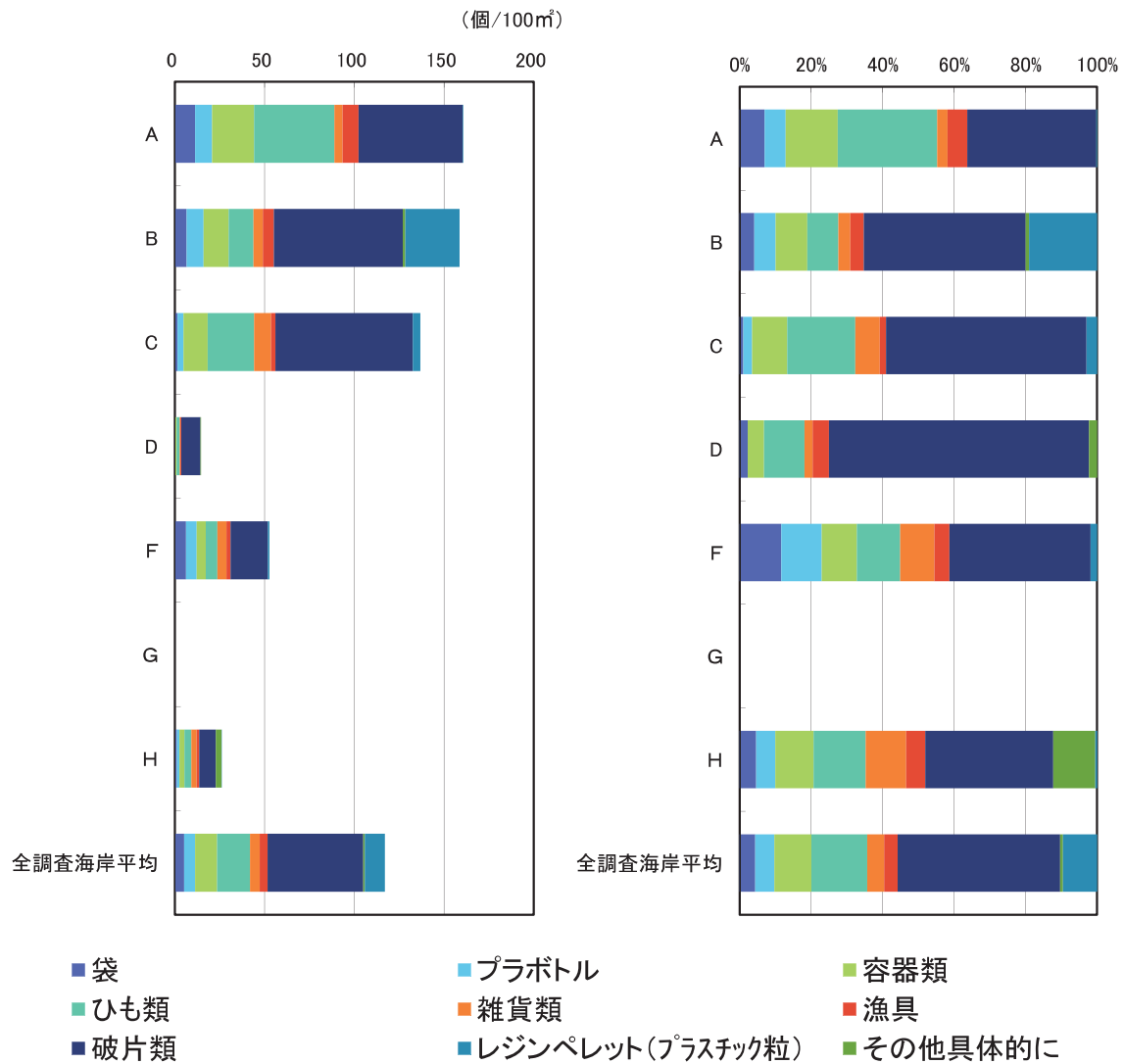


図2. 5-5 エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数と組成比率(%)

表2. 5-5(1) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数(個/100m²)

エリア	袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンペレット(プラスチック粒)	その他具体的に	合計
A (九州・沖縄エリア)	11	9	23	45	5	9	58	0	0	161
B (中国・近畿エリア)	6	9	14	14	5	6	72	1	30	159
C (北陸エリア)	1	3	13	26	9	2	77	0	4	137
D (東北エリア)	0	0	1	2	0	1	11	0	0	15
F (ロシアエリア)	6	6	5	6	5	2	21	0	1	53
G (韓国 東海岸エリア)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H (韓国 西海岸エリア)	1	1	3	4	3	1	9	3	0	26
全調査海岸平均	5	6	12	18	5	4	53	1	11	117

表2. 5-5(2) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数の組成比率(%)

エリア	袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンペレット(プラスチック粒)	その他具体的に
A (九州・沖縄エリア)	7.0%	5.9%	14.6%	27.9%	2.8%	5.6%	36.0%	0.0%	0.3%
B (中国・近畿エリア)	4.1%	6.0%	8.9%	8.7%	3.3%	3.8%	45.3%	0.9%	19.1%
C (北陸エリア)	1.0%	2.5%	9.8%	19.0%	6.8%	1.8%	56.1%	0.0%	3.0%
D (東北エリア)	2.3%	0.0%	4.5%	11.4%	2.3%	4.5%	72.7%	2.3%	0.0%
F (ロシアエリア)	11.7%	11.3%	9.8%	12.1%	9.6%	4.2%	39.5%	0.0%	1.8%
G (韓国 東海岸エリア)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H (韓国 西海岸エリア)	4.6%	5.4%	10.7%	14.6%	11.3%	5.4%	35.8%	11.8%	0.5%
全調査海岸平均	4.4%	5.3%	10.4%	15.6%	4.7%	3.8%	45.5%	0.8%	9.5%

3. マイクロプラスチック調査の結果

3. 1 マイクロプラスチック量の結果

2020 年度(調査海岸数:25 海岸 27 地点)、2019 年度(調査海岸数:32 海岸 56 地点)の調査で採取したマイクロプラスチックの個数及び調査結果を図3. 1-1、表3. 1-1~2に示す。

(1) マイクロプラスチックの個数

2020 年度のマイクロプラスチックの総個数は 667 個であり、2019 年度の総個数は 3,516 個であった。

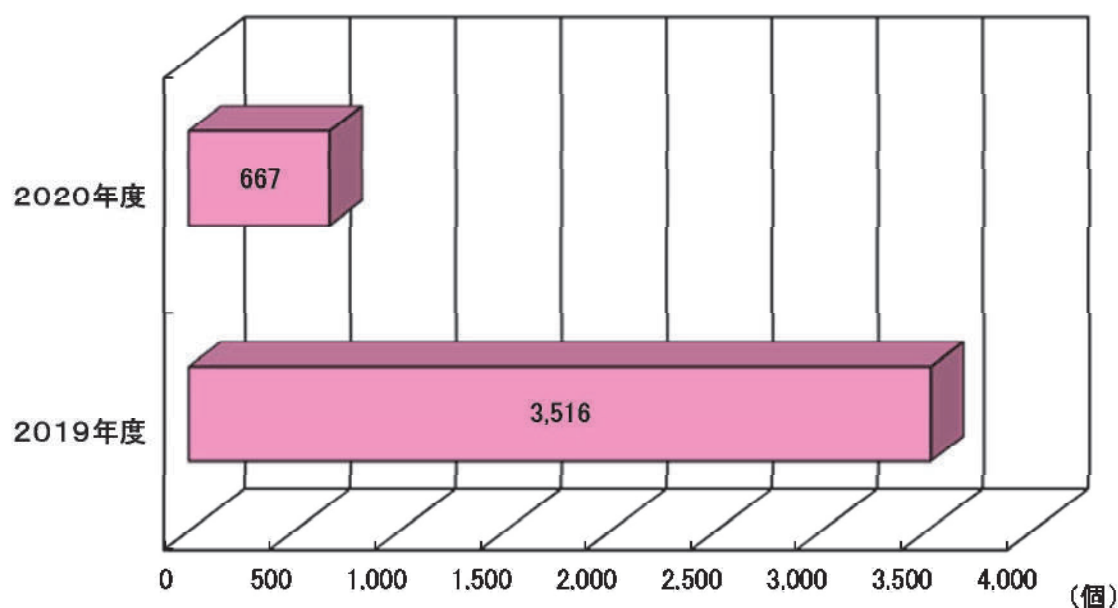


図3. 1-1 マイクロプラスチックの個数

(2) 単位体積あたりのマイクロプラスチック個数

2020 年度の単位体積あたりのマイクロプラスチック個数(全調査海岸平均)は 25 個/L、2019 年度は 39 個/Lであった。

(3) 単位面積あたりのマイクロプラスチック個数

2020 年度の単位面積あたりのマイクロプラスチック個数(全調査海岸平均)は 667 個/m²、2019 年度は 1,568 個/m²であった。

表3. 1-1(1) 2020年度 マイクロプラスチック調査結果

区分／調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	里浜海水浴場	白浜海岸	西浜海岸A
海岸コード	J42-14	J42-11	J42-12	J42-10	J32-17
砂採取区画(cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量(L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	0	19	8	69	4
単位体積あたり 〃(個/L)	0	19	8	69	4
単位面積あたり 〃(個/m ²)	0	475	200	1,725	100

区分／調査海岸	弓ヶ浜海岸	浦富海岸	琴引浜海岸	三国サンセットビーチ	柴垣海岸
海岸コード	J31-11	J31-02	J26-01	J18-01	J17-06
砂採取区画(cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量(L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)	1～5	1～5	1～3	1～5	0～1
マイクロプラスチック個数(個)	3	4	6	282	3
単位体積あたり 〃(個/L)	3	4	6	282	3
単位面積あたり 〃(個/m ²)	75	100	150	7,050	75

区分／調査海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸
海岸コード	J16-04	J16-03	J16-05	J16-02	J16-01
砂採取区画(cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量(L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	24	6	1	2	0
単位体積あたり 〃(個/L)	24	6	1	2	0
単位面積あたり 〃(個/m ²)	600	150	25	50	0

区分／調査海岸	浜中あさり海水浴場	プロスタチヤ入江	鏡浦 (キョンホ)海水浴場	鏡浦 (キョンホ)海水浴場B	安仁(アンイン)海岸
海岸コード	J06-03	R03-37	K01-02	K01-02B	K01-10
砂採取区画(cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ15	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量(L)	1	1	6	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)	1～5	1～5	0.5～4	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	0	0	49	20	117
単位体積あたり 〃(個/L)	0	0	8.2	20	117
単位面積あたり 〃(個/m ²)	0	0	1,225	500	2,925

表3. 1-1(2) 2020年度 マイクロプラスチック調査結果

区分／調査海岸	亡日峰 (マンイルボン)海岸	竹林湾 (チュンリムマン)海岸	道南 (トナム)海水浴場	トンアム干潟海辺	古県里 (コヒョンリ)海岸
海岸コード	K04-02	K04-03	K04-04	K04-05	K04-06
砂採取区画(cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量(L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	3	1	2	1	43
単位体積あたり 〃(個/L)	3	1	2	1	43
単位面積あたり 〃(個/m ²)	75	25	50	25	1,075

区分／調査海岸	全調査海岸合計	全調査海岸平均
海岸コード		
砂採取区画(cm)		
砂採取量(L)		
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)		
マイクロプラスチック個数(個)	667	27
単位体積あたり 〃(個/L)	626	25
単位面積あたり 〃(個/m ²)	16,675	667

注)全調査海岸平均は、各海岸の個数を算術平均したものである。

表3. 1-2(1) 2019年度 マイクロプラスチック調査結果

区分／調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	里浜海水浴場	白浜海岸	二位の浜
海岸コード	J42-14	J42-11	J42-12	J42-10	J35-02
砂採取区画 (cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ5.0
砂採取量 (L)	1	1	1	1	2
マイクロプラスチックの 大きさの範囲 (mm)	1～5	1～4.75	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	1	187	40	14	2,560
単位体積あたり 〃 (個/L)	1	187	40	14	1,280
単位面積あたり 〃 (個/m ²)	25	4,675	1,000	350	64,000

区分／調査海岸	西浜海岸A	西浜海岸B	弓ヶ浜海岸	浦富海岸	赤碕港海岸
海岸コード	J32-17A	J32-17B	J31-11	J31-02	J31-12
砂採取区画 (cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量 (L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲 (mm)	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	0	101	18	2	0
単位体積あたり 〃 (個/L)	0	101	18	2	0
単位面積あたり 〃 (個/m ²)	0	2,525	450	50	0

区分／調査海岸	琴引浜海岸	食見海岸	千里浜海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜
海岸コード	J26-01	J18-05	J17-01	J16-04	J16-03
砂採取区画 (cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量 (L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲 (mm)	1～3	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	6	2	3	257	2
単位体積あたり 〃 (個/L)	6	2	3	257	2
単位面積あたり 〃 (個/m ²)	150	50	75	6,425	50

区分／調査海岸	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場	桂浜海岸A (1回目)
海岸コード	J16-05	J16-02	J16-01	J06-03	J05-05A
砂採取区画 (cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量 (L)	2※ ¹	1	2※ ¹	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲 (mm)	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	104	8	10	18	1
単位体積あたり 〃 (個/L)	52	8	5	18	1
単位面積あたり 〃 (個/m ²)	2,600	200	250	450	25

表3. 1-2(2) 2019年度 マイクロプラスチック調査結果

区分／調査海岸	桂浜海岸B (1回目)	桂浜海岸C (1回目)	桂浜海岸D (1回目)	桂浜海岸E (1回目)	桂浜海岸F (1回目)
海岸コード	J05-05B	J05-05C	J05-05D	J05-05E	J05-05F
砂採取区画 (cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量 (L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲 (mm)	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	0	0	3	0	2
単位体積あたり 〃 (個/L)	0	0	3	0	2
単位面積あたり 〃 (個/m ²)	0	0	75	0	50

区分／調査海岸	桂浜海岸G (1回目)	桂浜海岸H (1回目)	桂浜海岸A (2回目)	桂浜海岸B (2回目)	桂浜海岸C (2回目)
海岸コード	J05-05G	J05-05H	J05-05A	J05-05B	J05-05C
砂採取区画 (cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量 (L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲 (mm)	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	0	1	0	0	1
単位体積あたり 〃 (個/L)	0	1	0	0	1
単位面積あたり 〃 (個/m ²)	0	25	0	0	25

区分／調査海岸	桂浜海岸D (2回目)	桂浜海岸E (2回目)	桂浜海岸F (2回目)	桂浜海岸G (2回目)	桂浜海岸H (2回目)
海岸コード	J05-05D	J05-05E	J05-05F	J05-05G	J05-05H
砂採取区画 (cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量 (L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲 (mm)	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	0	0	3	0	0
単位体積あたり 〃 (個/L)	0	0	3	0	0
単位面積あたり 〃 (個/m ²)	0	0	75	0	0

区分／調査海岸	桂浜海岸A (3回目)	桂浜海岸B (3回目)	桂浜海岸C (3回目)	桂浜海岸D (3回目)	桂浜海岸E (3回目)
海岸コード	J05-05A	J05-05B	J05-05C	J05-05D	J05-05E
砂採取区画 (cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量 (L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲 (mm)	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5
マイクロプラスチック個数(個)	0	0	0	0	1
単位体積あたり 〃 (個/L)	0	0	0	0	1
単位面積あたり 〃 (個/m ²)	0	0	0	0	25

表3. 1-2(3) 2019年度 マイクロプラスチック調査結果

区分／調査海岸	桂浜海岸F (3回目)	桂浜海岸G (3回目)	桂浜海岸H (3回目)	トキ入江	オフマンヤ入江
海岸コード	J05-05F	J05-05G	J05-05H	R01-02	R01-05
砂採取区画(cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量(L)	1	1	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)	1～5	1～5	1～5	－	－
マイクロプラスチック個数(個)	0	0	0	0	0
単位体積あたり 〃(個/L)	0	0	0	0	0
単位面積あたり 〃(個/m ²)	0	0	0	0	0

区分／調査海岸	ビートル大帝湾 リフォーアヤ入江	プロスラチナヤ入江	河趙臺 (ハジョテ)海水浴場	鏡浦 (キョンポ)海水浴場	領津 (ヨンジン)海水浴場
海岸コード	R03-25	R03-37	K01-01	K01-02	K01-06
砂採取区画(cm)	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ3.0	縦100×横100×深さ2.5
砂採取量(L)	1	2 ^{※1}	1.3 ^{※2}	1.2	25
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)	1～4.5	－	0.1～0.5	0.5～4.0	3.0～5.0
マイクロプラスチック個数(個)	13	0	3	64	1
単位体積あたり 〃(個/L)	13	0	2	53	0
単位面積あたり 〃(個/m ²)	325	0	75	1,600	1

区分／調査海岸	注文津 (チュンジン)海岸	亡日峰 (マンイルボン)海岸	竹林湾 (チュンリマン)海岸	道南 (トナム)海水浴場	トナム干潟海辺
海岸コード	K01-07	K04-02	K04-03	K04-04	K04-05
砂採取区画(cm)	縦100×横100×深さ2.5	縦20×横20×深さ3.0	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5	縦20×横20×深さ2.5
砂採取量(L)	25	1.2	1	1	1
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)	3.0～5.0	2～10	2.9～4.1	2.6～4.5	2.6～4.5
マイクロプラスチック個数(個)	3	17	2	3	3
単位体積あたり 〃(個/L)	0	14	2	3	3
単位面積あたり 〃(個/m ²)	3	425	50	75	75

区分／調査海岸	古県里 (コヒョンリ)海岸	全調査海岸合計	全調査海岸平均
海岸コード	K04-06		
砂採取区画(cm)	縦20×横20×深さ2.5		
砂採取量(L)	1		
マイクロプラスチックの 大きさの範囲(mm)	1～5		
マイクロプラスチック個数(個)	62		
単位体積あたり 〃(個/L)	62		
単位面積あたり 〃(個/m ²)	1,550	87,804	1,568

注) 1. 全調査海岸平均は、各海岸の個数を算術平均したものである。
 2. 表中の※1は、2回調査した砂採取量を示す。
 3. 表中の※2は、砂採取区画の算出量と異なるが、実際に報告があった砂採取量を記載した。

3. 2 調査海岸別のマイクロプラスチック量の結果

調査海岸別マイクロプラスチック量の結果については、調査海岸ごとに実施面積が異なるため、単位体積あたりの個数及び単位面積あたりの個数を比較した。

2020 年度、2019 年度の海岸別単位体積あたりのマイクロプラスチック個数を図3. 2-1～2に、海岸別単位面積あたりのマイクロプラスチック個数を図3. 2-3～4に示す。

(1) 海岸別単位体積あたりのマイクロプラスチック個数

2020 年度の海岸別単位体積あたりのマイクロプラスチック個数は、「三国サンセットビーチ(福井県)」が 282 個/Lと最も多く、次いで「安仁(アンイン)海岸(韓国 江原道)」が 117 個/L、「白浜海岸(長崎県)」69 個/Lの順であり、単位体積あたりの個数が少なかったのは、「田尾海岸(長崎県)」他4地点で0個/Lであった。

2019 年度の海岸別単位体積あたりのマイクロプラスチック個数は、「二位の浜(山口県)」が 1,280 個/Lと最も多く、次いで「島尾・松田江浜(富山県)」が 257 個/L、「蛤浜海水浴場(長崎県)」187 個/Lの順であり、単位体積あたりの個数が少なかったのは、「赤碕港海岸(鳥取県)」他 22 地点で0個/Lであった。

(2) 海岸別単位面積あたりのマイクロプラスチック個数

2020 年度の海岸別単位面積あたりのマイクロプラスチック個数は、「三国サンセットビーチ(福井県)」が 7,050 個/m²と最も多く、次いで「安仁(アンイン)海岸(韓国 江原道)」が 2,925 個/m²、「白浜海岸(長崎県)」1,725 個/m²の順であり、単位面積あたりの個数が少なかったのは、「田尾海岸(長崎県)」他4地点で0個/m²であった。

2019 年度の海岸別単位面積あたりのマイクロプラスチック個数は、「二位の浜(山口県)」が 64,000 個/m²と最も多く、次いで「島尾・松田江浜(富山県)」が 6,425 個/m²、「蛤浜海水浴場(長崎県)」4,675 個/m²の順であり、単位面積あたりの個数が少なかったのは、「赤碕港海岸(鳥取県)」他 22 地点で0個/m²であった。

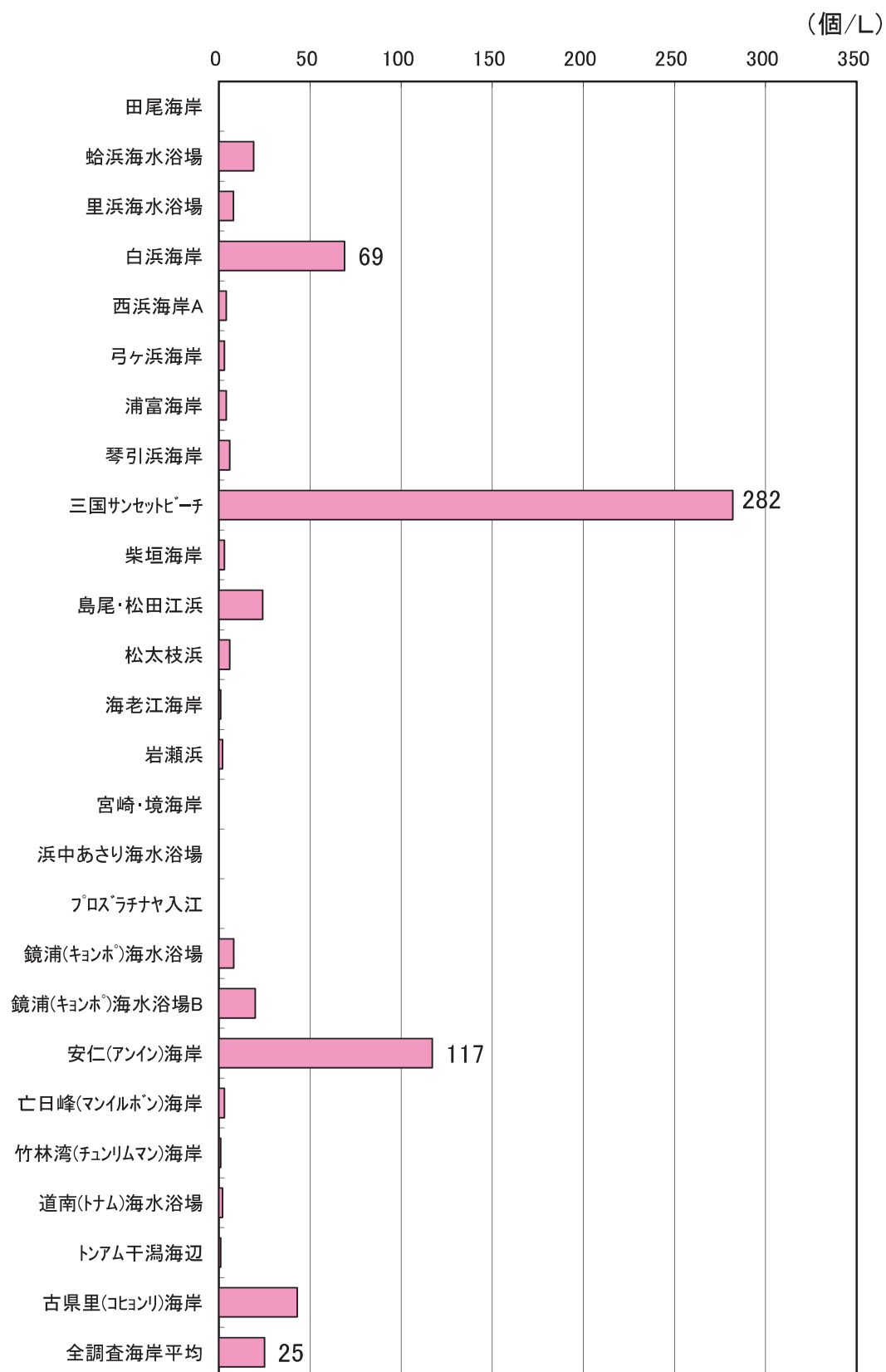


図3. 2-1 2020年度 海岸別単位体積あたりのマイクロプラスチック個数(個/L)



図3. 2-2 2019年度 海岸別単位体積あたりのマイクロプラスチック個数(個/L)

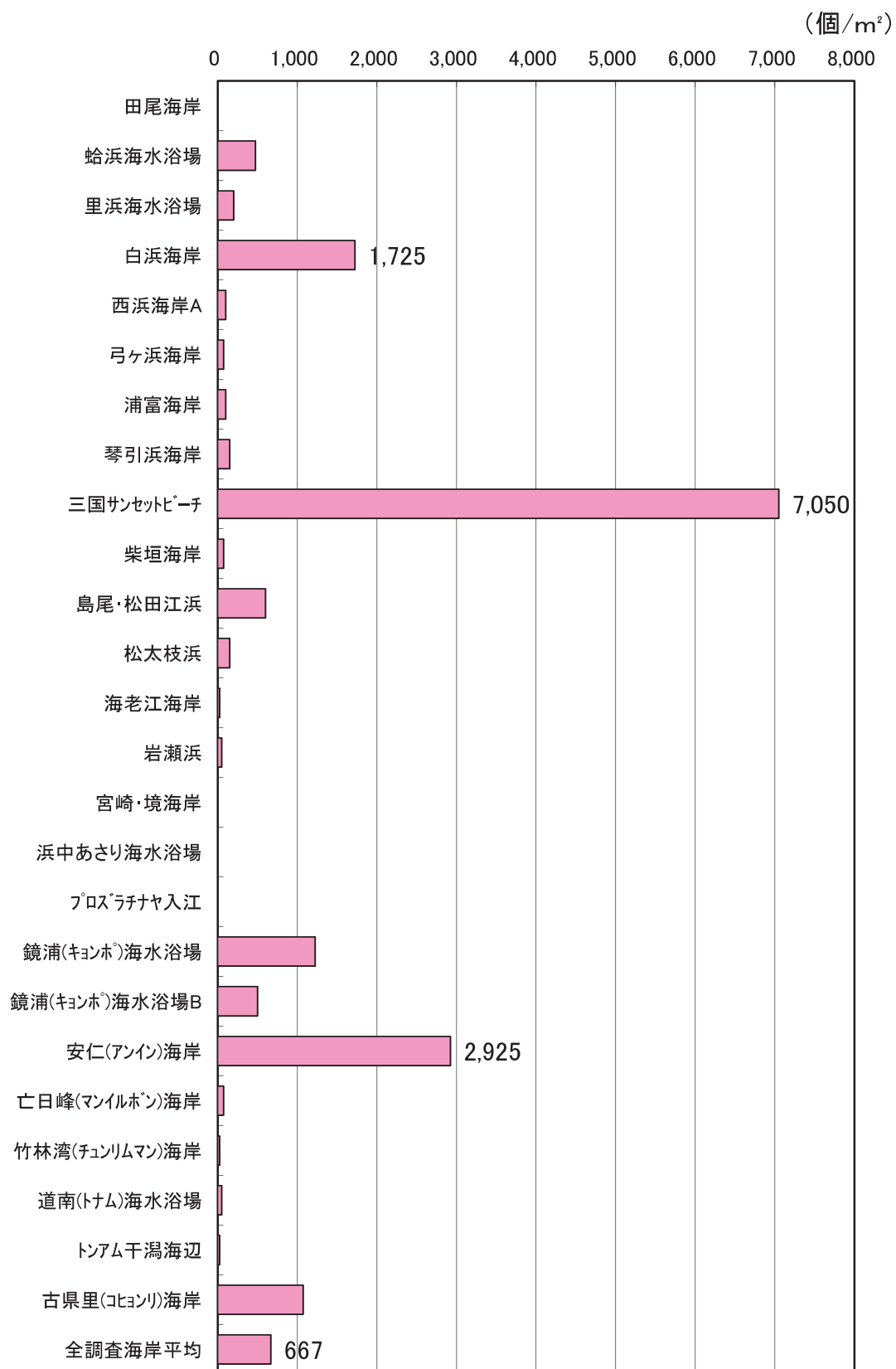


図3. 2ー3 2020年度 海岸別単位面積あたりのマイクロプラスチック個数(個/㎡)

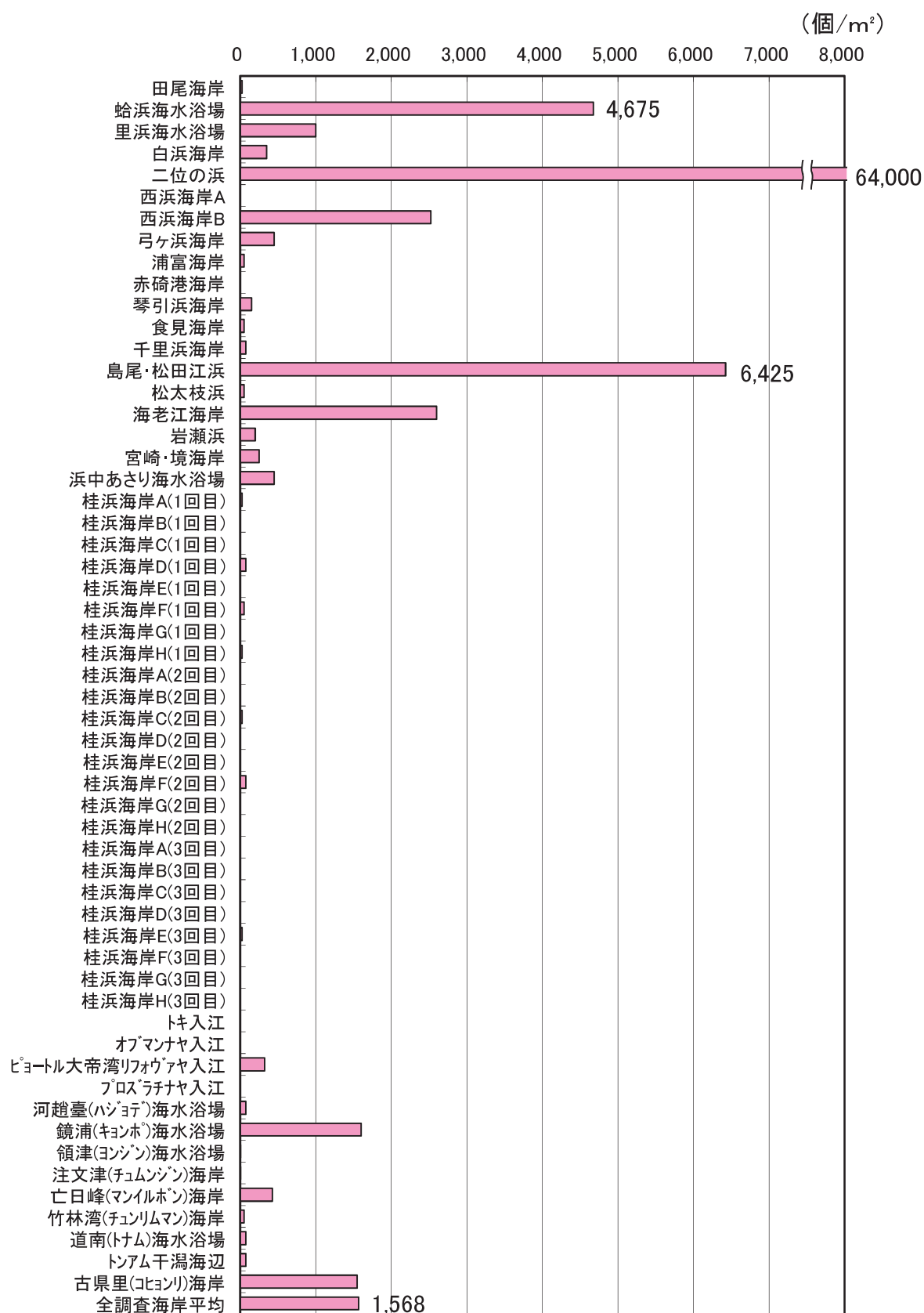


図3. 2-1 2019年度 海岸別単位体積あたりのマイクロプラスチック個数(個/L)

4. 調査結果のまとめ

2020年度の漂着物調査においては、「プラスチック類」が全海岸の総重量の66.0%、総個数の61.1%を占め、他の7種類の分類項目に比べて高い割合であった。また、「発泡スチロール類」が全海岸の総個数の22.4%を占めた。同様の傾向は、過去の調査結果においてもみられる。また、「プラスチック類」をさらに9種類に分類したところ、「破片類」が全海岸の総個数(プラスチック類)の47.8%、単位面積あたり個数(プラスチック類)の45.5%を占め、他の8種類の分類項目に比べて最も高い割合であった。このことから、漂着物全体に占める割合は、「プラスチック類」や「発泡スチロール類」のような軽くて破片化しやすいプラスチック製の素材が多い結果となった。

マイクロプラスチック調査においては、対象海岸25海岸中、21海岸で採取されており、全調査海岸平均が27個であった。海岸別の個数にばらつきはあるが、日本海沿岸において細片化し、回収が困難になったマイクロプラスチックが広く存在していると考えられる。

国内外で主要な環境問題のひとつとなっている海洋プラスチック問題が、日本海沿岸においても発生しており、課題として、関係機関の連携協力によるプラスチックごみの流出防止対策が必要となっている。

市民参加型の本調査では、高価な機材を用いず、専門的な調査に比べて繰り返し長期間にわたる調査が可能となるとともに、市民の環境保全意識が高められるといった利点がある。

このことから、今後も日本海沿岸の地方自治体、市民と連携した漂着物調査を継続的にを行い、実態把握に努めるとともに、市民への普及啓発に取り組むことが必要である。

5. 1 データベースの保守

表5. 1-1 データベース(2020)追加状況

89

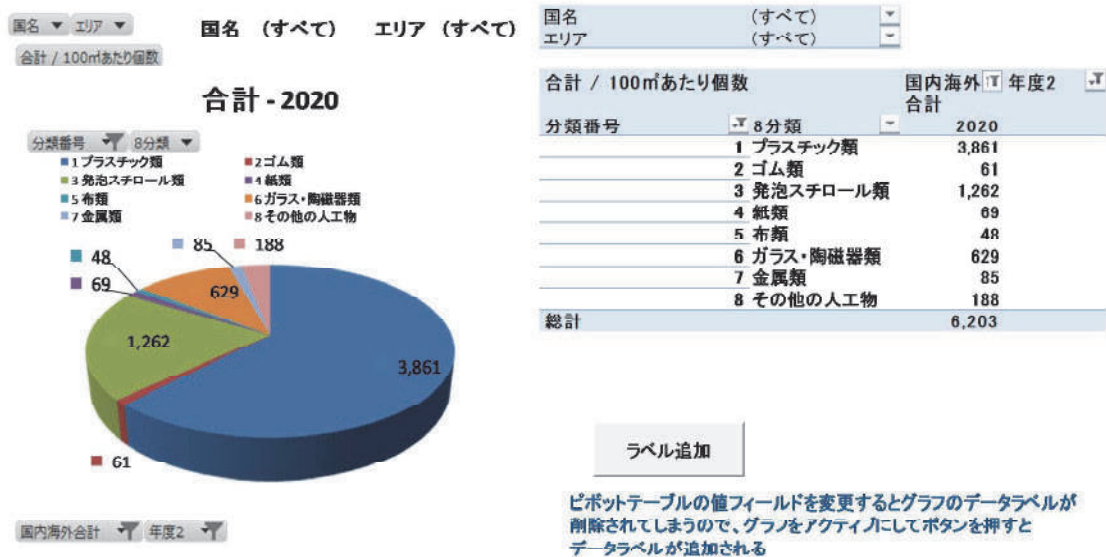


図5. 1-1 データベースの保守状況

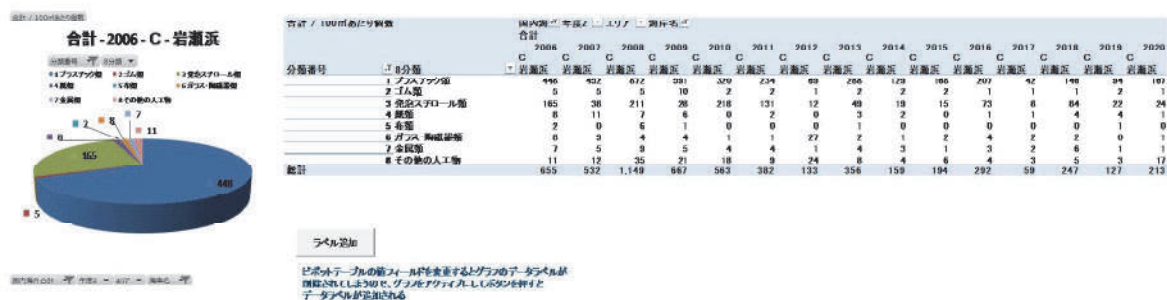


図5. 1-2 ピボットテーブルの活用による一例(100㎡あたり個数)

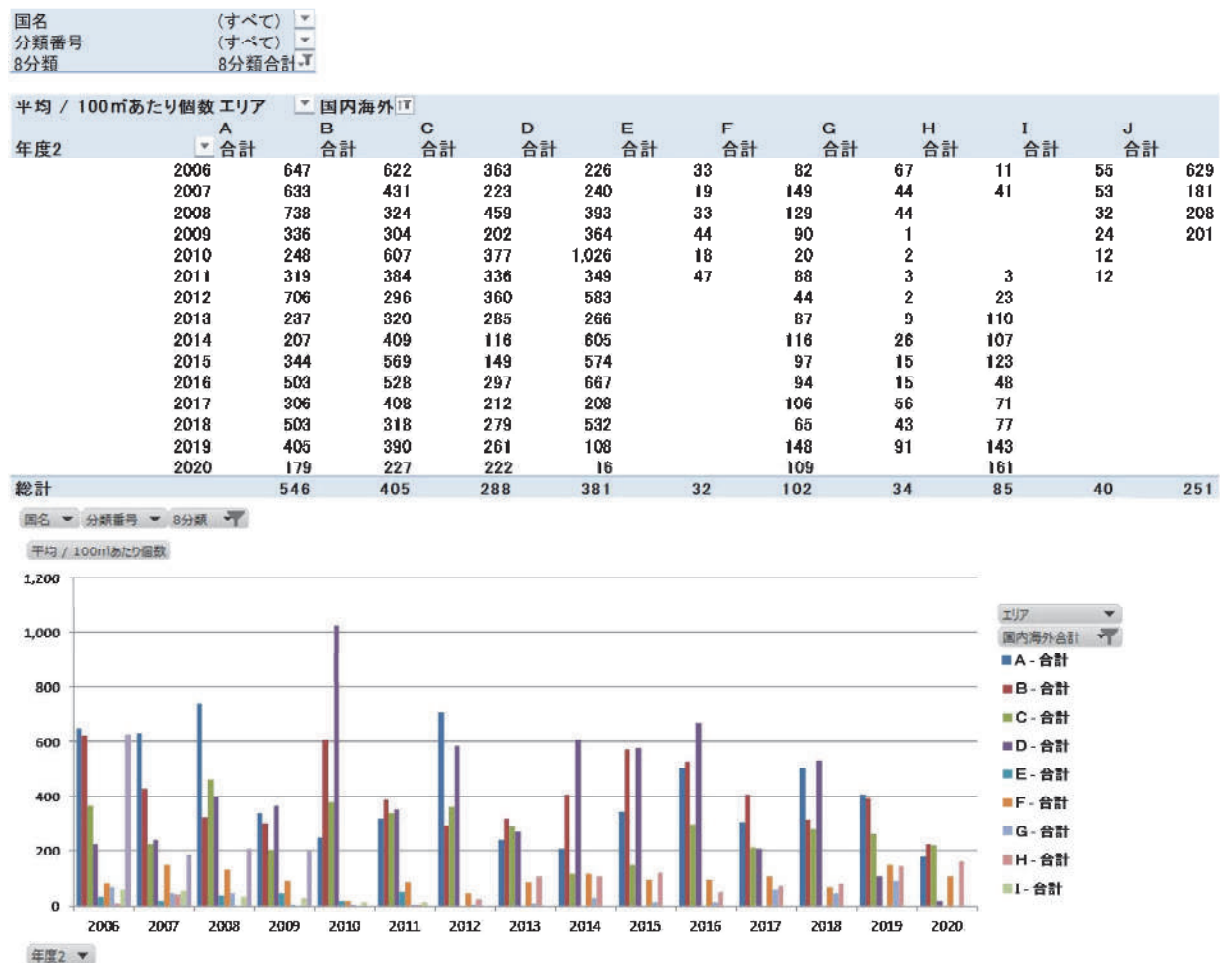


図5. 1-3 データベースの保守状況(2006～2020)

資 料 編

調查海岸概況票

			調査海岸コード		J		-											
海岸名					所在地													
緯度・経度		緯度：度分秒			経度：度分秒													
調査日時		令和 年 月 日 ()			時 分 ~ 時 分													
天気概況		[当日]			[前日]													
風速		[当日] 日最大 m/s ()			[前日] 日最大 m/s ()													
		[過去 1 か月間] 月 日、日最大 m/s ()																
注意報・警報		[当日] (発表日時：)			解除日時： ()													
発表状況		[直近] (発表日時：)			解除日時： ()													
		[観測所]																
地理的概況																		
調査地域の状況		[用途] [近隣] [河川からの距離] [周辺状況] [清掃状況] [年間利用者] 人																
参加団体		[参加団体名] [参加人数] 人 (大人 人)																
漂着物調査区画		[海岸調査面積] m ² (内訳) [列 数] 延 列 [区画数] 延 区画 [100m ² 未満の区画数] 区画 [波打ち際から漂着物が塊となっている箇所までの距離] <table><tr><td>調査区画コード</td><td>H</td><td>-</td><td>H</td><td>-</td></tr><tr><td>波打ち際からの距離</td><td colspan="2">m</td><td colspan="2">m</td></tr></table>							調査区画コード	H	-	H	-	波打ち際からの距離	m		m	
調査区画コード	H	-	H	-														
波打ち際からの距離	m		m															
埋没物調査地点 (休止中)		調査地点コード	M 0 1	M 0 2	M 0 3													
		波打ち際からの距離	m	m	m													
特記事項																		

海辺の漂着物調査 調査票 1

調査場所		調査海岸コード	
調査日時		調査区画コード	
～		記入者名	
(1)プラスチック類		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
①袋	0	0	0 0 0 0 0
食品用・包装用	0		
スーパー・コンビニの袋	0		
お菓子の袋	0		
その他の袋	0		
②プラボトル	0	0	0 0 0 0 0
飲料用	0		
洗剤・漂白剤	0		
食品用(マヨネーズ、醤油等)	0		
その他のプラボトル	0		
③容器類	0	0	0 0 0 0 0
カップ・食器	0		
食品トレイ	0		
小型調味料容器(醤油、ソース)	0		
ふた・キャップ	0		
その他の容器類	0		
④ひも類	0	0	0 0 0 0 0
ひも	0		
ロープ	0		
テープ	0		
⑤雑貨類	0	0	0 0 0 0 0
ストロー	0		
タバコのフィルター	0		
ライター	0		
おもちゃ	0		
文房具	0		
その他の雑貨類	0		
⑥漁具	0	0	0 0 0 0 0
釣り糸	0		
釣りのルアー・浮き	0		
ブイ	0		
その他の漁具	0		
⑦破片類	0	0	0 0 0 0 0
シートや袋の破片	0		
プラスチックの破片	0		
⑧レジンペレット(プラスチック粒)	0	0	
⑨その他具体的に	0	0	0 0 0 0 0
燃え殻	0		
注射器	0		
コード配線類	0		
不明	0		
	0		
	0		
小 計	0個	0個	0 0 0 0 0
	重量		
(2)ゴム類		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
①ボール			
②風船			
③ゴム手袋			
④輪ゴム			
⑤ゴムの破片			
⑥その他具体的に			
ゴムサンダル			
小 計	個数	0個	
	重量		
(3)発泡スチロール類		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
①容器・包装等			
食品トレイ			
飲料用カップ			
弁当・ラーメン等容器			
梱包資材			
②ブイ			
③発泡スチロールの破片			
④その他具体的に			
不明			
小 計	個数	0個	
	重量		
(4)紙類		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
①容器類			
紙コップ			
飲料用紙パック			
紙皿			
②包装			
紙袋			
タバコのパッケージ			
菓子類包装紙			
段ボール箱			
ボール紙箱			
③花火の筒			
④紙片等			
新聞・雑誌・広告			
ティッシュ			
紙片			
⑤その他具体的に			
タバコの吸殻			
小 計	個数	0個	
	重量		

海辺の漂着物調査 調査票 2

調査場所		調査海岸コード	
調査日時		調査区画コード	
～		記入者名	
(5)布類		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
①衣服類			
②軍手			
③布片			
④糸、毛糸			
⑤布ひも			
⑥その他具体的に			
小 計	個数	0個	
	重量		
(6)ガラス・陶磁器類		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
①ガラス製品			
飲料用容器			
食品用容器			
化粧品容器			
食器			
蛍光灯			
電球			
②陶磁器類			
食器			
タイル・レンガ			
③ガラス破片			
④陶磁器類破片			
⑤その他具体的に			
薬品瓶			
小 計	個数	0個	
	重量		
(7)金属類		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
①缶			
アルミ製飲料用缶			
スチール製飲料用缶			
食品用缶			
スプレー缶			
その他の缶			
②釣り用品			
釣り針			
おもり			
その他の釣り用品			
③雑貨類			
ふた・キャップ			
プルタブ			
針金			
釘(くぎ)			
(7)金属類		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
④金属片			
金属片			
アルミホイル・アルミ箔			
⑤その他具体的に			
コード配線類			
小 計	個数	0個	
	重量		
(8)その他の人工物		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
①木類(人工物)			
木材・木片(角材・板)			
花火			
割り箸			
つま楊枝			
マッチ			
木炭			
その他具体的に			
②粗大ごみ(具体的に)			
③オイルボール			
④その他具体的に			
小 計	個数	0個	
	重量		
(集 計)		国内個数	海外個数
		計	中 韓 口 他
(1)プラスチック類	0	0	0 0 0 0 0
(2)ゴム類	0	0	0 0 0 0 0
(3)発泡スチレン類	0	0	0 0 0 0 0
(4)紙類	0	0	0 0 0 0 0
(5)布類	0	0	0 0 0 0 0
(6)ガラス・陶磁器類	0	0	0 0 0 0 0
(7)金属類	0	0	0 0 0 0 0
(8)その他の人工物	0	0	0 0 0 0 0
合 計	個数	0個	0個 0 0 0 0
	重量	0g	0g

※  部については、2020年度は区分しない。

2020年度 エリア別分類別の漂着物重量(g)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査 回数	面積	重量(g)									
							プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計	
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	31,753.0	34.0	0.0	2.0	57.0	656.0	668.0	0.0	33,170.0	
	2		南松浦郡上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	23,900.0	600.0	5,200.0	0.0	600.0	300.0	200.0	3,700.0	34,500.0	
	3		壱岐市	里浜海水浴場	1	200	1,204.0	0.0	3.0	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	1,219.0	
	4		対馬市	白浜海岸	1	300	90,700.0	500.0	1,500.0	100.0	1,600.0	2,000.0	450.0	11,650.0	108,500.0	
	5	佐賀県	唐津市	北浜	1	300	12,100.0	0.0	0.0	110.0	0.0	0.0	360.0	820.0	13,390.0	
	小計				合計	5	1,400	159,657.0	1,134.0	6,703.0	212.0	2,265.0	2,956.0	1,682.0	16,170.0	190,779.0
				平均			280	31,931.4	226.8	1,340.6	42.4	453.0	591.2	336.4	3,234.0	38,155.8
B	6	山口県	下関市	涌田海岸	1	400	11,960.0	500.0	300.0	190.0	1,020.0	1,300.0	670.0	2,410.0	18,350.0	
	7	島根県	益田市	持石海岸A	1	400	5,307.0	1,375.0	1,180.0	93.0	0.0	141.0	82.0	324.0	8,502.0	
	8			持石海岸B	1	200	4,457.0	308.0	996.0	84.0	6.0	0.0	46.0	7,180.0	13,077.0	
	9			津田海岸	1	300	1,895.0	11.0	25.0	0.0	0.0	304.0	22.0	174.0	2,431.0	
	10			小浜海岸	1	100	1,810.0	740.0	1,968.0	1.0	3.0	258.0	6.0	0.0	4,786.0	
	11			喜阿弥海岸	1	100	1,861.0	0.0	180.0	81.0	3.0	260.0	93.0	0.0	2,478.0	
	12	松江市		御津漁港海岸	1	400	12,476.0	0.0	143.0	0.0	0.0	91.0	64.0	0.0	12,774.0	
	13			浜田市	1	100	124.0	0.0	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	135.0	
	15	鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	3,248.0	45.0	79.0	1.0	0.0	112.0	0.0	254.0	3,739.0	
	16			岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	3,128.0	1.0	37.0	32.0	0.0	83.0	1.0	0.0	3,282.0
	17			京都府	京丹後市	琴引浜海岸	1	300	707.0	0.0	41.0	0.0	0.0	156.0	0.0	0.0
小計				合計	11	2,900	46,973.0	2,980.0	4,960.0	482.0	1,032.0	2,705.0	984.0	10,342.0	70,458.0	
				平均			264	4,270.3	270.9	450.9	43.8	93.8	245.9	89.5	940.2	6,405.3
C	18	福井県	坂井市	三国サンセットビーチ	1	300	5,362.0	40.0	109.0	5.0	1.0	0.0	45.0	1,493.0	7,055.0	
	20	石川県	輪島市	曾々木海岸	1	300	6,543.0	36.0	96.0	2.0	5.0	534.0	16.0	113.0	7,345.0	
	21			氷見市	1	600	15,208.0	536.0	1,278.0	43.0	273.0	970.0	336.0	2,625.0	21,269.0	
	22	富山県	高岡市	松太枝浜	1	300	4,258.0	28.0	198.0	55.0	55.0	167.0	460.0	311.0	5,532.0	
	23			射水市	1	200	227.0	29.0	5.0	1.0	0.0	0.0	1.0	38.0	301.0	
	24			富山市	1	300	803.0	2.0	16.0	37.0	6.0	79.0	19.0	1,016.0	1,978.0	
	25			下新川郡朝日町	1	300	6.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	33.0	0.0	42.0	
	小計				合計	7	2,300	32,407.0	671.0	1,705.0	143.0	340.0	1,750.0	910.0	5,596.0	43,522.0
					平均			329	4,629.6	95.9	243.6	20.4	48.6	250.0	130.0	799.4
D	26	山形県	酒田市	浜中あざり海水浴場	1	300	1,546.0	0.0	136.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	1,686.0	
	小計				合計	1	300	1,546.0	0.0	136.0	0.0	0.0	0.0	4.0	1,686.0	
					平均			300	1,546.0	0.0	136.0	0.0	0.0	0.0	4.0	1,686.0
F	27	沿海地方	ハサンスキー地区	ビョートル大帝湾フアリシヴィイ岬	1	400	2,570.0	0.0	190.0	30.0	0.0	140.0	101.0	9,800.0	12,831.0	
	28			ビョートル大帝湾セヴェルナヤ入江	1	200	20,129.0	0.0	20.0	0.0	310.0	310.0	0.0	36,250.0	57,019.0	
	29			ビョートル大帝湾スイヴチャヤ入江	1	155	4,130.0	40.0	170.0	0.0	0.0	120.0	57.0	0.0	4,517.0	
	30			ナホトカ市	1	200	1,310.0	225.0	180.0	113.0	1,070.0	774.0	635.0	5,615.0	9,922.0	
	小計				合計	4	955	28,139.0	265.0	560.0	143.0	1,380.0	1,344.0	793.0	51,665.0	84,289.0
				平均			239	7,034.8	66.3	140.0	35.8	345.0	336.0	198.3	12,916.3	21,072.3
H	34	慶尚南道	統営市	亡日峰(マンイルボン)海岸	1	300	428.0	5.0	1.0	1.0	95.0	2,264.0	93.0	3.0	2,890.0	
	35			竹林湾(チュンリムマン)海岸	1	300	1,108.0	238.0	782.0	454.0	316.0	416.0	251.0	615.0	4,180.0	
	36			道南(トナム)海水浴場	1	300	692.0	79.0	269.0	95.0	175.0	1,590.0	153.0	3,056.0	6,109.0	
	37			トンナム干潟海辺	1	300	614.0	64.0	151.0	101.0	71.0	240.0	199.0	545.0	1,985.0	
	38	昌原市	古泉里(コヒョンリ)海岸		1	300	2,450.0	900.0	270.0	230.0	660.0	3,300.0	610.0	700.0	9,120.0	
	小計				合計	5	1,500	5,292.0	1,286.0	1,473.0	881.0	1,317.0	7,810.0	1,306.0	4,919.0	24,284.0
				平均			300	1,058.4	257.2	294.6	176.2	263.4	1,562.0	261.2	983.8	4,856.8
合計					33	9,355	274,014.0	6,336.0	15,537.0	1,861.0	6,334.0	16,565.0	5,675.0	88,696.0	415,018.0	
平均							283	8,303.5	192.0	470.8	56.4	191.9	502.0	172.0	2,687.8	12,576.3

2020年度 エリア別分類別の漂着物個数(個)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査回数	面積	個数(個)									
							プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計	
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	73	1	0	2	1	37	13	0	127	
	2		南松浦郡上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	757	5	59	0	1	2	4	10	838	
	3		杵岐市	里浜海水浴場	1	200	347	0	32	0	1	0	1	0	381	
	4		対馬市	白浜海岸	1	300	487	3	19	1	7	17	5	21	560	
	5		佐賀県	唐津市	北浜	1	300	574	0	0	7	0	0	3	4	588
	小計			合計	5	1,400	2,238	9	110	10	10	56	26	35	2,494	
			平均		280	448	2	22	2	2	11	5	7	499		
B	6	山口県	下関市	涌田海岸	1	400	453	7	41	7	6	10	28	16	568	
	7	島根県	益田市	持石海岸A	1	400	304	13	125	2	0	2	4	31	481	
	8			持石海岸B	1	200	188	8	641	1	2	0	2	172	1,014	
	9			津田海岸	1	300	294	1	52	0	0	2	2	2	353	
	10			小浜海岸	1	100	251	4	24	3	5	3	1	0	291	
	11			喜阿弥海岸	1	100	70	0	26	5	1	2	3	0	107	
	12		松江市	御津漁港海岸	1	400	531	0	69	0	0	2	4	0	606	
	13	鳥取県	浜田市	浜田港海岸	1	100	19	0	28	0	0	0	0	0	47	
	15		米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	577	10	75	3	0	1	0	10	676	
	16		岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	948	2	79	12	0	2	1	0	1,044	
	17		京都府	京丹後市	琴引浜海岸	1	300	1,146	0	145	0	0	25	0	0	1,316
	小計			合計	11	2,900	4,781	45	1,305	33	14	49	45	231	6,503	
				平均		264	435	4	119	3	1	4	4	21	591	
C	18	福井県	坂井市	三国サンセットビーチ	1	300	306	6	49	1	2	0	1	45	410	
	20	石川県	輪島市	曾々木海岸	1	300	363	5	36	2	1	4	1	3	415	
	21		氷見市	島尾・松田江浜	1	600	930	34	1,538	4	1	12	7	14	2,540	
	22	富山県	高岡市	松太枝浜	1	300	670	8	537	8	5	3	7	17	1,255	
	23		射水市	海老江海岸	1	200	370	14	32	1	0	0	6	8	431	
	24		富山市	岩瀬浜	1	300	502	4	73	3	1	2	3	51	639	
	25		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	300	10	0	7	0	0	0	11	0	28	
	小計			合計	7	2,300	3,151	71	2,272	19	10	21	36	138	5,718	
				平均		329	450	10	325	3	1	3	5	20	817	
D	26	山形県	酒田市	浜中あざり海水浴場	1	300	44	0	3	0	0	0	0	1	48	
	小計			合計	1	300	44	0	3	0	0	0	0	1	48	
				平均		300	44	0	3	0	0	0	0	1	48	
F	27	沿海地方	ハサンスキー地区	ビョートル大帝湾ファリシヴィイ岬	1	400	93	0	54	3	0	1	3	4	158	
	28			ビョートル大帝湾セヴェルナヤ入江	1	200	101	0	1	0	1	8	0	5	116	
	29			ビョートル大帝湾スイヴチャヤ入江	1	155	46	1	59	0	0	1	4	0	111	
	30			ナホトカ市	プロズラチナヤ入江	1	200	215	22	3	30	48	165	43	8	534
	小計			合計	4	955	455	23	117	33	49	175	50	17	919	
				平均		239	114	6	29	8	12	44	13	4	230	
H	34	慶尚南道	統営市	亡日峰(マンイルボン)海岸	1	300	55	2	15	1	1	970	11	4	1,059	
	35			竹林湾(チュンリムマン)海岸	1	300	75	9	70	11	9	196	15	9	394	
	36			道南(トナム)海水浴場	1	300	87	4	116	41	4	294	6	30	582	
	37			トンナム干潟海辺	1	300	113	6	42	24	8	24	31	19	267	
	38			昌原市	古県里(コヒョンリ)海岸	1	300	61	4	12	8	3	13	10	4	115
	小計			合計	5	1,500	391	25	255	85	25	1,497	73	66	2,417	
			平均		300	78	5	51	17	5	299	15	13	483		
合計				33	9,355	11,060	173	4,062	180	108	1,798	230	488	18,099		
平均					283	335	5	123	5	3	54	7	15	548		

2020年度 エリア別分類別の単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査回数	面積	単位面積あたりの重量(g/100m ²)									
							プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計	
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	10,584.3	11.3	0.0	0.7	19.0	218.7	222.7	0.0	11,056.7	
	2		南松浦郡上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	7,966.7	200.0	1,733.3	0.0	200.0	100.0	66.7	1,233.3	11,500.0	
	3		杵岐市	里浜海水浴場	1	200	602.0	0.0	1.5	0.0	4.0	0.0	2.0	0.0	609.5	
	4		対馬市	白浜海岸	1	300	30,233.3	166.7	500.0	33.3	533.3	666.7	150.0	3,883.3	36,166.7	
	5	佐賀県	唐津市	北浜	1	300	4,033.3	0.0	0.0	36.7	0.0	0.0	120.0	273.3	4,463.3	
	小計				合計	5	1,400	53,419.7	378.0	2,234.8	70.7	756.3	985.3	561.3	5,390.0	63,796.2
				平均			280	10,683.9	75.6	447.0	14.1	151.3	197.1	112.3	1,078.0	12,759.2
B	6	山口県	下関市	涌田海岸	1	400	2,990.0	125.0	75.0	47.5	255.0	325.0	167.5	602.5	4,587.5	
	7			持石海岸A	1	400	1,326.8	343.8	295.0	23.3	0.0	35.3	20.5	81.0	2,125.5	
	8	島根県	益田市	持石海岸B	1	200	2,228.5	154.0	498.0	42.0	3.0	0.0	23.0	3,590.0	6,538.5	
	9			津田海岸	1	300	631.7	3.7	8.3	0.0	0.0	101.3	7.3	58.0	810.3	
	10			小浜海岸	1	100	1,810.0	740.0	1,968.0	1.0	3.0	258.0	6.0	0.0	4,786.0	
	11			喜阿弥海岸	1	100	1,861.0	0.0	180.0	81.0	3.0	260.0	93.0	0.0	2,478.0	
	12			松江市	御津漁港海岸	1	400	3,119.0	0.0	35.8	0.0	0.0	22.8	16.0	0.0	3,193.5
	13	鳥取県	浜田市	浜田港海岸	1	100	124.0	0.0	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	135.0	
	15		米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	1,082.7	15.0	26.3	0.3	0.0	37.3	0.0	84.7	1,246.3	
	16		岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	1,042.7	0.3	12.3	10.7	0.0	27.7	0.3	0.0	1,094.0	
	17	京都府	京丹後市	琴引浜海岸	1	300	235.7	0.0	13.7	0.0	0.0	52.0	0.0	0.0	301.3	
小計				合計	11	2,900	16,451.9	1,381.8	3,123.4	205.8	264.0	1,119.3	333.7	4,416.2	27,296.0	
				平均			264	1,495.6	125.6	283.9	18.7	24.0	101.8	30.3	401.5	2,481.5
C	18	福井県	坂井市	三国サンセットビーチ	1	300	1,787.3	13.3	36.3	1.7	0.3	0.0	15.0	497.7	2,351.7	
	20	石川県	輪島市	曾々木海岸	1	300	2,181.0	12.0	32.0	0.7	1.7	178.0	5.3	37.7	2,448.3	
	21		氷見市	島尾・松田江浜	1	600	2,534.7	89.3	213.0	7.2	45.5	161.7	56.0	437.5	3,544.8	
	22	富山県	高岡市	松太枝浜	1	300	1,419.3	9.3	66.0	18.3	18.3	55.7	153.3	103.7	1,844.0	
	23		射水市	海老江海岸	1	200	113.5	14.5	2.5	0.5	0.0	0.0	0.5	19.0	150.5	
	24		富山市	岩瀬浜	1	300	267.7	0.7	5.3	12.3	2.0	26.3	6.3	338.7	659.3	
	25		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	300	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	11.0	0.0	14.0	
	小計				合計	7	2,300	8,305.5	139.2	356.2	40.7	67.8	421.7	247.5	1,434.2	11,012.7
				平均			329	1,186.5	19.9	50.9	5.8	9.7	60.2	35.4	204.9	1,573.2
D	26	山形県	酒田市	浜中あざり海水浴場	1	300	515.3	0.0	45.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	562.0	
	小計				合計	1	300	515.3	0.0	45.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	562.0
					平均			300	515.3	0.0	45.3	0.0	0.0	0.0	1.3	562.0
F	27	沿海地方	ハサンスキー地区	ビョートル大帝湾ファリシヴィイ岬	1	400	642.5	0.0	47.5	7.5	0.0	35.0	25.3	2,450.0	3,207.8	
	28			ビョートル大帝湾セヴェルナヤ入江	1	200	10,064.5	0.0	10.0	0.0	155.0	155.0	0.0	18,125.0	28,509.5	
	29			ビョートル大帝湾スィヴチャヤ入江	1	155	2,664.5	25.8	109.7	0.0	0.0	77.4	36.8	0.0	2,914.2	
	30			ナホトカ市	ブロズラチナヤ入江	1	200	655.0	112.5	90.0	56.5	535.0	387.0	317.5	2,807.5	4,961.0
	小計				合計	4	955	14,026.5	138.3	257.2	64.0	690.0	654.4	379.5	23,382.5	39,592.4
				平均			239	3,506.6	34.6	64.3	16.0	172.5	163.6	94.9	5,845.6	9,898.1
H	34	慶尚南道	統営市	亡日峰(マンイルボン)海岸	1	300	142.7	1.7	0.3	0.3	31.7	754.7	31.0	1.0	963.3	
	35			竹林湾(チュンリムマン)海岸	1	300	369.3	79.3	260.7	151.3	105.3	138.7	83.7	205.0	1,393.3	
	36			道南(トナム)海水浴場	1	300	230.7	26.3	89.7	31.7	58.3	530.0	51.0	1,018.7	2,036.3	
	37			トンナム干潟海辺	1	300	204.7	21.3	50.3	33.7	23.7	80.0	66.3	181.7	661.7	
	38			昌原市	古泉里(コヒョンリ)海岸	1	300	816.7	300.0	90.0	76.7	220.0	1,100.0	203.3	233.3	3,040.0
	小計				合計	5	1,500	1,764.0	428.7	491.0	293.7	439.0	2,603.3	435.3	1,639.7	8,094.7
				平均			300	352.8	85.7	98.2	58.7	87.8	520.7	87.1	327.9	1,618.9
合計							9,355	94,482.9	2,465.9	6,507.9	674.8	2,217.2	5,784.1	1,957.4	36,263.8	150,353.9
平均							283	10.1	0.0	2.6	0.1	3.3	2.6	0.3	18.5	4,556.2

2020年度 エリア別分類別の単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査回数	面積	単位面積あたりの個数(個/100m ²)									合計
							プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物		
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	24	0	0	1	0	12	4	0	42	
	2		南松浦郡上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	252	2	20	0	0	1	1	3	279	
	3		壱岐市	里浜海水浴場	1	200	174	0	16	0	1	0	1	0	191	
	4		対馬市	白浜海岸	1	300	162	1	6	0	2	6	2	7	187	
	5		佐賀県	唐津市	北浜	1	300	191	0	0	2	0	0	1	1	196
	小計			合計	5	1,400	804	3	42	3	4	19	9	12	895	
			平均		280	161	1	8	1	1	4	2	2	179		
B	6	山口県	下関市	涌田海岸	1	400	113	2	10	2	2	3	7	4	142	
	7	島根県	益田市	持石海岸A	1	400	76	3	31	1	0	1	1	8	120	
	8			持石海岸B	1	200	94	4	321	1	1	0	1	86	507	
	9			津田海岸	1	300	98	0	17	0	0	1	1	1	118	
	10			小浜海岸	1	100	251	4	24	3	5	3	1	0	291	
	11			喜阿弥海岸	1	100	70	0	26	5	1	2	3	0	107	
	12			松江市	御津漁港海岸	1	400	133	0	17	0	0	1	1	0	152
	13	鳥取県	浜田市	浜田港海岸	1	100	19	0	28	0	0	0	0	0	47	
	15		米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	192	3	25	1	0	0	0	3	225	
	16		岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	316	1	26	4	0	1	0	0	348	
	17	京都府	京丹後市	琴引浜海岸	1	300	382	0	48	0	0	8	0	0	439	
	小計			合計	11	2,900	1,744	17	574	16	9	19	15	102	2,495	
				平均		264	159	2	52	1	1	2	1	9	227	
C	18	福井県	坂井市	三国サンセットビーチ	1	300	102	2	16	0	1	0	0	15	137	
	20	石川県	輪島市	曾々木海岸	1	300	121	2	12	1	0	1	0	1	138	
	21		氷見市	島尾・松田江浜	1	600	155	6	256	1	0	2	1	2	423	
	22	富山県	高岡市	松太枝浜	1	300	223	3	179	3	2	1	2	6	418	
	23		射水市	海老江海岸	1	200	185	7	16	1	0	0	3	4	216	
	24		富山市	岩瀬浜	1	300	167	1	24	1	0	1	1	17	213	
	25		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	300	3	0	2	0	0	0	4	0	9	
	小計			合計	7	2,300	957	20	506	6	3	5	12	45	1,555	
				平均		329	137	3	72	1	0	1	2	6	222	
D	26	山形県	酒田市	浜中あざり海水浴場	1	300	15	0	1	0	0	0	0	0	16	
	小計			合計	1	300	15	0	1	0	0	0	0	0	16	
				平均		300	15	0	1	0	0	0	0	0	16	
F	27	沿海地方	ハサンスキー地区	ビョートル大帝湾ファリシヴィイ岬	1	400	23	0	14	1	0	0	1	1	40	
	28			ビョートル大帝湾セヴェルナヤ入江	1	200	51	0	1	0	1	4	0	3	58	
	29			ビョートル大帝湾スイヴチャヤ入江	1	155	30	1	38	0	0	1	3	0	72	
	30			ナホトカ市	プロズラチナヤ入江	1	200	108	11	2	15	24	83	22	4	267
	小計			合計	4	955	211	12	54	16	25	87	25	8	436	
				平均		239	53	3	13	4	6	22	6	2	109	
H	34	慶尚南道	統営市	亡日峰(マンイルボン)海岸	1	300	18	1	5	0	0	323	4	1	353	
	35			竹林湾(チュンリムマン)海岸	1	300	25	3	23	4	3	65	5	3	131	
	36			道南(トナム)海水浴場	1	300	29	1	39	14	1	98	2	10	194	
	37			トンナム干潟海辺	1	300	38	2	14	8	3	8	10	6	89	
	38			昌原市	古県里(コヒョンリ)海岸	1	300	20	1	4	3	1	4	3	1	38
	小計			合計	5	1,500	130	8	85	28	8	499	24	22	806	
			平均		300	26	2	17	6	2	100	5	4	161		
合計				33	9,355	3,861	61	1,262	69	48	629	85	188	6,203		
平均					283	0	0	21	0	1	13	0	2	188		

2020年度 エリア別プラスチック類の小分類別個数(個)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査回数	面積	個数(個)										
							袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジスタブルプラスチック類	その他具体的に	合計	
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	3	5	8	10	9	0	35	0	3	73	
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	100	40	83	299	4	30	201	0	0	757	
	3		壱岐市	里浜海水浴場	1	200	8	2	56	92	21	7	160	0	1	347	
	4		対馬市	白浜海岸	1	300	40	47	40	135	6	85	132	0	2	487	
	5	佐賀県	唐津市	北浜	1	300	13	47	136	90	18	9	261	0	0	574	
	小計				合計	5	1,400	164	141	323	626	58	131	789	0	6	2,238
				平均		280	33	28	65	125	12	26	158	0	1	448	
B	6	山口県	下関市	涌田海岸	1	400	16	72	60	40	29	37	199	0	0	453	
	7	島根県	益田市	持石海岸A	1	400	8	67	41	28	3	37	30	0	90	304	
	8			持石海岸B	1	200	15	22	24	13	3	11	1	0	99	188	
	9			津田海岸	1	300	6	5	48	73	10	6	135	0	11	294	
	10			小浜海岸	1	100	29	10	34	18	0	8	0	1	151	251	
	11			喜阿弥海岸	1	100	0	31	6	7	1	5	0	0	20	70	
	12		松江市	御津漁港海岸	1	400	2	32	106	38	20	74	80	0	179	531	
	13	鳥取県	浜田市	浜田港海岸	1	100	4	1	0	3	4	0	0	0	7	19	
	15		米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	63	11	25	65	31	7	273	20	82	577	
	16		岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	2	5	49	65	44	7	760	16	0	948	
	17		京丹後市	琴引浜海岸	1	300	2	4	30	70	29	14	968	8	21	1,146	
	小計				合計	11	2,900	147	260	423	420	174	206	2,446	45	660	4,781
				平均		264	13	24	38	38	16	19	222	4	60	435	
C	18	福井県	坂井市	三国サンセットビーチ	1	300	2	17	44	25	18	9	187	0	4	306	
	20	石川県	輪島市	曾々木海岸	1	300	8	12	85	46	18	8	169	0	17	363	
	21	富山県	水見市	島尾・松田江浜	1	600	3	39	116	266	37	9	449	0	11	930	
	22		高岡市	松太枝浜	1	300	11	17	61	192	25	15	319	0	30	670	
	23		射水市	海老江海岸	1	200	1	0	9	43	37	8	263	0	9	370	
	24		富山市	岩瀬浜	1	300	6	6	20	82	60	3	311	0	14	502	
	25		朝日町	宮崎・境海岸	1	300	0	0	0	3	1	0	5	0	1	10	
	小計				合計	7	2,300	31	91	335	657	196	52	1,703	0	86	3,151
				平均		329	4	13	48	94	28	7	243	0	12	450	
D	26	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	300	1	0	2	5	1	2	32	1	0	44	
	小計				合計	1	300	1	0	2	5	1	2	32	1	0	44
					平均		300	1	0	2	5	1	2	32	1	0	44
F	27	沿海地方	ハサンスキー地区	ビョートル大帝満フリシヴィイ峠	1	400	1	31	2	11	3	1	44	0	0	93	
	28			ビョートル大帝満セヴェルナヤ入江	1	200	20	9	9	16	2	8	36	0	1	101	
	29			ビョートル大帝満スィヴチヤ入江	1	155	3	11	1	2	0	4	23	0	2	46	
	30		ナホトカ市	プロズラチナヤ入江	1	200	25	9	30	27	37	4	79	0	4	215	
	小計				合計	4	955	49	60	42	56	42	17	182	0	7	455
				平均		239	12	15	11	14	11	4	46	0	2	114	
H	34	慶尚南道	統営市	亡日峰(マンイルボン)海岸	1	300	2	0	1	18	3	3	28	0	0	55	
	35			竹林湾(チュンリムマン)海岸	1	300	5	5	7	14	13	7	23	0	1	75	
	36			道南(トナム)海水浴場	1	300	0	5	21	16	5	1	39	0	0	87	
	37			トンアム干潟海辺	1	300	4	4	7	7	14	8	22	46	1	113	
	38		昌原市	古泉里(コヒョンリ)海岸	1	300	7	7	6	2	9	2	28	0	0	61	
	小計				合計	5	1,500	18	21	42	57	44	21	140	46	2	391
				平均		300	4	4	8	11	9	4	28	9	0	78	
合計					33	9,355	410	573	1,167	1,821	515	429	5,292	92	761	11,060	
平均						283	12	17	35	55	16	13	160	3	23	335	

2020年度 エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数(個/100㎡)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査回数	面積	単位面積あたり個数(個/100㎡)										合計
							袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジャー用品(フリスビー等)	その他具体的に		
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	1	2	3	3	3	0	12	0	1	24	
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	33	13	28	100	1	10	67	0	0	252	
	3		壱岐市	里浜海水浴場	1	200	4	1	28	46	11	4	80	0	1	174	
	4		対馬市	白浜海岸	1	300	13	16	13	45	2	28	44	0	1	162	
	5		佐賀県	唐津市	北浜	1	300	4	16	45	30	6	3	87	0	0	191
	小計				合計	5	1,400	56	47	117	224	23	45	290	0	2	804
				平均		280	11	9	23	45	5	9	58	0	0	161	
B	6	山口県	下関市	涌田海岸	1	400	4	18	15	10	7	9	50	0	0	113	
	7	島根県	益田市	持石海岸A	1	400	2	17	10	7	1	9	8	0	23	76	
	8			持石海岸B	1	200	8	11	12	7	2	6	1	0	50	94	
	9			津田海岸	1	300	2	2	16	24	3	2	45	0	4	98	
	10			小浜海岸	1	100	29	10	34	18	0	8	0	1	151	251	
	11			喜阿弥海岸	1	100	0	31	6	7	1	5	0	0	20	70	
	12		松江市	御津漁港海岸	1	400	1	8	27	10	5	19	20	0	45	133	
	13	浜田市	浜田港海岸	1	100	4	1	0	3	4	0	0	0	7	19		
	15	鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	21	4	8	22	10	2	91	7	27	192	
	16	岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	1	2	16	22	15	2	253	5	0	316		
	17	京都府	京丹後市	琴引浜海岸	1	300	1	1	10	23	10	5	323	3	7	382	
	小計				合計	11	2,900	71	104	154	152	58	67	790	16	333	1,744
				平均		264	6	9	14	14	5	6	72	1	30	159	
C	18	福井県	坂井市	三国サンセットビーチ	1	300	1	6	15	8	6	3	62	0	1	102	
	20	石川県	輪島市	曾々木海岸	1	300	3	4	28	15	6	3	56	0	6	121	
	21	富山県	水見市	島尾・松田江浜	1	600	1	7	19	44	6	2	75	0	2	155	
	22		高岡市	松太枝浜	1	300	4	6	20	64	8	5	106	0	10	223	
	23		射水市	海老江海岸	1	200	1	0	5	22	19	4	132	0	5	185	
	24		富山市	岩瀬浜	1	300	2	2	7	27	20	1	104	0	5	167	
	25		朝日町	宮崎・境海岸	1	300	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3	
	小計				合計	7	2,300	10	24	94	182	65	17	537	0	28	957
				平均		329	1	3	13	26	9	2	77	0	4	137	
D	26	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	300	0	0	1	2	0	1	11	0	0	15	
	小計				合計	1	300	0	0	1	2	0	1	11	0	0	15
					平均		300	0	0	1	2	0	1	11	0	0	15
F	27	沿海地方	ハサンスキー地区	ビョートル大常満フリシヴィイ峠	1	400	0	8	1	3	1	0	11	0	0	23	
	28			ビョートル大常満セヴェルナヤ入江	1	200	10	5	5	8	1	4	18	0	1	51	
	29			ビョートル大常満スィヴチャ入江	1	155	2	7	1	1	0	3	15	0	1	30	
	30		ナホトカ市	プロズラチナヤ入江	1	200	13	5	15	14	19	2	40	0	2	108	
	小計				合計	4	955	25	24	21	26	20	9	83	0	4	211
				平均		239	6	6	5	6	5	2	21	0	1	53	
H	34	慶尚南道	統営市	亡日峰(マンイルボン)海岸	1	300	1	0	0	6	1	1	9	0	0	18	
	35			竹林湾(チュンリムマン)海岸	1	300	2	2	2	5	4	2	8	0	0	25	
	36			道南(トナム)海水浴場	1	300	0	2	7	5	2	0	13	0	0	29	
	37			トンアム干潟海辺	1	300	1	1	2	2	5	3	7	15	0	38	
	38		昌原市	古泉里(コヒョンリ)海岸	1	300	2	2	2	1	3	1	9	0	0	20	
	小計				合計	5	1,500	6	7	14	19	15	7	47	15	1	130
				平均		300	1	1	3	4	3	1	9	3	0	26	
合計					33	9,355	168	206	401	604	181	145	1,757	31	368	3,861	
平均						283	5	6	12	18	5	4	53	1	11	117	

No.

マイクロプラスチック調査 調査票

調査海岸コード		調査区画コード	
調査海岸名		調査日時	
自治体名		記入者名	

※調査海岸コード及び調査区画コードは、海辺の漂着物調査における各コードと同一

海辺の漂着物調査(海岸の平均点での調査結果)

砂の採取区画	縦[cm]①		横[cm]②		深さ[cm]③	
砂の採取量[ℓ]④			①×②×③／1,000			
マイクロプラスチックの大きさの範囲[mm]	～		※ふるいの目開きの大きさでも可			
マイクロプラスチック個数[個]⑤						
マイクロプラスチック密度	1ℓあたり個数[個/ℓ]		⑤／④			
	1m ² あたり個数[個/m ²]		⑤／(①×②)×10,000			

(以下、任意調査(マイクロプラスチック調査手法の検討)結果)

マイクロプラスチックの分類 [個]	①硬質プラスチック破片		②発泡スチロール片		③シート状破片	
	④繊維状破片		⑤レジンベレット		⑥人工芝破片	
	⑦肥料コーティングカプセル		⑧その他(分類不可)		⑨その他()	
	⑩その他()		⑪その他()		⑫その他()	

※「その他()」欄には、①～⑦以外に、判別できたものがあれば、その種類と個数を記入ください。

任意調査(マイクロプラスチック調査手法の検討)結果((海岸の満潮線上での調査結果))

砂の採取区画	縦[cm]①		横[cm]②		深さ[cm]③	
砂の採取量[ℓ]④			①×②×③／1,000			
マイクロプラスチックの大きさの範囲[mm]	～		※ふるいの目開きの大きさでも可			
マイクロプラスチック個数[個]⑤						
マイクロプラスチック密度	1ℓあたり個数[個/ℓ]		⑤／④			
	1m ² あたり個数[個/m ²]		⑤／(①×②)×10,000			
マイクロプラスチックの分類 [個]	①硬質プラスチック破片		②発泡スチロール片		③シート状破片	
	④繊維状破片		⑤レジンベレット		⑥人工芝破片	
	⑦肥料コーティングカプセル		⑧その他(分類不可)		⑨その他()	
	⑩その他()		⑪その他()		⑫その他()	

※「その他()」欄には、①～⑦以外に、判別できたものがあれば、その種類と個数を記入ください。

* 調査地点毎に記入してください。

2020年度 エリア別マイクロプラスチック個数

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査回数	砂採取区画			砂の採取量(L)	マイクロプラスチック 個数(個)	単位体積あたりの 個数(個/L)	単位面積あたりの 個数(個/m ²)
						縦(cm)	横(cm)	深さ(cm)				
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	20	20	2.5	1	0	0	0
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	20	20	2.5	1	19	19	475
	3		杵岐市	里浜海水浴場	1	20	20	2.5	1	8	8	200
	4		対馬市	白浜海岸	1	20	20	2.5	1	69	69	1,725
	小計			合計	4	80	80	10	4	96	96	2,400
				平均						24	24	600
B	14	島根県	出雲市	西浜海岸A	1	20	20	2.5	1	4	4	100
	15	鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	20	20	2.5	1	3	3	75
	16		岩美郡岩美町	浦富海岸	1	20	20	2.5	1	4	4	100
	17	京都府	京丹後市	琴引浜海岸	1	20	20	2.5	1	6	6	150
	小計			合計	2	40	40	5	2	17	17	425
				平均						9	9	213
C	18	福井県	坂井市	三国サンセットビーチ	1	20	20	2.5	1	282	282	7,050
	19	石川県	羽咋市	柴垣海岸	1	20	20	2.5	1	3	3	75
	21	富山県	氷見市	島尾・松田江浜	1	20	20	2.5	1	24	24	600
	22		高岡市	松太枝浜	1	20	20	2.5	1	6	6	150
	23		射水市	海老江海岸	1	20	20	2.5	1	1	1	25
	24		富山市	岩瀬浜	1	20	20	2.5	1	2	2	50
	25		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	20	20	2.5	1	0	0	0
	小計			合計	7	140	140	17.5	7	318	318	7,950
				平均						45	45	1,136
D	26	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	20	20	2.5	1	0	0	0
	小計			合計	1	20	20	2.5	1	0	0	0
				平均						0	0	0
F	30	沿海地方	ナホトカ市	プロズラチナヤ入江	3	20	20	2.5	1	0	0	0
	小計			合計	3	20	20	2.5	1	0	0	0
				平均						0	0	0
G	31	江原道	江陵市	鏡浦(キョンポ)海水浴場	1	20	20	15	6	49	8	1,225
	32			鏡浦(キョンポ)海水浴場B	1	20	20	2.5	1	20	20	500
	33			安仁(アンイン)海岸	1	20	20	2.5	1	117	117	2,925
	小計			合計	3	60	60	20	8	186	145	4,650
			平均						62	48	1,550	
H	34	慶尚南道	統営市	亡日峰(マンイルボン)海岸	1	20	20	2.5	1	3	3	75
	35			竹林湾(チュンリムマン)海岸	1	20	20	2.5	1	1	1	25
	36			道南(トナム)海水浴場	1	20	20	2.5	1	2	2	50
	37			トンナム干潟海辺	1	20	20	2.5	1	1	1	25
	38			古泉里(コヒョンリ)海岸	1	20	20	2.5	1	43	43	1,075
	小計			合計	5	100	100	12.5	5	50	50	1,250
			平均						10	10	250	
合計					24	440	440	67.5	27	667	626	16,675
平均										27	25	667

2019年度 エリア別マイクロプラスチック個数

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査 回数	砂採取区画			砂の採 取量(L)	マイクロプラスチック 個数(個)	単位体積あたりの 個数(個/L)	単位面積あたりの 個数(個/㎡)	
						縦(cm)	横(cm)	深さ(cm)					
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	20	20	2.5	1	1	1	25	
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	20	20	2.5	1	187	187	4,675	
	3		壱岐市	里浜海水浴場	1	20	20	2.5	1	40	40	1,000	
	4		対馬市	白浜海岸	1	20	20	2.5	1	14	14	350	
	小計			合計	4	80	80	10	4	242	242	6,050	
				平均					4	61	61	1,513	
B	6	山口県	長門市	二位の浜	1	20	20	5	2	2,560	1,280	64,000	
	14	島根県	出雲市	西浜海岸A	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
	西浜海岸B			1	20	20	2.5	1	101	101	2,525		
	15	鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	20	20	2.5	1	18	18	450	
	岩美郡岩美町		浦富海岸	1	20	20	2.5	1	2	2	50		
	東伯郡琴浦町		赤碕港海岸	1	20	20	2.5	1	0	0	0		
	17	京都府	京丹後市	琴引浜海岸	1	20	20	2.5	1	6	6	150	
	小計			合計	7	140	140	20	8	2,687	1,407	67,175	
			平均						384	201	9,596		
C	19	福井県	三方上中郡若狭町	食見海岸	1	20	20	2.5	1	2	2	50	
	20	石川県	羽咋市	千里浜海岸	1	20	20	2.5	1	3	3	75	
	21	富山県	氷見市	島尾・松田江浜	1	20	20	2.5	1	257	257	6,425	
	22			高岡市	松太枝浜	1	20	20	2.5	1	2	2	50
	23			射水市	海老江海岸	1	20	20	2.5	2	104	52	2,600
	24			富山市	岩瀬浜	1	20	20	2.5	1	8	8	200
	25			下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	20	20	2.5	2	10	5	250
	小計			合計	7	140	140	17.5	9	386	329	9,650	
			平均						55	47	1,379		
D	26	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	20	20	2.5	1	18	18	450	
	27	秋田県	秋田市	桂浜海岸A(1回目)	1	20	20	2.5	1	1	1	25	
				桂浜海岸B(1回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸C(1回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸D(1回目)	1	20	20	2.5	1	3	3	75	
				桂浜海岸E(1回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸F(1回目)	1	20	20	2.5	1	2	2	50	
				桂浜海岸G(1回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸H(1回目)	1	20	20	2.5	1	1	1	25	
				桂浜海岸A(2回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸B(2回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸C(2回目)	1	20	20	2.5	1	1	1	25	
				桂浜海岸D(2回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸E(2回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸F(2回目)	1	20	20	2.5	1	3	3	75	
				桂浜海岸G(2回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸H(2回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸A(3回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸B(3回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸C(3回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸D(3回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸E(3回目)	1	20	20	2.5	1	1	1	25	
				桂浜海岸F(3回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸G(3回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
				桂浜海岸H(3回目)	1	20	20	2.5	1	0	0	0	
	小計			合計	25	500	500	62.5	25	30	30	750	
				平均						1	1	30	
	F	28	ハバロフスク地方	ワーニンスキー地区	トキ入江	1	20	20	2.5	1	0	0	0
		29	沿海地方	ソビエツカヤガバン地区	オブマンナヤ入江	1	20	20	2.5	1	0	0	0
		30		ピョートル大帝湾リフォヴァヤ入江	1	20	20	2.5	1	13	13	325	
31		ナホトカ市		プロズラチナヤ入江	1	20	20	2.5	2	0	0	0	
小計			合計	4	80	80	10	5	13	13	325		
			平均						3	3	81		
G	33	江原道	襄陽郡	河趙臺(ハジョデ)海水浴場	1	20	20	2.5	1.3	3	2	75	
	江陵市		鏡浦(キョンポ)海水浴場	1	20	20	3	1.2	64	53	1,600		
			領津(ヨンジン)海水浴場	1	100	100	2.5	25	1	0	1		
			注文津(チュムンジン)海岸	1	100	100	2.5	25	3	0	3		
	小計			合計	4	240	240	10.5	52.5	71	56	1,679	
			平均						18	14	420		
H	37	慶尚南道	統営市	亡日峰(マンイルボン)海岸	1	20	20	3	1.2	17	14	425	
	竹林湾(チュンリムマン)海岸			1	20	20	2.5	1	2	2	50		
	道南(トナム)海水浴場			1	20	20	2.5	1	3	3	75		
	トンアム干潟海辺			1	20	20	2.5	1	3	3	75		
	古栗里(コヒョンリ)海岸			1	20	20	2.5	1	62	62	1,550		
	小計			合計	5	100	100	13	5.2	87	84	2,175	
			平均						17	17	435		
合計					56	1280	1280	143.5	108.7	3,516	2,161	87,804	
平均										63	39	1,568	

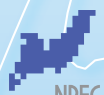


海洋ごみがない海岸はどんなところ？

没有海洋垃圾的海岸是个什么样的地方？

해양쓰레기가 없는 해안은 어떤 곳인가?

Какое оно побережье где нет морского мусора?



公益財団法人 環日本海環境協力センター

NPEC Northwest Pacific Region Environmental Cooperation Center (NPEC)

〒930-0856 富山県富山市牛島新町5-5

TEL. 076-445-1571 FAX. 076-445-1581

<http://www.npec.or.jp/>